

教科 No.	3A01	授業科目	日本画研究 1			単位数	6単位																																
担当教員	西田真人 浅野 均 綾田勝義 小池一範 日影 圭 川嶋 涉 小島徳朗					開講学期	前期																																
履修条件				履修学年・専攻等	1 年次																																		
<p>【授業目標】 現代社会における日本画の本質と自己の制作の方向性の考察。</p> <p>【授業概要】 自己の研究テーマにおける素材と技法及び絵画的造形思考についての指導。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 主題発見のための問題提示</td> <td></td> <td>9. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 素材・技法の研究</td> <td>各教員のテーマ設定によるゼミナール（第1回）</td> <td>10. 専門演習（日本画制作）</td> <td>各教員のテーマ設定によるゼミナール（第5回）</td> </tr> <tr> <td>3. 専門演習（日本画制作についての計画）</td> <td></td> <td>11. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. 専門演習（日本画制作）</td> <td>各教員のテーマ設定によるゼミナール（第2回）</td> <td>12. 専門演習（日本画制作）</td> <td>各教員のテーマ設定によるゼミナール（第6回）</td> </tr> <tr> <td>5. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> <td>13. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 専門演習（日本画制作）</td> <td>各教員のテーマ設定によるゼミナール（第3回）</td> <td>14. 専門演習（日本画制作）</td> <td>各教員のテーマ設定によるゼミナール（第7回）</td> </tr> <tr> <td>7. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> <td>15. 院1，院2合同の研究作品合評会（7月）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 専門演習（日本画制作）</td> <td>各教員のテーマ設定によるゼミナール（第4回）</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 演習における作品の評価及び講義中の質疑応答，討論を総合して評価する。</p>								1. 主題発見のための問題提示		9. 専門演習（日本画制作）		2. 素材・技法の研究	各教員のテーマ設定によるゼミナール（第1回）	10. 専門演習（日本画制作）	各教員のテーマ設定によるゼミナール（第5回）	3. 専門演習（日本画制作についての計画）		11. 専門演習（日本画制作）		4. 専門演習（日本画制作）	各教員のテーマ設定によるゼミナール（第2回）	12. 専門演習（日本画制作）	各教員のテーマ設定によるゼミナール（第6回）	5. 専門演習（日本画制作）		13. 専門演習（日本画制作）		6. 専門演習（日本画制作）	各教員のテーマ設定によるゼミナール（第3回）	14. 専門演習（日本画制作）	各教員のテーマ設定によるゼミナール（第7回）	7. 専門演習（日本画制作）		15. 院1，院2合同の研究作品合評会（7月）		8. 専門演習（日本画制作）	各教員のテーマ設定によるゼミナール（第4回）		
1. 主題発見のための問題提示		9. 専門演習（日本画制作）																																					
2. 素材・技法の研究	各教員のテーマ設定によるゼミナール（第1回）	10. 専門演習（日本画制作）	各教員のテーマ設定によるゼミナール（第5回）																																				
3. 専門演習（日本画制作についての計画）		11. 専門演習（日本画制作）																																					
4. 専門演習（日本画制作）	各教員のテーマ設定によるゼミナール（第2回）	12. 専門演習（日本画制作）	各教員のテーマ設定によるゼミナール（第6回）																																				
5. 専門演習（日本画制作）		13. 専門演習（日本画制作）																																					
6. 専門演習（日本画制作）	各教員のテーマ設定によるゼミナール（第3回）	14. 専門演習（日本画制作）	各教員のテーマ設定によるゼミナール（第7回）																																				
7. 専門演習（日本画制作）		15. 院1，院2合同の研究作品合評会（7月）																																					
8. 専門演習（日本画制作）	各教員のテーマ設定によるゼミナール（第4回）																																						

教科 No.	3A02	授業科目	日本画研究 2			単位数	6単位																																
担当教員	西田真人 浅野 均 綾田勝義 小池一範 日影 圭 川嶋 涉 小島徳朗					開講学期	後期																																
履修条件				履修学年・専攻等	1 年次																																		
<p>【授業目標】 現代社会における日本画の本質と自己の制作の方向性の考察。</p> <p>【授業概要】 自己の研究テーマにおける素材と技法及び絵画的造形思考についての指導。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 主題発見のための問題提示</td> <td></td> <td>9. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 素材・技法の研究</td> <td></td> <td>10. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 専門演習（日本画制作についての計画）</td> <td></td> <td>11. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> <td>12. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> <td>13. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> <td>14. 院1，院2合同の研究作品合評会（12月） 作品展（100号程度）の説明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> <td>15. 作品展（100号程度）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 演習における作品の評価及び講義中の質疑応答，討論を総合して評価する。</p>								1. 主題発見のための問題提示		9. 専門演習（日本画制作）		2. 素材・技法の研究		10. 専門演習（日本画制作）		3. 専門演習（日本画制作についての計画）		11. 専門演習（日本画制作）		4. 専門演習（日本画制作）		12. 専門演習（日本画制作）		5. 専門演習（日本画制作）		13. 専門演習（日本画制作）		6. 専門演習（日本画制作）		14. 院1，院2合同の研究作品合評会（12月） 作品展（100号程度）の説明		7. 専門演習（日本画制作）		15. 作品展（100号程度）		8. 専門演習（日本画制作）			
1. 主題発見のための問題提示		9. 専門演習（日本画制作）																																					
2. 素材・技法の研究		10. 専門演習（日本画制作）																																					
3. 専門演習（日本画制作についての計画）		11. 専門演習（日本画制作）																																					
4. 専門演習（日本画制作）		12. 専門演習（日本画制作）																																					
5. 専門演習（日本画制作）		13. 専門演習（日本画制作）																																					
6. 専門演習（日本画制作）		14. 院1，院2合同の研究作品合評会（12月） 作品展（100号程度）の説明																																					
7. 専門演習（日本画制作）		15. 作品展（100号程度）																																					
8. 専門演習（日本画制作）																																							

教科 No.	3A03	授業科目	日本画研究 3			単位数	6単位																																
担当教員	西田真人 浅野 均 綾田勝義 小池一範 日影 圭 川嶋 涉 小島徳朗				開講学期	前期																																	
履修条件				履修学年・専攻等	2年次																																		
<p>【授業目標】 現代社会における日本画の本質と自己の制作の方向性の考察。</p> <p>【授業概要】 各自研究テーマに応じた日本画制作の指導。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 主題発見のための問題提示</td> <td></td> <td>9. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 素材・技法の研究</td> <td>各教員のテーマ設定によるゼミナール（第1回）</td> <td>10. 専門演習（日本画制作）</td> <td>各教員のテーマ設定によるゼミナール（第5回）</td> </tr> <tr> <td>3. 専門演習（日本画制作についての計画）</td> <td></td> <td>11. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. 専門演習（日本画制作）</td> <td>各教員のテーマ設定によるゼミナール（第2回）</td> <td>12. 専門演習（日本画制作）</td> <td>各教員のテーマ設定によるゼミナール（第6回）</td> </tr> <tr> <td>5. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> <td>13. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 専門演習（日本画制作）</td> <td>各教員のテーマ設定によるゼミナール（第3回）</td> <td>14. 専門演習（日本画制作）</td> <td>各教員のテーマ設定によるゼミナール（第7回）</td> </tr> <tr> <td>7. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> <td>15. 院1，院2合同の研究作品合評会（7月）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 専門演習（日本画制作）</td> <td>各教員のテーマ設定によるゼミナール（第4回）</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 演習における作品の評価及び講義中の質疑応答，討論を総合して評価する。</p>								1. 主題発見のための問題提示		9. 専門演習（日本画制作）		2. 素材・技法の研究	各教員のテーマ設定によるゼミナール（第1回）	10. 専門演習（日本画制作）	各教員のテーマ設定によるゼミナール（第5回）	3. 専門演習（日本画制作についての計画）		11. 専門演習（日本画制作）		4. 専門演習（日本画制作）	各教員のテーマ設定によるゼミナール（第2回）	12. 専門演習（日本画制作）	各教員のテーマ設定によるゼミナール（第6回）	5. 専門演習（日本画制作）		13. 専門演習（日本画制作）		6. 専門演習（日本画制作）	各教員のテーマ設定によるゼミナール（第3回）	14. 専門演習（日本画制作）	各教員のテーマ設定によるゼミナール（第7回）	7. 専門演習（日本画制作）		15. 院1，院2合同の研究作品合評会（7月）		8. 専門演習（日本画制作）	各教員のテーマ設定によるゼミナール（第4回）		
1. 主題発見のための問題提示		9. 専門演習（日本画制作）																																					
2. 素材・技法の研究	各教員のテーマ設定によるゼミナール（第1回）	10. 専門演習（日本画制作）	各教員のテーマ設定によるゼミナール（第5回）																																				
3. 専門演習（日本画制作についての計画）		11. 専門演習（日本画制作）																																					
4. 専門演習（日本画制作）	各教員のテーマ設定によるゼミナール（第2回）	12. 専門演習（日本画制作）	各教員のテーマ設定によるゼミナール（第6回）																																				
5. 専門演習（日本画制作）		13. 専門演習（日本画制作）																																					
6. 専門演習（日本画制作）	各教員のテーマ設定によるゼミナール（第3回）	14. 専門演習（日本画制作）	各教員のテーマ設定によるゼミナール（第7回）																																				
7. 専門演習（日本画制作）		15. 院1，院2合同の研究作品合評会（7月）																																					
8. 専門演習（日本画制作）	各教員のテーマ設定によるゼミナール（第4回）																																						

教科 No.	3A04	授業科目	日本画研究 4			単位数	6単位																																
担当教員	西田真人 浅野 均 綾田勝義 小池一範 日影 圭 川嶋 涉 小島徳朗				開講学期	後期																																	
履修条件				履修学年・専攻等	2年次																																		
<p>【授業目標】 現代社会における日本画の本質と自己の制作の方向性の考察。</p> <p>【授業概要】 自己の研究テーマにおける素材と技法及び絵画的造形思考についての指導。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 主題発見のための問題提示</td> <td></td> <td>9. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 素材・技法の研究</td> <td></td> <td>10. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 専門演習（日本画制作についての計画）</td> <td></td> <td>11. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> <td>12. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> <td>13. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> <td>14. 院1，院2合同の研究作品合評会（12月）</td> <td>修了審査作品（150号程度）の説明</td> </tr> <tr> <td>7. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> <td>15. 修了審査 修了制作作品展（150号程度）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 専門演習（日本画制作）</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 演習における作品の評価及び講義中の質疑応答，討論を総合して評価する。</p>								1. 主題発見のための問題提示		9. 専門演習（日本画制作）		2. 素材・技法の研究		10. 専門演習（日本画制作）		3. 専門演習（日本画制作についての計画）		11. 専門演習（日本画制作）		4. 専門演習（日本画制作）		12. 専門演習（日本画制作）		5. 専門演習（日本画制作）		13. 専門演習（日本画制作）		6. 専門演習（日本画制作）		14. 院1，院2合同の研究作品合評会（12月）	修了審査作品（150号程度）の説明	7. 専門演習（日本画制作）		15. 修了審査 修了制作作品展（150号程度）		8. 専門演習（日本画制作）			
1. 主題発見のための問題提示		9. 専門演習（日本画制作）																																					
2. 素材・技法の研究		10. 専門演習（日本画制作）																																					
3. 専門演習（日本画制作についての計画）		11. 専門演習（日本画制作）																																					
4. 専門演習（日本画制作）		12. 専門演習（日本画制作）																																					
5. 専門演習（日本画制作）		13. 専門演習（日本画制作）																																					
6. 専門演習（日本画制作）		14. 院1，院2合同の研究作品合評会（12月）	修了審査作品（150号程度）の説明																																				
7. 専門演習（日本画制作）		15. 修了審査 修了制作作品展（150号程度）																																					
8. 専門演習（日本画制作）																																							

教科 No.	3A05	授業科目	特殊演習 1 (日本画)	単位数	1単位
担当教員	西田真人 浅野 均 綾田勝義 小池一範 日影 圭 川嶋 涉 小島徳朗			開講学期	前期
履修条件			履修学年・専攻等	1年次	
<p>【授業目標】 各自の研究テーマに応じ、制作思考を深める。</p> <p>【授業概要】 研究テーマにおける問題点について指導する。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 問題提示についての討議 2. 研究方法についての討議 3. 研究内容についてのゼミ及び研修 4. レポートの作成 <p>【評価方法】 レポート及び識義中の質疑応答、討論を総合して評価する。</p>					

教科 No.	3A06	授業科目	特殊演習 2 (日本画)	単位数	1単位
担当教員	西田真人 浅野 均 綾田勝義 小池一範 日影 圭 川嶋 涉 小島徳朗			開講学期	後期
履修条件			履修学年・専攻等	1年次	
<p>【授業目標】 各自の研究テーマに応じ、制作思考を深める。</p> <p>【授業概要】 研究テーマにおける問題点について指導する。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 問題提示についての討議 2. 研究方法についての討議 3. 研究内容についてのゼミ及び研修 4. レポートの作成 <p>【評価方法】 レポート及び識義中の質疑応答、討論を総合して評価する。</p>					

教科 No.	3A07	授業科目	特殊演習 3 (日本画)	単位数	1単位
担当教員	西田真人 浅野 均 綾田勝義 小池一範 日影 圭 川嶋 涉 小島徳朗			開講学期	前期
履修条件				履修学年・専攻等	2年次
<p>【授業目標】 各自の研究テーマに応じ、制作思考を深める。</p> <p>【授業概要】 研究テーマにおける問題点について指導する。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 問題提示についての討議 2. 研究方法についての討議 3. 研究内容についてのゼミ及び研修 4. レポートの作成 <p>【評価方法】 レポート及び識義中の質疑応答、討論を総合して評価する。</p>					

教科 No.	3A08	授業科目	特殊演習 4 (日本画)	単位数	1単位
担当教員	西田真人 浅野 均 綾田勝義 小池一範 日影 圭 川嶋 涉 小島徳朗			開講学期	後期
履修条件				履修学年・専攻等	2年次
<p>【授業目標】 各自の研究テーマに応じ、制作思考を深める。</p> <p>【授業概要】 研究テーマにおける問題点について指導する。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 問題提示についての討議 2. 研究方法についての討議 3. 研究内容についてのゼミ及び研修 4. レポートの作成 <p>【評価方法】 レポート及び識義中の質疑応答、討論を総合して評価する。</p>					

教科 No.	3B01	授業科目	油画研究 1	単位数	6単位																
担当教員	鶴田憲次 Simon Fitzgerald 石原友明 渡辺信明 法貴信也 金田勝一			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次																	
<p>【授業目標】 各自の自主制作を続けながら，作品のテーマと技法を見つめ直し，今後の制作の方向と可能性を探る。</p> <p>【授業概要】 自己のテーマに基づき記された研究計画書をもとに個人指導を行う。 そこで見出された問題点について，制作の展開と深化をはかる。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 制作上のテーマについての検討</td> <td>9. 制作，発表等についての報告と批評</td> </tr> <tr> <td>2. 前期計画書作成と提出</td> <td>10. "</td> </tr> <tr> <td>3. 研究計画書に基づいた中間制作指導</td> <td>11. "</td> </tr> <tr> <td>4. "</td> <td>12. "</td> </tr> <tr> <td>5. "</td> <td>13. "</td> </tr> <tr> <td>6. "</td> <td>14. 前期の制作，発表等についての報告と批評</td> </tr> <tr> <td>7. "</td> <td>15. 研究報告書提出</td> </tr> <tr> <td>8. 前期の制作，発表等についての報告と批評</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 作品の内容を重視し，学内外での活動（展覧会の開催など）も考慮しながら，研究目標達成度を総合的に評価する。</p>						1. 制作上のテーマについての検討	9. 制作，発表等についての報告と批評	2. 前期計画書作成と提出	10. "	3. 研究計画書に基づいた中間制作指導	11. "	4. "	12. "	5. "	13. "	6. "	14. 前期の制作，発表等についての報告と批評	7. "	15. 研究報告書提出	8. 前期の制作，発表等についての報告と批評	
1. 制作上のテーマについての検討	9. 制作，発表等についての報告と批評																				
2. 前期計画書作成と提出	10. "																				
3. 研究計画書に基づいた中間制作指導	11. "																				
4. "	12. "																				
5. "	13. "																				
6. "	14. 前期の制作，発表等についての報告と批評																				
7. "	15. 研究報告書提出																				
8. 前期の制作，発表等についての報告と批評																					

教科 No.	3B02	授業科目	油画研究 2	単位数	6単位																
担当教員	鶴田憲次 Simon Fitzgerald 石原友明 渡辺信明 法貴信也 金田勝一			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次																	
<p>【授業目標】 各自の自主制作を続けながら，作品のテーマと技法を見つめ直し，今後の制作の方向と可能性を探る。</p> <p>【授業概要】 自己のテーマに基づき記された研究計画書をもとに個人指導を行う。 そこで見出された問題点について，制作の展開と深化をはかる。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 制作上のテーマについての検討</td> <td>9. 制作，発表等についての報告と批評</td> </tr> <tr> <td>2. 後期計画書作成と提出</td> <td>10. "</td> </tr> <tr> <td>3. 研究計画書に基づいた中間制作指導</td> <td>11. "</td> </tr> <tr> <td>4. "</td> <td>12. "</td> </tr> <tr> <td>5. "</td> <td>13. "</td> </tr> <tr> <td>6. "</td> <td>14. 後期の制作，発表等についての報告と批評</td> </tr> <tr> <td>7. "</td> <td>15. 研究報告書提出</td> </tr> <tr> <td>8. 後期の制作，発表等についての報告と批評</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 作品の内容を重視し，学内外での活動（展覧会の開催など）も考慮しながら，研究目標達成度を総合的に評価する。</p>						1. 制作上のテーマについての検討	9. 制作，発表等についての報告と批評	2. 後期計画書作成と提出	10. "	3. 研究計画書に基づいた中間制作指導	11. "	4. "	12. "	5. "	13. "	6. "	14. 後期の制作，発表等についての報告と批評	7. "	15. 研究報告書提出	8. 後期の制作，発表等についての報告と批評	
1. 制作上のテーマについての検討	9. 制作，発表等についての報告と批評																				
2. 後期計画書作成と提出	10. "																				
3. 研究計画書に基づいた中間制作指導	11. "																				
4. "	12. "																				
5. "	13. "																				
6. "	14. 後期の制作，発表等についての報告と批評																				
7. "	15. 研究報告書提出																				
8. 後期の制作，発表等についての報告と批評																					

教科 No.	3B03	授業科目	油画研究 3	単位数	6単位																
担当教員	鶴田憲次 Simon Fitzgerald 石原友明 渡辺信明 法貴信也 金田勝一			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 各自の自主制作を続けながら，作品のテーマと技法を見つめ直し，今後の制作の方向と可能性を探る。</p> <p>【授業概要】 自己のテーマに基づき記された研究計画書をもとに個人指導を行う。 そこで見出された問題点について，制作の展開と深化をはかる。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 制作上のテーマについての検討</td> <td>9. 制作，発表等についての報告と批評</td> </tr> <tr> <td>2. 前期計画書作成と提出</td> <td>10. "</td> </tr> <tr> <td>3. 研究計画書に基づいた中間制作指導</td> <td>11. "</td> </tr> <tr> <td>4. "</td> <td>12. "</td> </tr> <tr> <td>5. "</td> <td>13. "</td> </tr> <tr> <td>6. "</td> <td>14. 前期の制作，発表等についての報告と批評</td> </tr> <tr> <td>7. "</td> <td>15. 研究報告書提出</td> </tr> <tr> <td>8. 前期の制作，発表等についての報告と批評</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 作品の内容を重視し，学内外での活動（展覧会の開催など）も考慮しながら，研究目標達成度を総合的に評価する。</p>						1. 制作上のテーマについての検討	9. 制作，発表等についての報告と批評	2. 前期計画書作成と提出	10. "	3. 研究計画書に基づいた中間制作指導	11. "	4. "	12. "	5. "	13. "	6. "	14. 前期の制作，発表等についての報告と批評	7. "	15. 研究報告書提出	8. 前期の制作，発表等についての報告と批評	
1. 制作上のテーマについての検討	9. 制作，発表等についての報告と批評																				
2. 前期計画書作成と提出	10. "																				
3. 研究計画書に基づいた中間制作指導	11. "																				
4. "	12. "																				
5. "	13. "																				
6. "	14. 前期の制作，発表等についての報告と批評																				
7. "	15. 研究報告書提出																				
8. 前期の制作，発表等についての報告と批評																					

教科 No.	3B04	授業科目	油画研究 4	単位数	6単位																
担当教員	鶴田憲次 Simon Fitzgerald 石原友明 渡辺信明 法貴信也 金田勝一			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 各自の自主制作を続けながら，作品のテーマと技法を見つめ直し，今後の制作の方向と可能性を探る。</p> <p>【授業概要】 自己のテーマに基づき記された研究計画書をもとに個人指導を行う。 そこで見出された問題点について，制作の展開と深化をはかる。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 制作上のテーマについての検討</td> <td>9. 制作，発表等についての報告と批評</td> </tr> <tr> <td>2. 後期計画書作成と提出</td> <td>10. "</td> </tr> <tr> <td>3. 研究計画書に基づいた中間制作指導</td> <td>11. "</td> </tr> <tr> <td>4. "</td> <td>12. "</td> </tr> <tr> <td>5. "</td> <td>13. "</td> </tr> <tr> <td>6. "</td> <td>14. 後期の制作，発表等についての報告と批評</td> </tr> <tr> <td>7. "</td> <td>15. 研究報告書提出</td> </tr> <tr> <td>8. 後期の制作，発表等についての報告と批評</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 作品の内容を重視し，学内外での活動（展覧会の開催など）も考慮しながら，研究目標達成度を総合的に評価する。2年次には担当教員である主査と専攻外の1名を含めた3名の副査とで修了審査を行なう。</p>						1. 制作上のテーマについての検討	9. 制作，発表等についての報告と批評	2. 後期計画書作成と提出	10. "	3. 研究計画書に基づいた中間制作指導	11. "	4. "	12. "	5. "	13. "	6. "	14. 後期の制作，発表等についての報告と批評	7. "	15. 研究報告書提出	8. 後期の制作，発表等についての報告と批評	
1. 制作上のテーマについての検討	9. 制作，発表等についての報告と批評																				
2. 後期計画書作成と提出	10. "																				
3. 研究計画書に基づいた中間制作指導	11. "																				
4. "	12. "																				
5. "	13. "																				
6. "	14. 後期の制作，発表等についての報告と批評																				
7. "	15. 研究報告書提出																				
8. 後期の制作，発表等についての報告と批評																					

教科 No.	3B05	授業科目	特殊演習 1 (油画)	単位数	1単位
担当教員	鶴田憲次・Simon Fitzgerald・石原友明・渡辺信明・法貴信也・金田勝一			開講学期	前期
履修条件			履修学年・専攻等	1年次	
【授業目標】 多角的な演習を通じて制作への意識を高めていく。					
【授業概要】 「描く」、「つくる」という表現手段から、角度を変えて考えることのできる柔軟性が必要である。そのために展覧会で「みる」こと、ディスカッションを通じての「話す」こと、展示や発表などの「置く」ことへの配慮が重要である。各研究室によって異なるが、半期ごと30時間、または週2時間の下記のような演習を行う。・それぞれの制作、研究課題についてのディスカッション・ギャラリー、美術館等での展覧会研修・ビデオ等を題材としたディスカッション・フィールドワーク・作家研究とそれについてのディスカッション・異なる表現技法の試み・制作ノートの作成 etc.					
【授業内容】					
1. テーマを検討、決定				9. "	
2. テーマに基づいた演習				10. "	
3. "				11. "	
4. "				12. "	
5. "				13. "	
6. "				14. "	
7. "				15. まとめ	
8. "					
【評価方法】 セミナーでの発表の内容と参加状況を総合的に評価する。					

教科 No.	3B06	授業科目	特殊演習 2 (油画)	単位数	1単位
担当教員	鶴田憲次・Simon Fitzgerald・石原友明・渡辺信明・法貴信也・金田勝一			開講学期	後期
履修条件			履修学年・専攻等	1年次	
【授業目標】 多角的な演習を通じて制作への意識を高めていく。					
【授業概要】 「描く」、「つくる」という表現手段から、角度を変えて考えることのできる柔軟性が必要である。そのために展覧会で「みる」こと、ディスカッションを通じての「話す」こと、展示や発表などの「置く」ことへの配慮が重要である。各研究室によって異なるが、半期ごと30時間、または週2時間の下記のような演習を行う。・それぞれの制作、研究課題についてのディスカッション・ギャラリー、美術館等での展覧会研修・ビデオ等を題材としたディスカッション・フィールドワーク・作家研究とそれについてのディスカッション・異なる表現技法の試み・制作ノートの作成 etc.					
【授業内容】					
1. テーマを検討、決定				9. "	
2. テーマに基づいた演習				10. "	
3. "				11. "	
4. "				12. "	
5. "				13. "	
6. "				14. "	
7. "				15. まとめ	
8. "					
【評価方法】 セミナーでの発表の内容と参加状況を総合的に評価する。					

教科 No.	3B07	授業科目	特殊演習 3 (油画)	単位数	1単位																
担当教員	鶴田憲次・Simon Fitzgerald・石原友明・渡辺信明・法貴信也・金田勝一			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 多角的な演習を通じて制作への意識を高めていく。</p> <p>【授業概要】 「描く」、「つくる」という表現手段から、角度を変えて考えることのできる柔軟性が必要である。そのために展覧会で「みる」こと、ディスカッションを通じての「話す」こと、展示や発表などの「置く」ことへの配慮が重要である。各研究室によって異なるが、半期ごと30時間、または週2時間の下記のような演習を行う。・それぞれの制作、研究課題についてのディスカッション・ギャラリー、美術館等での展覧会研修・ビデオ等を題材としたディスカッション・フィールドワーク・作家研究とそれについてのディスカッション・異なる表現技法の試み・制作ノートの作成 etc.</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr><td>1. テーマを検討、決定</td><td>9. "</td></tr> <tr><td>2. テーマに基づいた演習</td><td>10. "</td></tr> <tr><td>3. "</td><td>11. "</td></tr> <tr><td>4. "</td><td>12. "</td></tr> <tr><td>5. "</td><td>13. "</td></tr> <tr><td>6. "</td><td>14. "</td></tr> <tr><td>7. "</td><td>15. まとめ</td></tr> <tr><td>8. "</td><td></td></tr> </table> <p>【評価方法】 セミナーでの発表の内容と参加状況を総合的に評価する。</p>						1. テーマを検討、決定	9. "	2. テーマに基づいた演習	10. "	3. "	11. "	4. "	12. "	5. "	13. "	6. "	14. "	7. "	15. まとめ	8. "	
1. テーマを検討、決定	9. "																				
2. テーマに基づいた演習	10. "																				
3. "	11. "																				
4. "	12. "																				
5. "	13. "																				
6. "	14. "																				
7. "	15. まとめ																				
8. "																					

教科 No.	3B08	授業科目	特殊演習 4 (油画)	単位数	1単位																
担当教員	鶴田憲次・Simon Fitzgerald・石原友明・渡辺信明・法貴信也・金田勝一			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 多角的な演習を通じて制作への意識を高めていく。</p> <p>【授業概要】 「描く」、「つくる」という表現手段から、角度を変えて考えることのできる柔軟性が必要である。そのために展覧会で「みる」こと、ディスカッションを通じての「話す」こと、展示や発表などの「置く」ことへの配慮が重要である。各研究室によって異なるが、半期ごと30時間、または週2時間の下記のような演習を行う。・それぞれの制作、研究課題についてのディスカッション・ギャラリー、美術館等での展覧会研修・ビデオ等を題材としたディスカッション・フィールドワーク・作家研究とそれについてのディスカッション・異なる表現技法の試み・制作ノートの作成 etc.</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr><td>1. テーマを検討、決定</td><td>9. "</td></tr> <tr><td>2. テーマに基づいた演習</td><td>10. "</td></tr> <tr><td>3. "</td><td>11. "</td></tr> <tr><td>4. "</td><td>12. "</td></tr> <tr><td>5. "</td><td>13. "</td></tr> <tr><td>6. "</td><td>14. "</td></tr> <tr><td>7. "</td><td>15. まとめ</td></tr> <tr><td>8. "</td><td></td></tr> </table> <p>【評価方法】 セミナーでの発表の内容と参加状況を総合的に評価する。</p>						1. テーマを検討、決定	9. "	2. テーマに基づいた演習	10. "	3. "	11. "	4. "	12. "	5. "	13. "	6. "	14. "	7. "	15. まとめ	8. "	
1. テーマを検討、決定	9. "																				
2. テーマに基づいた演習	10. "																				
3. "	11. "																				
4. "	12. "																				
5. "	13. "																				
6. "	14. "																				
7. "	15. まとめ																				
8. "																					

教科 No.	3B11	授業科目	壁画研究 1	単位数	6単位																
担当教員	赤松 玉女			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次																	
<p>【授業目標】 各自の自主制作を続けながら、作品のテーマと技法を見つめ直し、今後の制作の方向と可能性を探る。</p> <p>【授業概要】 自己のテーマに基づき記された研究計画書をもとに個人指導を行う。そこで見出された問題点について、制作の展開と深化をはかる。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 制作上のテーマについての検討</td> <td>9. 制作、発表等についての報告と批評</td> </tr> <tr> <td>2. 前期計画書作成と提出</td> <td>10. "</td> </tr> <tr> <td>3. 研究計画書に基づいた中間制作指導</td> <td>11. "</td> </tr> <tr> <td>4. "</td> <td>12. "</td> </tr> <tr> <td>5. "</td> <td>13. "</td> </tr> <tr> <td>6. "</td> <td>14. 前期の制作、発表等についての報告と批評</td> </tr> <tr> <td>7. "</td> <td>15. 研究報告書提出</td> </tr> <tr> <td>8. 前期の制作、発表等についての報告と批評</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 作品の内容を重視し、学内外での活動（展覧会の開催など）も考慮しながら、研究目標達成度を総合的に評価する。2年次には担当教員である主査と専攻外の1名を含めた3名の副査とで修了審査を行なう。そこで見出された問題点について、制作の展開と深化をはかる。</p>						1. 制作上のテーマについての検討	9. 制作、発表等についての報告と批評	2. 前期計画書作成と提出	10. "	3. 研究計画書に基づいた中間制作指導	11. "	4. "	12. "	5. "	13. "	6. "	14. 前期の制作、発表等についての報告と批評	7. "	15. 研究報告書提出	8. 前期の制作、発表等についての報告と批評	
1. 制作上のテーマについての検討	9. 制作、発表等についての報告と批評																				
2. 前期計画書作成と提出	10. "																				
3. 研究計画書に基づいた中間制作指導	11. "																				
4. "	12. "																				
5. "	13. "																				
6. "	14. 前期の制作、発表等についての報告と批評																				
7. "	15. 研究報告書提出																				
8. 前期の制作、発表等についての報告と批評																					

教科 No.	3B12	授業科目	壁画研究 2	単位数	6単位																
担当教員	赤松 玉女			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次																	
<p>【授業目標】 各自の自主制作を続けながら、作品のテーマと技法を見つめ直し、今後の制作の方向と可能性を探る。</p> <p>【授業概要】 自己のテーマに基づき記された研究計画書をもとに個人指導を行う。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 制作上のテーマについての検討</td> <td>9. 制作、発表等についての報告と批評</td> </tr> <tr> <td>2. 後期計画書作成と提出</td> <td>10. "</td> </tr> <tr> <td>3. 研究計画書に基づいた中間制作指導</td> <td>11. "</td> </tr> <tr> <td>4. "</td> <td>12. "</td> </tr> <tr> <td>5. "</td> <td>13. "</td> </tr> <tr> <td>6. "</td> <td>14. 後期の制作、発表等についての報告と批評</td> </tr> <tr> <td>7. "</td> <td>15. 研究報告書提出</td> </tr> <tr> <td>8. 後期の制作、発表等についての報告と批評</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 作品の内容を重視し、学内外での活動（展覧会の開催など）も考慮しながら、研究目標達成度を総合的に評価する。そこで見出された問題点について、制作の展開と深化をはかる。</p>						1. 制作上のテーマについての検討	9. 制作、発表等についての報告と批評	2. 後期計画書作成と提出	10. "	3. 研究計画書に基づいた中間制作指導	11. "	4. "	12. "	5. "	13. "	6. "	14. 後期の制作、発表等についての報告と批評	7. "	15. 研究報告書提出	8. 後期の制作、発表等についての報告と批評	
1. 制作上のテーマについての検討	9. 制作、発表等についての報告と批評																				
2. 後期計画書作成と提出	10. "																				
3. 研究計画書に基づいた中間制作指導	11. "																				
4. "	12. "																				
5. "	13. "																				
6. "	14. 後期の制作、発表等についての報告と批評																				
7. "	15. 研究報告書提出																				
8. 後期の制作、発表等についての報告と批評																					

教科 No.	3B13	授業科目	壁画研究 3	単位数	6単位																
担当教員	赤松 玉女			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 各自の自主制作を続けながら、作品のテーマと技法を見つめ直し、今後の制作の方向と可能性を探る。</p> <p>【授業概要】 自己のテーマに基づき記された研究計画書をもとに個人指導を行う。そこで見出された問題点について、制作の展開と深化をはかる。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 制作上のテーマについての検討</td> <td>9. 制作、発表等についての報告と批評</td> </tr> <tr> <td>2. 前期計画書作成と提出</td> <td>10. "</td> </tr> <tr> <td>3. 研究計画書に基づいた中間制作指導</td> <td>11. "</td> </tr> <tr> <td>4. "</td> <td>12. "</td> </tr> <tr> <td>5. "</td> <td>13. "</td> </tr> <tr> <td>6. "</td> <td>14. 前期の制作、発表等についての報告と批評</td> </tr> <tr> <td>7. "</td> <td>15. 研究報告書提出</td> </tr> <tr> <td>8. 前期の制作、発表等についての報告と批評</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 作品の内容を重視し、学内外での活動（展覧会の開催など）も考慮しながら、研究目標達成度を総合的に評価する。</p>						1. 制作上のテーマについての検討	9. 制作、発表等についての報告と批評	2. 前期計画書作成と提出	10. "	3. 研究計画書に基づいた中間制作指導	11. "	4. "	12. "	5. "	13. "	6. "	14. 前期の制作、発表等についての報告と批評	7. "	15. 研究報告書提出	8. 前期の制作、発表等についての報告と批評	
1. 制作上のテーマについての検討	9. 制作、発表等についての報告と批評																				
2. 前期計画書作成と提出	10. "																				
3. 研究計画書に基づいた中間制作指導	11. "																				
4. "	12. "																				
5. "	13. "																				
6. "	14. 前期の制作、発表等についての報告と批評																				
7. "	15. 研究報告書提出																				
8. 前期の制作、発表等についての報告と批評																					

教科 No.	3B14	授業科目	壁画研究 4	単位数	6単位																
担当教員	赤松 玉女			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 各自の自主制作を続けながら、作品のテーマと技法を見つめ直し、今後の制作の方向と可能性を探る。</p> <p>【授業概要】 自己のテーマに基づき記された研究計画書をもとに個人指導を行う。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 制作上のテーマについての検討</td> <td>9. 制作、発表等についての報告と批評</td> </tr> <tr> <td>2. 後期計画書作成と提出</td> <td>10. "</td> </tr> <tr> <td>3. 研究計画書に基づいた中間制作指導</td> <td>11. "</td> </tr> <tr> <td>4. "</td> <td>12. "</td> </tr> <tr> <td>5. "</td> <td>13. "</td> </tr> <tr> <td>6. "</td> <td>14. 後期の制作、発表等についての報告と批評</td> </tr> <tr> <td>7. "</td> <td>15. 研究報告書提出</td> </tr> <tr> <td>8. 後期の制作、発表等についての報告と批評</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 作品の内容を重視し、学内外での活動（展覧会の開催など）も考慮しながら、研究目標達成度を総合的に評価する。2年次には担当教員である主査と専攻外の1名を含めた3名の副査とで修了審査を行なう。そこで見出された問題点について、制作の展開と深化をはかる。</p>						1. 制作上のテーマについての検討	9. 制作、発表等についての報告と批評	2. 後期計画書作成と提出	10. "	3. 研究計画書に基づいた中間制作指導	11. "	4. "	12. "	5. "	13. "	6. "	14. 後期の制作、発表等についての報告と批評	7. "	15. 研究報告書提出	8. 後期の制作、発表等についての報告と批評	
1. 制作上のテーマについての検討	9. 制作、発表等についての報告と批評																				
2. 後期計画書作成と提出	10. "																				
3. 研究計画書に基づいた中間制作指導	11. "																				
4. "	12. "																				
5. "	13. "																				
6. "	14. 後期の制作、発表等についての報告と批評																				
7. "	15. 研究報告書提出																				
8. 後期の制作、発表等についての報告と批評																					

教科 No.	3B15	授業科目	特殊演習 1 (壁画)	単位数	1単位
担当教員	赤松玉女			開講学期	前期
履修条件			履修学年・専攻等	1年次	
【授業目標】 多角的な演習を通じて制作への意識を高めていく。					
【授業概要】 「描く」、「つくる」という表現手段から、角度を変えて考えることのできる柔軟性が必要である。そのために展覧会で「みる」こと、ディスカッションを通じての「話す」こと、展示や発表などの「置く」ことへの配慮が重要である。各研究室によって異なるが、半期ごと30時間、または週2時間の下記のような演習を行う。・それぞれの制作、研究課題についてのディスカッション・ギャラリー、美術館等での展覧会研修・ビデオ等を題材としたディスカッション・フィールドワーク・作家研究とそれについてのディスカッション・異なる表現技法の試み・制作ノートの作成 etc.					
【授業内容】					
1. テーマを検討、決定			9. "		
2. テーマに基づいた演習			10. "		
3. "			11. "		
4. "			12. "		
5. "			13. "		
6. "			14. "		
7. "			15. まとめ		
8. "					
【評価方法】 セミナーでの発表の内容と参加状況を総合的に評価する。					

教科 No.	3B16	授業科目	特殊演習 2 (壁画)	単位数	1単位
担当教員	赤松玉女			開講学期	後期
履修条件			履修学年・専攻等	1年次	
【授業目標】 多角的な演習を通じて制作への意識を高めていく。					
【授業概要】 「描く」、「つくる」という表現手段から、角度を変えて考えることのできる柔軟性が必要である。そのために展覧会で「みる」こと、ディスカッションを通じての「話す」こと、展示や発表などの「置く」ことへの配慮が重要である。各研究室によって異なるが、半期ごと30時間、または週2時間の下記のような演習を行う。・それぞれの制作、研究課題についてのディスカッション・ギャラリー、美術館等での展覧会研修・ビデオ等を題材としたディスカッション・フィールドワーク・作家研究とそれについてのディスカッション・異なる表現技法の試み・制作ノートの作成 etc.					
【授業内容】					
1. テーマを検討、決定			9. "		
2. テーマに基づいた演習			10. "		
3. "			11. "		
4. "			12. "		
5. "			13. "		
6. "			14. "		
7. "			15. まとめ		
8. "					
【評価方法】 セミナーでの発表の内容と参加状況を総合的に評価する。					

教科 No.	3B17	授業科目	特殊演習 3 (壁画)	単位数	1単位																
担当教員	赤松玉女			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 多角的な演習を通じて制作への意識を高めていく。</p> <p>【授業概要】 「描く」、「つくる」という表現手段から、角度を変えて考えることのできる柔軟性が必要である。そのために展覧会で「みる」こと、ディスカッションを通じての「話す」こと、展示や発表などの「置く」ことへの配慮が重要である。各研究室によって異なるが、半期ごと30時間、または週2時間の下記のような演習を行う。・それぞれの制作、研究課題についてのディスカッション・ギャラリー、美術館等での展覧会研修・ビデオ等を題材としたディスカッション・フィールドワーク・作家研究とそれについてのディスカッション・異なる表現技法の試み・制作ノート作成 etc.</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr><td>1. テーマを検討、決定</td><td>9. "</td></tr> <tr><td>2. テーマに基づいた演習</td><td>10. "</td></tr> <tr><td>3. "</td><td>11. "</td></tr> <tr><td>4. "</td><td>12. "</td></tr> <tr><td>5. "</td><td>13. "</td></tr> <tr><td>6. "</td><td>14. "</td></tr> <tr><td>7. "</td><td>15. まとめ</td></tr> <tr><td>8. "</td><td></td></tr> </table> <p>【評価方法】 セミナーでの発表の内容と参加状況を総合的に評価する。</p>						1. テーマを検討、決定	9. "	2. テーマに基づいた演習	10. "	3. "	11. "	4. "	12. "	5. "	13. "	6. "	14. "	7. "	15. まとめ	8. "	
1. テーマを検討、決定	9. "																				
2. テーマに基づいた演習	10. "																				
3. "	11. "																				
4. "	12. "																				
5. "	13. "																				
6. "	14. "																				
7. "	15. まとめ																				
8. "																					

教科 No.	3B18	授業科目	特殊演習 4 (壁画)	単位数	1単位																
担当教員	赤松玉女			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 多角的な演習を通じて制作への意識を高めていく。</p> <p>【授業概要】 「描く」、「つくる」という表現手段から、角度を変えて考えることのできる柔軟性が必要である。そのために展覧会で「みる」こと、ディスカッションを通じての「話す」こと、展示や発表などの「置く」ことへの配慮が重要である。各研究室によって異なるが、半期ごと30時間、または週2時間の下記のような演習を行う。・それぞれの制作、研究課題についてのディスカッション・ギャラリー、美術館等での展覧会研修・ビデオ等を題材としたディスカッション・フィールドワーク・作家研究とそれについてのディスカッション・異なる表現技法の試み・制作ノート作成 etc.</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr><td>1. テーマを検討、決定</td><td>9. "</td></tr> <tr><td>2. テーマに基づいた演習</td><td>10. "</td></tr> <tr><td>3. "</td><td>11. "</td></tr> <tr><td>4. "</td><td>12. "</td></tr> <tr><td>5. "</td><td>13. "</td></tr> <tr><td>6. "</td><td>14. "</td></tr> <tr><td>7. "</td><td>15. まとめ</td></tr> <tr><td>8. "</td><td></td></tr> </table> <p>【評価方法】 セミナーでの発表の内容と参加状況を総合的に評価する。</p>						1. テーマを検討、決定	9. "	2. テーマに基づいた演習	10. "	3. "	11. "	4. "	12. "	5. "	13. "	6. "	14. "	7. "	15. まとめ	8. "	
1. テーマを検討、決定	9. "																				
2. テーマに基づいた演習	10. "																				
3. "	11. "																				
4. "	12. "																				
5. "	13. "																				
6. "	14. "																				
7. "	15. まとめ																				
8. "																					

教科 No.	3D01	授業科目	版画研究 1	単位数	6単位																
担当教員	木村秀樹・出原司・大西伸明			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次																	
<p>【授業目標】 版画すなわち、複数性と間接性による表現の、独自性と普遍性を研究し制作を行う。</p> <p>【授業概要】 基本4版種の工房別制作を中心に、版種横断的制作、写真、デジタル処理を含む複製メディアを活用した制作を指導する。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。</td> <td>9. 工房別制作</td> </tr> <tr> <td>2. 工房別制作</td> <td>10. 合評会</td> </tr> <tr> <td>3. 工房別制作</td> <td>11. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。</td> </tr> <tr> <td>4. 工房別制作</td> <td>12. 工房別制作</td> </tr> <tr> <td>5. 合評会</td> <td>13. 工房別制作</td> </tr> <tr> <td>6. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。</td> <td>14. 工房別制作</td> </tr> <tr> <td>7. 工房別制作</td> <td>15. 合評会</td> </tr> <tr> <td>8. 工房別制作</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 提出作品、出席、口頭発表、対外的活動等を総合して評価する。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【教科書】</p> <p>【参考書等】 関西現代版画史 版画事典</p>						1. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。	9. 工房別制作	2. 工房別制作	10. 合評会	3. 工房別制作	11. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。	4. 工房別制作	12. 工房別制作	5. 合評会	13. 工房別制作	6. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。	14. 工房別制作	7. 工房別制作	15. 合評会	8. 工房別制作	
1. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。	9. 工房別制作																				
2. 工房別制作	10. 合評会																				
3. 工房別制作	11. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。																				
4. 工房別制作	12. 工房別制作																				
5. 合評会	13. 工房別制作																				
6. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。	14. 工房別制作																				
7. 工房別制作	15. 合評会																				
8. 工房別制作																					

教科 No.	3D02	授業科目	版画研究 2	単位数	6単位																
担当教員	木村秀樹・出原司・大西伸明			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次																	
<p>【授業目標】 版画すなわち、複数性と間接性による表現の、独自性と普遍性を研究し制作を行う。</p> <p>【授業概要】 基本4版種の工房別制作を中心に、版種横断的制作、写真、デジタル処理を含む複製メディアを活用した制作を指導する。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。</td> <td>9. 工房別制作</td> </tr> <tr> <td>2. 工房別制作</td> <td>10. 合評会</td> </tr> <tr> <td>3. 工房別制作</td> <td>11. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。</td> </tr> <tr> <td>4. 工房別制作</td> <td>12. 工房別制作</td> </tr> <tr> <td>5. 合評会</td> <td>13. 工房別制作</td> </tr> <tr> <td>6. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。</td> <td>14. 工房別制作</td> </tr> <tr> <td>7. 工房別制作</td> <td>15. 合評会</td> </tr> <tr> <td>8. 工房別制作</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 提出作品、出席、口頭発表、対外的活動等を総合して評価する。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【教科書】</p> <p>【参考書等】 関西現代版画史 版画事典</p>						1. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。	9. 工房別制作	2. 工房別制作	10. 合評会	3. 工房別制作	11. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。	4. 工房別制作	12. 工房別制作	5. 合評会	13. 工房別制作	6. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。	14. 工房別制作	7. 工房別制作	15. 合評会	8. 工房別制作	
1. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。	9. 工房別制作																				
2. 工房別制作	10. 合評会																				
3. 工房別制作	11. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。																				
4. 工房別制作	12. 工房別制作																				
5. 合評会	13. 工房別制作																				
6. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。	14. 工房別制作																				
7. 工房別制作	15. 合評会																				
8. 工房別制作																					

教科 No.	3D03	授業科目	版画研究 3	単位数	6単位																
担当教員	木村秀樹・出原司・大西伸明			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 版画すなわち、複数性と間接性による表現の、独自性と普遍性を研究し制作を行う。</p> <p>【授業概要】 基本4版種の工房別制作を中心に、版種横断的制作、写真、デジタル処理を含む複製メディアを活用した制作を指導する。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。</td> <td>9. 工房別制作</td> </tr> <tr> <td>2. 版画集の制作</td> <td>10. 合評会</td> </tr> <tr> <td>3. 工房別制作</td> <td>11. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。</td> </tr> <tr> <td>4. 工房別制作</td> <td>12. 版画集の制作</td> </tr> <tr> <td>5. 合評会</td> <td>13. 工房別制作</td> </tr> <tr> <td>6. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。</td> <td>14. 工房別制作</td> </tr> <tr> <td>7. 版画集の制作</td> <td>15. 合評会</td> </tr> <tr> <td>8. 工房別制作</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 提出作品、出席、口頭発表、対外的活動等を総合して評価する。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【教科書】</p> <p>【参考書等】 関西現代版画史 版画事典</p>						1. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。	9. 工房別制作	2. 版画集の制作	10. 合評会	3. 工房別制作	11. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。	4. 工房別制作	12. 版画集の制作	5. 合評会	13. 工房別制作	6. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。	14. 工房別制作	7. 版画集の制作	15. 合評会	8. 工房別制作	
1. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。	9. 工房別制作																				
2. 版画集の制作	10. 合評会																				
3. 工房別制作	11. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。																				
4. 工房別制作	12. 版画集の制作																				
5. 合評会	13. 工房別制作																				
6. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。	14. 工房別制作																				
7. 版画集の制作	15. 合評会																				
8. 工房別制作																					

教科 No.	3D04	授業科目	版画研究 4	単位数	6単位																
担当教員	木村秀樹・出原司・大西伸明			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 版画すなわち、複数性と間接性による表現の、独自性と普遍性を研究し制作を行う。</p> <p>【授業概要】 基本4版種の工房別制作を中心に、版種横断的制作、写真、デジタル処理を含む複製メディアを活用した制作を指導する。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。</td> <td>9. 工房別制作</td> </tr> <tr> <td>2. 工房別制作</td> <td>10. 合評会</td> </tr> <tr> <td>3. 工房別制作</td> <td>11. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。</td> </tr> <tr> <td>4. 工房別制作</td> <td>12. 工房別制作</td> </tr> <tr> <td>5. 合評会</td> <td>13. 工房別制作</td> </tr> <tr> <td>6. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。</td> <td>14. 工房別制作</td> </tr> <tr> <td>7. 工房別制作</td> <td>15. 合評会、修了制作展に出品する。</td> </tr> <tr> <td>8. 工房別制作</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 他領域の教員1名を加えた審査員団による修了審査を公開で行う。提出作品、出席、口頭発表、対外的活動等を総合して評価する。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【教科書】</p> <p>【参考書等】 関西現代版画史 版画事典</p>						1. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。	9. 工房別制作	2. 工房別制作	10. 合評会	3. 工房別制作	11. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。	4. 工房別制作	12. 工房別制作	5. 合評会	13. 工房別制作	6. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。	14. 工房別制作	7. 工房別制作	15. 合評会、修了制作展に出品する。	8. 工房別制作	
1. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。	9. 工房別制作																				
2. 工房別制作	10. 合評会																				
3. 工房別制作	11. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。																				
4. 工房別制作	12. 工房別制作																				
5. 合評会	13. 工房別制作																				
6. 研究届けに基づき、制作計画を指導する。	14. 工房別制作																				
7. 工房別制作	15. 合評会、修了制作展に出品する。																				
8. 工房別制作																					

教科 No.	3D05	授業科目	特殊演習 1 (版画)	単位数	1単位
担当教員	木村秀樹・出原司・大西伸明			開講学期	前期
履修条件			履修学年・専攻等	1年次	
<p>【授業目標】 版画すなわち、複数性と間接性による表現の、独自性と普通性を研究し認識を深める。</p> <p>【授業概要】 各自持参した作品について発表討論を行う作品ゼミ、および文書講読を中心とした研究ゼミによって構成される。作品ゼミと研究ゼミは交互に開かれる。</p> <p>【授業内容】 1. 作品ゼミでは、自作を展示の上、制作意図等を発表し、討論を行う。 2. 研究ゼミでは、共同研究テーマを決定の上、各自分担のレジメを作成し、発表と討論を行う。</p> <p>【評価方法】 出席、口頭発表、レジメの提出等を総合して判断する。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【教科書】 Semesterごとに決定。</p> <p>【参考書等】 関西現代版画史 版画事典</p>					

教科 No.	3D05	授業科目	特殊演習 1 (版画)	単位数	1単位
担当教員	木村秀樹・出原司・大西伸明			開講学期	前期
履修条件			履修学年・専攻等	1年次	
<p>【授業目標】 版画すなわち、複数性と間接性による表現の、独自性と普通性を研究し認識を深める。</p> <p>【授業概要】 各自持参した作品について発表討論を行う作品ゼミ、および文書講読を中心とした研究ゼミによって構成される。作品ゼミと研究ゼミは交互に開かれる。</p> <p>【授業内容】 1. 作品ゼミでは、自作を展示の上、制作意図等を発表し、討論を行う。 2. 研究ゼミでは、共同研究テーマを決定の上、各自分担のレジメを作成し、発表と討論を行う。</p> <p>【評価方法】 出席、口頭発表、レジメの提出等を総合して判断する。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【教科書】 Semesterごとに決定。</p> <p>【参考書等】 関西現代版画史 版画事典</p>					

教科 No.	3D07	授業科目	特殊演習 3 (版画)	単位数	1単位
担当教員	木村秀樹・出原司・大西伸明			開講学期	前期
履修条件			履修学年・専攻等	2年次	
<p>【授業目標】 版画すなわち、複数性と間接性による表現の、独自性と普通性を研究し認識を深める。</p> <p>【授業概要】 各自持参した作品について発表討論を行う作品ゼミ、および文書講読を中心とした研究ゼミによって構成される。作品ゼミと研究ゼミは交互に開かれる。</p> <p>【授業内容】 1. 作品ゼミでは、自作を展示の上、制作意図等を発表し、討論を行う。 2. 研究ゼミでは、共同研究テーマを決定の上、各自分担のレジメを作成し、発表と討論を行う。</p> <p>【評価方法】 出席、口頭発表、レジメの提出等を総合して判断する。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【教科書】 Semesterごとに決定。</p> <p>【参考書等】 関西現代版画史 版画事典</p>					

教科 No.	3D08	授業科目	特殊演習 4 (版画)	単位数	1単位
担当教員	木村秀樹・出原司・大西伸明			開講学期	後期
履修条件			履修学年・専攻等	2年次	
<p>【授業目標】 版画すなわち、複数性と間接性による表現の、独自性と普通性を研究し認識を深める。</p> <p>【授業概要】 各自持参した作品について発表討論を行う作品ゼミ、および文書講読を中心とした研究ゼミによって構成される。作品ゼミと研究ゼミは交互に開かれる。</p> <p>【授業内容】 1. 作品ゼミでは、自作を展示の上、制作意図等を発表し、討論を行う。 2. 研究ゼミでは、共同研究テーマを決定の上、各自分担のレジメを作成し、発表と討論を行う。</p> <p>【評価方法】 出席、口頭発表、レジメの提出等を総合して判断する。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【教科書】 Semesterごとに決定。</p> <p>【参考書等】 関西現代版画史 版画事典</p>					

教科 No.	3E01	授業科目	造形構想研究 1	単位数	6単位																
担当教員	中井恒夫 砥綿正之 高橋 悟			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	1 年次																	
<p>【授業目標】 学部において研究してきた内容をより専門的に展開する。</p> <p>【授業概要】 下記のゼミ説明を参照</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究目的をもとに実験や制作のプランニングをおこなう。</td> <td>9. 構想や表現のゼミナルをおこなう。</td> </tr> <tr> <td>2. 構想や表現方法の検証をおこなう。</td> <td>10. 構想や表現のゼミナルをおこなう。</td> </tr> <tr> <td>3. 新たな表現の展開を見出すための制作に入る。</td> <td>11. 制作をもとにゼミナルをおこなう。</td> </tr> <tr> <td>4. 構想や表現のゼミナルをおこなう。</td> <td>12. 構想や表現のゼミナルをおこなう。</td> </tr> <tr> <td>5. 制作の可能性と問題点の確認と検証をおこなう。</td> <td>13. 構想や表現のゼミナルをおこなう。</td> </tr> <tr> <td>6. 構想や表現のゼミナルをおこなう。</td> <td>14. プレゼンテーションによる研究発表をおこなう。</td> </tr> <tr> <td>7. 制作をもとにゼミナルをおこなう。</td> <td>15. 制作の評価をゼミ形式でおこなう。</td> </tr> <tr> <td>8. プレゼンテーションによる研究発表をおこなう。</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 制作計画, 制作プロセス 制作の結果およびゼミナルの内容を総合的に評価する。</p> <p>○構想メディア (砥綿正之担当) 今日における芸術の可能性を模索し, 言語, 平面, 身体, パフォーマンス, サウンドなどの要素を複合的に用いたメディア表現の実験や制作をおこなう。</p> <p>○造形構想 (高橋悟担当) 今日の造形表現に関わる問題を多様な素材との関係において分析, 研究するとともに, プランニングから実験・制作までを新しい美術表現の可能性を視野に入れて具体的におこなう。</p> <p>○映像メディア (中井恒夫担当) 写真や CG 等の静止画, ビデオやアニメーション等の動画による研究を主とし, これらをベースとしてインスタレーションや拡張した映像メディアによる表現をおこない, 多様化する映像表現に独自の方法を見出し研究の可能性を広げていく。</p>						1. 研究目的をもとに実験や制作のプランニングをおこなう。	9. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	2. 構想や表現方法の検証をおこなう。	10. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	3. 新たな表現の展開を見出すための制作に入る。	11. 制作をもとにゼミナルをおこなう。	4. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	12. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	5. 制作の可能性と問題点の確認と検証をおこなう。	13. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	6. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	14. プレゼンテーションによる研究発表をおこなう。	7. 制作をもとにゼミナルをおこなう。	15. 制作の評価をゼミ形式でおこなう。	8. プレゼンテーションによる研究発表をおこなう。	
1. 研究目的をもとに実験や制作のプランニングをおこなう。	9. 構想や表現のゼミナルをおこなう。																				
2. 構想や表現方法の検証をおこなう。	10. 構想や表現のゼミナルをおこなう。																				
3. 新たな表現の展開を見出すための制作に入る。	11. 制作をもとにゼミナルをおこなう。																				
4. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	12. 構想や表現のゼミナルをおこなう。																				
5. 制作の可能性と問題点の確認と検証をおこなう。	13. 構想や表現のゼミナルをおこなう。																				
6. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	14. プレゼンテーションによる研究発表をおこなう。																				
7. 制作をもとにゼミナルをおこなう。	15. 制作の評価をゼミ形式でおこなう。																				
8. プレゼンテーションによる研究発表をおこなう。																					

教科 No.	3E02	授業科目	造形構想研究 2	単位数	6単位																
担当教員	中井恒夫 砥綿正之 高橋 悟			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	1 年次																	
<p>【授業目標】 1 年次前期において研究してきた内容をより専門的に展開する。</p> <p>【授業概要】 下記のゼミ説明を参照</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究目的をもとに実験や制作のプランニングをおこなう。</td> <td>9. 構想や表現のゼミナルをおこなう。</td> </tr> <tr> <td>2. 構想や表現方法の検証をおこなう。</td> <td>10. 構想や表現のゼミナルをおこなう。</td> </tr> <tr> <td>3. 新たな表現の展開を見出すための制作に入る。</td> <td>11. 制作をもとにゼミナルをおこなう。</td> </tr> <tr> <td>4. 構想や表現のゼミナルをおこなう。</td> <td>12. 構想や表現のゼミナルをおこなう。</td> </tr> <tr> <td>5. 制作の可能性と問題点の確認と検証をおこなう。</td> <td>13. 構想や表現のゼミナルをおこなう。</td> </tr> <tr> <td>6. 構想や表現のゼミナルをおこなう。</td> <td>14. プレゼンテーションによる研究発表をおこなう。</td> </tr> <tr> <td>7. 制作をもとにゼミナルをおこなう。</td> <td>15. 制作の評価をゼミ形式でおこなう。</td> </tr> <tr> <td>8. プレゼンテーションによる研究発表をおこなう。</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 制作計画, 制作プロセス 制作の結果およびゼミナルの内容を総合的に評価する。</p> <p>○構想メディア (砥綿正之担当) 今日における芸術の可能性を模索し, 言語, 平面, 身体, パフォーマンス, サウンドなどの要素を複合的に用いたメディア表現の実験や制作をおこなう。</p> <p>○造形構想 (高橋悟担当) 今日の造形表現に関わる問題を多様な素材との関係において分析, 研究するとともに, プランニングから実験・制作までを新しい美術表現の可能性を視野に入れて具体的におこなう。</p> <p>○映像メディア (中井恒夫担当) 写真や CG 等の静止画, ビデオやアニメーション等の動画による研究を主とし, これらをベースとしてインスタレーションや拡張した映像メディアによる表現をおこない, 多様化する映像表現に独自の方法を見出し研究の可能性を広げていく。</p>						1. 研究目的をもとに実験や制作のプランニングをおこなう。	9. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	2. 構想や表現方法の検証をおこなう。	10. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	3. 新たな表現の展開を見出すための制作に入る。	11. 制作をもとにゼミナルをおこなう。	4. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	12. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	5. 制作の可能性と問題点の確認と検証をおこなう。	13. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	6. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	14. プレゼンテーションによる研究発表をおこなう。	7. 制作をもとにゼミナルをおこなう。	15. 制作の評価をゼミ形式でおこなう。	8. プレゼンテーションによる研究発表をおこなう。	
1. 研究目的をもとに実験や制作のプランニングをおこなう。	9. 構想や表現のゼミナルをおこなう。																				
2. 構想や表現方法の検証をおこなう。	10. 構想や表現のゼミナルをおこなう。																				
3. 新たな表現の展開を見出すための制作に入る。	11. 制作をもとにゼミナルをおこなう。																				
4. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	12. 構想や表現のゼミナルをおこなう。																				
5. 制作の可能性と問題点の確認と検証をおこなう。	13. 構想や表現のゼミナルをおこなう。																				
6. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	14. プレゼンテーションによる研究発表をおこなう。																				
7. 制作をもとにゼミナルをおこなう。	15. 制作の評価をゼミ形式でおこなう。																				
8. プレゼンテーションによる研究発表をおこなう。																					

教科 No.	3E03	授業科目	造形構想研究 3	単位数	6単位																
担当教員	中井恒夫 砥綿正之 高橋 悟			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 1年次において見いだした表現の問題を展開し、研究の可能性を広げていく。</p> <p>【授業概要】 下記のゼミ説明を参照</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究目的をもとに実験や制作のプランニングをおこなう。</td> <td>9. 構想や表現のゼミナルをおこなう。</td> </tr> <tr> <td>2. 構想や表現方法の検証をおこなう。</td> <td>10. 構想や表現のゼミナルをおこなう。</td> </tr> <tr> <td>3. 新たな表現の展開を見出すための制作に入る。</td> <td>11. 制作をもとにゼミナルをおこなう。</td> </tr> <tr> <td>4. 構想や表現のゼミナルをおこなう。</td> <td>12. 構想や表現のゼミナルをおこなう。</td> </tr> <tr> <td>5. 制作の可能性と問題点の確認と検証をおこなう。</td> <td>13. 構想や表現のゼミナルをおこなう。</td> </tr> <tr> <td>6. 構想や表現のゼミナルをおこなう。</td> <td>14. プレゼンテーションによる研究発表をおこなう。</td> </tr> <tr> <td>7. 制作をもとにゼミナルをおこなう。</td> <td>15. 制作の評価をゼミ形式でおこなう。</td> </tr> <tr> <td>8. プレゼンテーションによる研究発表をおこなう。</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 制作計画、制作プロセス 制作の結果およびゼミナルの内容を総合的に評価する。</p> <p>○構想メディア（砥綿正之担当） 美術とその他の諸領域を横断する研究をおこない、表現の方法やメディアを複合的に用いた表現の実験や制作をおこなう。 ○造形構想（高橋悟担当） 今日の造形表現の問題の中から自己の表現に関わるテーマを見つけ、明確な表現まで展開するための実験や制作をおこなう。 ○映像メディア（中井恒夫担当） 映像メディアの多様な表現方法から最も有効なものの特長を、他とのメディアとの複合等も研究しながら独自性を表現においていかに展開できるかを試みる。</p>						1. 研究目的をもとに実験や制作のプランニングをおこなう。	9. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	2. 構想や表現方法の検証をおこなう。	10. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	3. 新たな表現の展開を見出すための制作に入る。	11. 制作をもとにゼミナルをおこなう。	4. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	12. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	5. 制作の可能性と問題点の確認と検証をおこなう。	13. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	6. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	14. プレゼンテーションによる研究発表をおこなう。	7. 制作をもとにゼミナルをおこなう。	15. 制作の評価をゼミ形式でおこなう。	8. プレゼンテーションによる研究発表をおこなう。	
1. 研究目的をもとに実験や制作のプランニングをおこなう。	9. 構想や表現のゼミナルをおこなう。																				
2. 構想や表現方法の検証をおこなう。	10. 構想や表現のゼミナルをおこなう。																				
3. 新たな表現の展開を見出すための制作に入る。	11. 制作をもとにゼミナルをおこなう。																				
4. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	12. 構想や表現のゼミナルをおこなう。																				
5. 制作の可能性と問題点の確認と検証をおこなう。	13. 構想や表現のゼミナルをおこなう。																				
6. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	14. プレゼンテーションによる研究発表をおこなう。																				
7. 制作をもとにゼミナルをおこなう。	15. 制作の評価をゼミ形式でおこなう。																				
8. プレゼンテーションによる研究発表をおこなう。																					

教科 No.	3E04	授業科目	造形構想研究 4	単位数	6単位																
担当教員	中井恒夫 砥綿正之 高橋 悟			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 修了制作に向けて、表現計画をまとめ、具体的な発表のための方法を検討し、集約的な表現へと向かった制作をおこなう。</p> <p>【授業概要】 下記のゼミ説明を参照</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究目的をもとに実験や制作のプランニングをおこなう。</td> <td>9. 構想や表現のゼミナルをおこなう。</td> </tr> <tr> <td>2. 構想や表現方法の検証をおこなう。</td> <td>10. 構想や表現のゼミナルをおこなう。</td> </tr> <tr> <td>3. 新たな表現の展開を見出すための制作に入る。</td> <td>11. 制作をもとにゼミナルをおこなう。</td> </tr> <tr> <td>4. 構想や表現のゼミナルをおこなう。</td> <td>12. 構想や表現のゼミナルをおこなう。</td> </tr> <tr> <td>5. 制作の可能性と問題点の確認と検証をおこなう。</td> <td>13. 構想や表現のゼミナルをおこなう。</td> </tr> <tr> <td>6. 構想や表現のゼミナルをおこなう。</td> <td>14. プレゼンテーションによる研究発表をおこなう。</td> </tr> <tr> <td>7. 制作をもとにゼミナルをおこなう。</td> <td>15. 制作の評価を修了審査でおこなう。</td> </tr> <tr> <td>8. プレゼンテーションによる研究発表をおこなう。</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 制作計画、制作プロセス 制作の結果およびゼミナルの内容を総合的に評価する。</p> <p>○構想メディア（砥綿正之担当） 美術とその他の諸領域を横断する研究をおこない、表現の方法やメディアを複合的に用いた表現の実験や制作をおこなう。 ○造形構想（高橋悟担当） 今日の造形表現の問題の中から自己の表現に関わるテーマを見つけ、明確な表現まで展開するための実験や制作をおこなう。 ○映像メディア（中井恒夫担当） 映像メディアの多様な表現方法から最も有効なものの特長を、他とのメディアとの複合等も研究しながら独自性を表現においていかに展開できるかを試みる。</p>						1. 研究目的をもとに実験や制作のプランニングをおこなう。	9. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	2. 構想や表現方法の検証をおこなう。	10. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	3. 新たな表現の展開を見出すための制作に入る。	11. 制作をもとにゼミナルをおこなう。	4. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	12. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	5. 制作の可能性と問題点の確認と検証をおこなう。	13. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	6. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	14. プレゼンテーションによる研究発表をおこなう。	7. 制作をもとにゼミナルをおこなう。	15. 制作の評価を修了審査でおこなう。	8. プレゼンテーションによる研究発表をおこなう。	
1. 研究目的をもとに実験や制作のプランニングをおこなう。	9. 構想や表現のゼミナルをおこなう。																				
2. 構想や表現方法の検証をおこなう。	10. 構想や表現のゼミナルをおこなう。																				
3. 新たな表現の展開を見出すための制作に入る。	11. 制作をもとにゼミナルをおこなう。																				
4. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	12. 構想や表現のゼミナルをおこなう。																				
5. 制作の可能性と問題点の確認と検証をおこなう。	13. 構想や表現のゼミナルをおこなう。																				
6. 構想や表現のゼミナルをおこなう。	14. プレゼンテーションによる研究発表をおこなう。																				
7. 制作をもとにゼミナルをおこなう。	15. 制作の評価を修了審査でおこなう。																				
8. プレゼンテーションによる研究発表をおこなう。																					

教科 No.	3E05	授業科目	特殊演習 1 (造形構想)	単位数	1単位																
担当教員	中井恒夫 砥綿正之 高橋 悟			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次																	
<p>【授業目標】 表現に関わる問題を幅広く探ることを通じて、自己の表現領域を明確にする。</p> <p>【授業概要】 各自幅広く表現に拘わる研究テーマを設定して、研究をゼミで検証し、展開した内容をプレゼンテーションにより発表する。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 演習計画の提出。</td> <td>9. テーマの拡張等展開についての演習をおこなう。</td> </tr> <tr> <td>2. 表現に拘わるテーマを自己と今日の両面から確認する (合同ゼミ)。</td> <td>10. ゼミナールを通して演習をおこなう。</td> </tr> <tr> <td>3. 表現に拘わるテーマを自己と今日の両面から確認する (個別ゼミ)。</td> <td>11. 作家と表現の研究による演習をおこなう-2。</td> </tr> <tr> <td>4. 資料収集及び調査から研究への確認をおこなう。</td> <td>12. ゼミナールを通して演習をおこなう。</td> </tr> <tr> <td>5. ゼミナールを通して演習をおこなう。</td> <td>13. プレゼンテーションによる研究発表-2。</td> </tr> <tr> <td>6. ゼミナールを通して演習をおこなう。</td> <td>14. 自己の表現について経緯を集約したゼミナールをおこなう。</td> </tr> <tr> <td>7. 作家と表現の研究による演習をおこなう-1。</td> <td>15. 小論文あるいはレポート提出。</td> </tr> <tr> <td>8. プレゼンテーションによる研究発表-1。</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 ゼミナールの内容とレポートを総合して評価する。</p>						1. 演習計画の提出。	9. テーマの拡張等展開についての演習をおこなう。	2. 表現に拘わるテーマを自己と今日の両面から確認する (合同ゼミ)。	10. ゼミナールを通して演習をおこなう。	3. 表現に拘わるテーマを自己と今日の両面から確認する (個別ゼミ)。	11. 作家と表現の研究による演習をおこなう-2。	4. 資料収集及び調査から研究への確認をおこなう。	12. ゼミナールを通して演習をおこなう。	5. ゼミナールを通して演習をおこなう。	13. プレゼンテーションによる研究発表-2。	6. ゼミナールを通して演習をおこなう。	14. 自己の表現について経緯を集約したゼミナールをおこなう。	7. 作家と表現の研究による演習をおこなう-1。	15. 小論文あるいはレポート提出。	8. プレゼンテーションによる研究発表-1。	
1. 演習計画の提出。	9. テーマの拡張等展開についての演習をおこなう。																				
2. 表現に拘わるテーマを自己と今日の両面から確認する (合同ゼミ)。	10. ゼミナールを通して演習をおこなう。																				
3. 表現に拘わるテーマを自己と今日の両面から確認する (個別ゼミ)。	11. 作家と表現の研究による演習をおこなう-2。																				
4. 資料収集及び調査から研究への確認をおこなう。	12. ゼミナールを通して演習をおこなう。																				
5. ゼミナールを通して演習をおこなう。	13. プレゼンテーションによる研究発表-2。																				
6. ゼミナールを通して演習をおこなう。	14. 自己の表現について経緯を集約したゼミナールをおこなう。																				
7. 作家と表現の研究による演習をおこなう-1。	15. 小論文あるいはレポート提出。																				
8. プレゼンテーションによる研究発表-1。																					

教科 No.	3E06	授業科目	特殊演習 2 (造形構想)	単位数	1単位																
担当教員	中井恒夫 砥綿正之 高橋 悟			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次																	
<p>【授業目標】 表現に関わる問題を幅広く探ることを通じて、自己の表現領域を明確にする。</p> <p>【授業概要】 各自幅広く表現に拘わる研究テーマを設定して、研究をゼミで検証し、展開した内容をプレゼンテーションにより発表する。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 演習計画の提出。</td> <td>9. テーマの拡張等展開についての演習をおこなう。</td> </tr> <tr> <td>2. 表現に拘わるテーマを自己と今日の両面から確認する (合同ゼミ)。</td> <td>10. ゼミナールを通して演習をおこなう。</td> </tr> <tr> <td>3. 表現に拘わるテーマを自己と今日の両面から確認する (個別ゼミ)。</td> <td>11. 作家と表現の研究による演習をおこなう-2。</td> </tr> <tr> <td>4. 資料収集及び調査から研究への確認をおこなう。</td> <td>12. ゼミナールを通して演習をおこなう。</td> </tr> <tr> <td>5. ゼミナールを通して演習をおこなう。</td> <td>13. プレゼンテーションによる研究発表-2。</td> </tr> <tr> <td>6. ゼミナールを通して演習をおこなう。</td> <td>14. まとめのゼミナールをおこなう。</td> </tr> <tr> <td>7. 作家と表現の研究による演習をおこなう-1。</td> <td>15. 小論文あるいはレポート提出。</td> </tr> <tr> <td>8. プレゼンテーションによる研究発表-1。</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 ゼミナールの内容とレポートを総合して評価する。</p>						1. 演習計画の提出。	9. テーマの拡張等展開についての演習をおこなう。	2. 表現に拘わるテーマを自己と今日の両面から確認する (合同ゼミ)。	10. ゼミナールを通して演習をおこなう。	3. 表現に拘わるテーマを自己と今日の両面から確認する (個別ゼミ)。	11. 作家と表現の研究による演習をおこなう-2。	4. 資料収集及び調査から研究への確認をおこなう。	12. ゼミナールを通して演習をおこなう。	5. ゼミナールを通して演習をおこなう。	13. プレゼンテーションによる研究発表-2。	6. ゼミナールを通して演習をおこなう。	14. まとめのゼミナールをおこなう。	7. 作家と表現の研究による演習をおこなう-1。	15. 小論文あるいはレポート提出。	8. プレゼンテーションによる研究発表-1。	
1. 演習計画の提出。	9. テーマの拡張等展開についての演習をおこなう。																				
2. 表現に拘わるテーマを自己と今日の両面から確認する (合同ゼミ)。	10. ゼミナールを通して演習をおこなう。																				
3. 表現に拘わるテーマを自己と今日の両面から確認する (個別ゼミ)。	11. 作家と表現の研究による演習をおこなう-2。																				
4. 資料収集及び調査から研究への確認をおこなう。	12. ゼミナールを通して演習をおこなう。																				
5. ゼミナールを通して演習をおこなう。	13. プレゼンテーションによる研究発表-2。																				
6. ゼミナールを通して演習をおこなう。	14. まとめのゼミナールをおこなう。																				
7. 作家と表現の研究による演習をおこなう-1。	15. 小論文あるいはレポート提出。																				
8. プレゼンテーションによる研究発表-1。																					

教科 No.	3E07	授業科目	特殊演習 3 (造形構想)	単位数	1単位																
担当教員	中井恒夫 砥綿正之 高橋 悟			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 自己の表現に関わる諸問題を現在の動向に広く求め、より深く意味や問題を探る。</p> <p>【授業概要】 各自幅広く表現に拘わる研究テーマを設定して、研究をゼミで検証し、展開した内容をプレゼンテーションにより発表する。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 演習計画の提出。</td> <td>9. テーマの拡張等展開についての演習をおこなう。</td> </tr> <tr> <td>2. 自己の表現に即したテーマを確認する (合同ゼミ)。</td> <td>10. ゼミナールを通して演習をおこなう。</td> </tr> <tr> <td>3. 自己の表現に即したテーマを確認する (個別ゼミ)。</td> <td>11. 作家と表現の研究による演習をおこなう-2。</td> </tr> <tr> <td>4. 資料収集及び調査から研究への確認をおこなう。</td> <td>12. ゼミナールを通して演習をおこなう。</td> </tr> <tr> <td>5. ゼミナールを通して演習をおこなう。</td> <td>13. プレゼンテーションによる研究発表-2。</td> </tr> <tr> <td>6. ゼミナールを通して演習をおこなう。</td> <td>14. 自己の表現について経緯を集約したゼミナールをおこなう。</td> </tr> <tr> <td>7. 作家と表現の研究による演習をおこなう-1。</td> <td>15. 小論文あるいはレポート提出。</td> </tr> <tr> <td>8. プレゼンテーションによる研究発表-1。</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 ゼミナールの内容とレポートを総合して評価する。</p>						1. 演習計画の提出。	9. テーマの拡張等展開についての演習をおこなう。	2. 自己の表現に即したテーマを確認する (合同ゼミ)。	10. ゼミナールを通して演習をおこなう。	3. 自己の表現に即したテーマを確認する (個別ゼミ)。	11. 作家と表現の研究による演習をおこなう-2。	4. 資料収集及び調査から研究への確認をおこなう。	12. ゼミナールを通して演習をおこなう。	5. ゼミナールを通して演習をおこなう。	13. プレゼンテーションによる研究発表-2。	6. ゼミナールを通して演習をおこなう。	14. 自己の表現について経緯を集約したゼミナールをおこなう。	7. 作家と表現の研究による演習をおこなう-1。	15. 小論文あるいはレポート提出。	8. プレゼンテーションによる研究発表-1。	
1. 演習計画の提出。	9. テーマの拡張等展開についての演習をおこなう。																				
2. 自己の表現に即したテーマを確認する (合同ゼミ)。	10. ゼミナールを通して演習をおこなう。																				
3. 自己の表現に即したテーマを確認する (個別ゼミ)。	11. 作家と表現の研究による演習をおこなう-2。																				
4. 資料収集及び調査から研究への確認をおこなう。	12. ゼミナールを通して演習をおこなう。																				
5. ゼミナールを通して演習をおこなう。	13. プレゼンテーションによる研究発表-2。																				
6. ゼミナールを通して演習をおこなう。	14. 自己の表現について経緯を集約したゼミナールをおこなう。																				
7. 作家と表現の研究による演習をおこなう-1。	15. 小論文あるいはレポート提出。																				
8. プレゼンテーションによる研究発表-1。																					

教科 No.	3E08	授業科目	特殊演習 4 (造形構想)	単位数	1単位																
担当教員	中井恒夫 砥綿正之 高橋 悟			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 自己の表現に関わる諸問題を現在の動向に広く求め、より深く意味や問題を探る。</p> <p>【授業概要】 各自幅広く表現に拘わる研究テーマを設定して、研究をゼミで検証し、展開した内容をプレゼンテーションにより発表する。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 演習計画の提出。</td> <td>9. テーマの拡張等展開についての演習をおこなう。</td> </tr> <tr> <td>2. 自己の表現に即したテーマを確認する (合同ゼミ)。</td> <td>10. ゼミナールを通して演習をおこなう。</td> </tr> <tr> <td>3. 自己の表現に即したテーマを確認する (個別ゼミ)。</td> <td>11. 作家と表現の研究による演習をおこなう-2。</td> </tr> <tr> <td>4. 資料収集及び調査から研究への確認をおこなう。</td> <td>12. ゼミナールを通して演習をおこなう。</td> </tr> <tr> <td>5. ゼミナールを通して演習をおこなう。</td> <td>13. プレゼンテーションによる研究発表-2。</td> </tr> <tr> <td>6. ゼミナールを通して演習をおこなう。</td> <td>14. 自己の表現について経緯を集約したゼミナールをおこなう。</td> </tr> <tr> <td>7. 作家と表現の研究による演習をおこなう-1。</td> <td>15. 小論文あるいはレポート提出。</td> </tr> <tr> <td>8. プレゼンテーションによる研究発表-1。</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 ゼミナールの内容とレポートを総合して評価する。</p>						1. 演習計画の提出。	9. テーマの拡張等展開についての演習をおこなう。	2. 自己の表現に即したテーマを確認する (合同ゼミ)。	10. ゼミナールを通して演習をおこなう。	3. 自己の表現に即したテーマを確認する (個別ゼミ)。	11. 作家と表現の研究による演習をおこなう-2。	4. 資料収集及び調査から研究への確認をおこなう。	12. ゼミナールを通して演習をおこなう。	5. ゼミナールを通して演習をおこなう。	13. プレゼンテーションによる研究発表-2。	6. ゼミナールを通して演習をおこなう。	14. 自己の表現について経緯を集約したゼミナールをおこなう。	7. 作家と表現の研究による演習をおこなう-1。	15. 小論文あるいはレポート提出。	8. プレゼンテーションによる研究発表-1。	
1. 演習計画の提出。	9. テーマの拡張等展開についての演習をおこなう。																				
2. 自己の表現に即したテーマを確認する (合同ゼミ)。	10. ゼミナールを通して演習をおこなう。																				
3. 自己の表現に即したテーマを確認する (個別ゼミ)。	11. 作家と表現の研究による演習をおこなう-2。																				
4. 資料収集及び調査から研究への確認をおこなう。	12. ゼミナールを通して演習をおこなう。																				
5. ゼミナールを通して演習をおこなう。	13. プレゼンテーションによる研究発表-2。																				
6. ゼミナールを通して演習をおこなう。	14. 自己の表現について経緯を集約したゼミナールをおこなう。																				
7. 作家と表現の研究による演習をおこなう-1。	15. 小論文あるいはレポート提出。																				
8. プレゼンテーションによる研究発表-1。																					

教科 No.	3C01	授業科目	彫刻研究 1	単位数	6単位																
担当教員	中ハシクシゲ・小山田徹・松井紫朗・中原浩大・金氏徹平			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次																	
<p>【授業目標】 ますます多様化している現代の美術表現においては、独自の観点を探求することが重要である。自由な発想と展開によるオリジナリティーのある作品制作を目指す。</p> <p>【授業概要】 各自の設定したテーマに基づく自主的な制作に対し、以下のような観点から指導を行う。 ○制作の基本コンセプトとテーマについての研究と考察 ○制作材料および技術の研究と考察 ○作品制作と作品を提示する場の研究と考察</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究計画書の作成</td> <td>9. 作品制作指導</td> </tr> <tr> <td>2. 研究計画書の提出, ディスカッション</td> <td>10. 作品制作指導</td> </tr> <tr> <td>3. 作品制作指導</td> <td>11. 作品制作指導</td> </tr> <tr> <td>4. 作品制作指導</td> <td>12. 作品制作指導</td> </tr> <tr> <td>5. 作品制作指導</td> <td>13. 作品制作指導</td> </tr> <tr> <td>6. 作品制作指導</td> <td>14. 作品の提出, 講評</td> </tr> <tr> <td>7. 作品制作指導</td> <td>15. 研究報告書の提出, ディスカッション</td> </tr> <tr> <td>8. 中間報告, ディスカッション</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 提出作品を主とし、思考とその展開力にも重点をおき、総合的に評価する。</p>						1. 研究計画書の作成	9. 作品制作指導	2. 研究計画書の提出, ディスカッション	10. 作品制作指導	3. 作品制作指導	11. 作品制作指導	4. 作品制作指導	12. 作品制作指導	5. 作品制作指導	13. 作品制作指導	6. 作品制作指導	14. 作品の提出, 講評	7. 作品制作指導	15. 研究報告書の提出, ディスカッション	8. 中間報告, ディスカッション	
1. 研究計画書の作成	9. 作品制作指導																				
2. 研究計画書の提出, ディスカッション	10. 作品制作指導																				
3. 作品制作指導	11. 作品制作指導																				
4. 作品制作指導	12. 作品制作指導																				
5. 作品制作指導	13. 作品制作指導																				
6. 作品制作指導	14. 作品の提出, 講評																				
7. 作品制作指導	15. 研究報告書の提出, ディスカッション																				
8. 中間報告, ディスカッション																					

教科 No.	3C02	授業科目	彫刻研究 2	単位数	6単位																
担当教員	中ハシクシゲ・小山田徹・松井紫朗・中原浩大・金氏徹平			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次																	
<p>【授業目標】 ますます多様化している現代の美術表現においては、独自の観点を探求することが重要である。自由な発想と展開によるオリジナリティーのある作品制作を目指す。</p> <p>【授業概要】 各自の設定したテーマに基づく自主的な制作に対し、以下のような観点から指導を行う。 ○制作の基本コンセプトとテーマについての研究と考察 ○制作材料および技術の研究と考察 ○作品制作と作品を提示する場の研究と考察</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究計画書の作成</td> <td>9. 作品制作指導</td> </tr> <tr> <td>2. 研究計画書の提出, ディスカッション</td> <td>10. 作品制作指導</td> </tr> <tr> <td>3. 作品制作指導</td> <td>11. 作品制作指導</td> </tr> <tr> <td>4. 作品制作指導</td> <td>12. 作品制作指導</td> </tr> <tr> <td>5. 作品制作指導</td> <td>13. 作品制作指導</td> </tr> <tr> <td>6. 作品制作指導</td> <td>14. 作品の提出, 講評</td> </tr> <tr> <td>7. 作品制作指導</td> <td>15. 研究報告書の提出, ディスカッション</td> </tr> <tr> <td>8. 中間報告, ディスカッション</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 提出作品を主とし、思考とその展開力にも重点をおき、総合的に評価する。</p>						1. 研究計画書の作成	9. 作品制作指導	2. 研究計画書の提出, ディスカッション	10. 作品制作指導	3. 作品制作指導	11. 作品制作指導	4. 作品制作指導	12. 作品制作指導	5. 作品制作指導	13. 作品制作指導	6. 作品制作指導	14. 作品の提出, 講評	7. 作品制作指導	15. 研究報告書の提出, ディスカッション	8. 中間報告, ディスカッション	
1. 研究計画書の作成	9. 作品制作指導																				
2. 研究計画書の提出, ディスカッション	10. 作品制作指導																				
3. 作品制作指導	11. 作品制作指導																				
4. 作品制作指導	12. 作品制作指導																				
5. 作品制作指導	13. 作品制作指導																				
6. 作品制作指導	14. 作品の提出, 講評																				
7. 作品制作指導	15. 研究報告書の提出, ディスカッション																				
8. 中間報告, ディスカッション																					

教科 No.	3C03	授業科目	彫刻研究 3	単位数	6単位																
担当教員	中ハシクシゲ・小山田徹・松井紫朗・中原浩大・金氏徹平			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 作品制作をとおし、自身の表現とアイデンティティーの確立を目指す。さらに、社会における実践と検証を視野に入れ、各自の表現活動を研究考察する。</p> <p>【授業概要】 各自の設定したテーマに基づく自主的な制作に対し、以下のような観点から指導を行う。 <input type="checkbox"/> 自身のアイデンティティーについての考察 <input type="checkbox"/> テーマについての研究と考察 <input type="checkbox"/> 制作材料および技術の研究と考察 <input type="checkbox"/> 作品制作と作品を提示する場の研究と考察</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究計画書の作成</td> <td>9. 作品制作指導</td> </tr> <tr> <td>2. 研究計画書の提出, ディスカッション</td> <td>10. 作品制作指導</td> </tr> <tr> <td>3. 作品制作指導</td> <td>11. 作品制作指導</td> </tr> <tr> <td>4. 作品制作指導</td> <td>12. 作品制作指導</td> </tr> <tr> <td>5. 作品制作指導</td> <td>13. 作品制作指導</td> </tr> <tr> <td>6. 作品制作指導</td> <td>14. 作品の提出, 講評</td> </tr> <tr> <td>7. 作品制作指導</td> <td>15. 研究報告書の提出, ディスカッション</td> </tr> <tr> <td>8. 中間報告, ディスカッション</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 提出作品を主とし、思考とその展開力にも重点をおき、総合的に評価する。</p>						1. 研究計画書の作成	9. 作品制作指導	2. 研究計画書の提出, ディスカッション	10. 作品制作指導	3. 作品制作指導	11. 作品制作指導	4. 作品制作指導	12. 作品制作指導	5. 作品制作指導	13. 作品制作指導	6. 作品制作指導	14. 作品の提出, 講評	7. 作品制作指導	15. 研究報告書の提出, ディスカッション	8. 中間報告, ディスカッション	
1. 研究計画書の作成	9. 作品制作指導																				
2. 研究計画書の提出, ディスカッション	10. 作品制作指導																				
3. 作品制作指導	11. 作品制作指導																				
4. 作品制作指導	12. 作品制作指導																				
5. 作品制作指導	13. 作品制作指導																				
6. 作品制作指導	14. 作品の提出, 講評																				
7. 作品制作指導	15. 研究報告書の提出, ディスカッション																				
8. 中間報告, ディスカッション																					

教科 No.	3C04	授業科目	彫刻研究 4	単位数	6単位																
担当教員	中ハシクシゲ・小山田徹・松井紫朗・中原浩大・金氏徹平			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 作品制作をとおし、自身の表現とアイデンティティーの確立を目指す。さらに、社会における実践と検証を視野に入れ、各自の表現活動を研究考察する。その成果を修士作品として提示する。</p> <p>【授業概要】 修士作品の完成に向け、指導を行う。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究計画書の作成</td> <td>9. 作品制作指導</td> </tr> <tr> <td>2. 研究計画書の提出, ディスカッション</td> <td>10. 作品制作指導</td> </tr> <tr> <td>3. 作品制作指導</td> <td>11. 作品制作指導</td> </tr> <tr> <td>4. 作品制作指導</td> <td>12. 作品制作指導</td> </tr> <tr> <td>5. 作品制作指導</td> <td>13. 作品制作指導</td> </tr> <tr> <td>6. 作品制作指導</td> <td>14. 作品制作指導</td> </tr> <tr> <td>7. 作品制作指導</td> <td>15. 修士作品と研究報告書の提出, 修了審査</td> </tr> <tr> <td>8. 中間報告, ディスカッション</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 提出作品を主とし、思考とその展開力にも重点をおき、総合的に評価する。 修士作品については、修了審査における作品の提示、質疑を踏まえ評価する。</p>						1. 研究計画書の作成	9. 作品制作指導	2. 研究計画書の提出, ディスカッション	10. 作品制作指導	3. 作品制作指導	11. 作品制作指導	4. 作品制作指導	12. 作品制作指導	5. 作品制作指導	13. 作品制作指導	6. 作品制作指導	14. 作品制作指導	7. 作品制作指導	15. 修士作品と研究報告書の提出, 修了審査	8. 中間報告, ディスカッション	
1. 研究計画書の作成	9. 作品制作指導																				
2. 研究計画書の提出, ディスカッション	10. 作品制作指導																				
3. 作品制作指導	11. 作品制作指導																				
4. 作品制作指導	12. 作品制作指導																				
5. 作品制作指導	13. 作品制作指導																				
6. 作品制作指導	14. 作品制作指導																				
7. 作品制作指導	15. 修士作品と研究報告書の提出, 修了審査																				
8. 中間報告, ディスカッション																					

教科 No.	3C05	授業科目	特殊演習 1 (彫刻)	単位数	1 単位																
担当教員	中ハシクシゲ・小山田徹・松井紫朗・中原浩大・金氏徹平			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	1 年次																	
<p>【授業目標】 多面的な思考と広く豊かな発想を育み、また自己の研究領域を幅広い視野のもとで明確にするために、各自の制作活動の内容に限定されることなく、有益と思われるテーマを取り上げ研究・演習を行う。</p> <p>【授業概要】 学生各自で計画したテーマ設定、演習方法、提出形態について学生とともに検討を加え決定する。学生各自の演習方法、提出形態に従い、自主的な研究・演習を促すとともに、必要な助言や指導を行う。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 提出された計画をもとに、学生とともに検討を加えた後、内容を決定</td> <td>9. "</td> </tr> <tr> <td>2. "</td> <td>10. "</td> </tr> <tr> <td>3. 学生各自の演習方法に従い、研究・ゼミ・演習等を実施</td> <td>11. "</td> </tr> <tr> <td>4. "</td> <td>12. "</td> </tr> <tr> <td>5. "</td> <td>13. 学生各自の提出形態に従い、最終報告に向けての研究とまとめ</td> </tr> <tr> <td>6. "</td> <td>14. "</td> </tr> <tr> <td>7. "</td> <td>15. 最終報告の提出</td> </tr> <tr> <td>8. "</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 学生各自の演習方法、提出形態に従い、研究・演習の成果およびドキュメンテーションによって総合的に評価する。</p>						1. 提出された計画をもとに、学生とともに検討を加えた後、内容を決定	9. "	2. "	10. "	3. 学生各自の演習方法に従い、研究・ゼミ・演習等を実施	11. "	4. "	12. "	5. "	13. 学生各自の提出形態に従い、最終報告に向けての研究とまとめ	6. "	14. "	7. "	15. 最終報告の提出	8. "	
1. 提出された計画をもとに、学生とともに検討を加えた後、内容を決定	9. "																				
2. "	10. "																				
3. 学生各自の演習方法に従い、研究・ゼミ・演習等を実施	11. "																				
4. "	12. "																				
5. "	13. 学生各自の提出形態に従い、最終報告に向けての研究とまとめ																				
6. "	14. "																				
7. "	15. 最終報告の提出																				
8. "																					

教科 No.	3C06	授業科目	特殊演習 2 (彫刻)	単位数	1 単位																
担当教員	中ハシクシゲ・小山田徹・松井紫朗・中原浩大・金氏徹平			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	1 年次																	
<p>【授業目標】 多面的な思考と広く豊かな発想を育み、また自己の研究領域を幅広い視野のもとで明確にするために、各自の制作活動の内容に限定されることなく、有益と思われるテーマを取り上げ研究・演習を行う。</p> <p>【授業概要】 学生各自で計画したテーマ設定、演習方法、提出形態について学生とともに検討を加え決定する。学生各自の演習方法、提出形態に従い、自主的な研究・演習を促すとともに、必要な助言や指導を行う。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 提出された計画をもとに、学生とともに検討を加えた後、内容を決定</td> <td>9. "</td> </tr> <tr> <td>2. "</td> <td>10. "</td> </tr> <tr> <td>3. 学生各自の演習方法に従い、研究・ゼミ・演習等を実施</td> <td>11. "</td> </tr> <tr> <td>4. "</td> <td>12. "</td> </tr> <tr> <td>5. "</td> <td>13. 学生各自の提出形態に従い、最終報告に向けての研究とまとめ</td> </tr> <tr> <td>6. "</td> <td>14. "</td> </tr> <tr> <td>7. "</td> <td>15. 最終報告の提出</td> </tr> <tr> <td>8. "</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 学生各自の演習方法、提出形態に従い、研究・演習の成果およびドキュメンテーションによって総合的に評価する。</p>						1. 提出された計画をもとに、学生とともに検討を加えた後、内容を決定	9. "	2. "	10. "	3. 学生各自の演習方法に従い、研究・ゼミ・演習等を実施	11. "	4. "	12. "	5. "	13. 学生各自の提出形態に従い、最終報告に向けての研究とまとめ	6. "	14. "	7. "	15. 最終報告の提出	8. "	
1. 提出された計画をもとに、学生とともに検討を加えた後、内容を決定	9. "																				
2. "	10. "																				
3. 学生各自の演習方法に従い、研究・ゼミ・演習等を実施	11. "																				
4. "	12. "																				
5. "	13. 学生各自の提出形態に従い、最終報告に向けての研究とまとめ																				
6. "	14. "																				
7. "	15. 最終報告の提出																				
8. "																					

教科 No.	3C07	授業科目	特殊演習 3 (彫刻)	単位数	1単位																
担当教員	中ハシクシゲ・小山田徹・松井紫朗・中原浩大・金氏徹平			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 多面的な思考と広く豊かな発想を育み、また自己の研究領域を幅広い視野のもとで明確にするために、各自の制作活動の内容に限定されることなく、有益と思われるテーマを取り上げ研究・演習を行う。</p> <p>【授業概要】 学生各自で計画したテーマ設定、演習方法、提出形態について学生とともに検討を加え決定する。学生各自の演習方法、提出形態に従い、自主的な研究・演習を促すとともに、必要な助言や指導を行う。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 提出された計画をもとに、学生とともに検討を加えた後、内容を決定</td> <td>9. "</td> </tr> <tr> <td>2. "</td> <td>10. "</td> </tr> <tr> <td>3. 学生各自の演習方法に従い、研究・ゼミ・演習等を実施</td> <td>11. "</td> </tr> <tr> <td>4. "</td> <td>12. "</td> </tr> <tr> <td>5. "</td> <td>13. 学生各自の提出形態に従い、最終報告に向けての研究とまとめ</td> </tr> <tr> <td>6. "</td> <td>14. "</td> </tr> <tr> <td>7. "</td> <td>15. 最終報告の提出</td> </tr> <tr> <td>8. "</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 学生各自の演習方法、提出形態に従い、研究・演習の成果およびドキュメンテーションによって総合的に評価する。</p>						1. 提出された計画をもとに、学生とともに検討を加えた後、内容を決定	9. "	2. "	10. "	3. 学生各自の演習方法に従い、研究・ゼミ・演習等を実施	11. "	4. "	12. "	5. "	13. 学生各自の提出形態に従い、最終報告に向けての研究とまとめ	6. "	14. "	7. "	15. 最終報告の提出	8. "	
1. 提出された計画をもとに、学生とともに検討を加えた後、内容を決定	9. "																				
2. "	10. "																				
3. 学生各自の演習方法に従い、研究・ゼミ・演習等を実施	11. "																				
4. "	12. "																				
5. "	13. 学生各自の提出形態に従い、最終報告に向けての研究とまとめ																				
6. "	14. "																				
7. "	15. 最終報告の提出																				
8. "																					

教科 No.	3C08	授業科目	特殊演習 4 (彫刻)	単位数	1単位																
担当教員	中ハシクシゲ・小山田徹・松井紫朗・中原浩大・金氏徹平			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 多面的な思考と広く豊かな発想を育み、また自己の研究領域を幅広い視野のもとで明確にするために、各自の制作活動の内容に限定されることなく、有益と思われるテーマを取り上げ研究・演習を行う。</p> <p>【授業概要】 学生各自で計画したテーマ設定、演習方法、提出形態について学生とともに検討を加え決定する。学生各自の演習方法、提出形態に従い、自主的な研究・演習を促すとともに、必要な助言や指導を行う。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 提出された計画をもとに、学生とともに検討を加えた後、内容を決定</td> <td>9. "</td> </tr> <tr> <td>2. "</td> <td>10. "</td> </tr> <tr> <td>3. 学生各自の演習方法に従い、研究・ゼミ・演習等を実施</td> <td>11. "</td> </tr> <tr> <td>4. "</td> <td>12. "</td> </tr> <tr> <td>5. "</td> <td>13. 学生各自の提出形態に従い、最終報告に向けての研究とまとめ</td> </tr> <tr> <td>6. "</td> <td>14. "</td> </tr> <tr> <td>7. "</td> <td>15. 最終報告の提出</td> </tr> <tr> <td>8. "</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 学生各自の演習方法、提出形態に従い、研究・演習の成果およびドキュメンテーションによって総合的に評価する。</p>						1. 提出された計画をもとに、学生とともに検討を加えた後、内容を決定	9. "	2. "	10. "	3. 学生各自の演習方法に従い、研究・ゼミ・演習等を実施	11. "	4. "	12. "	5. "	13. 学生各自の提出形態に従い、最終報告に向けての研究とまとめ	6. "	14. "	7. "	15. 最終報告の提出	8. "	
1. 提出された計画をもとに、学生とともに検討を加えた後、内容を決定	9. "																				
2. "	10. "																				
3. 学生各自の演習方法に従い、研究・ゼミ・演習等を実施	11. "																				
4. "	12. "																				
5. "	13. 学生各自の提出形態に従い、最終報告に向けての研究とまとめ																				
6. "	14. "																				
7. "	15. 最終報告の提出																				
8. "																					

教科 No.	3F01	授業科目	ビジュアル・デザイン研究 1	単位数	6単位																
担当教員	辰巳明久・滝口洋子・舟越一郎			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次																	
<p>【授業目標】 学生各自が設定した研究テーマに関し、深い考察と高度な作品制作を目指すことを目標とします。</p> <p>【授業概要】 学生各自が設定した研究テーマに関し、必要な指導を行います。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究計画書の作成、提出</td> <td>9. 計画書に基づく制作研究</td> </tr> <tr> <td>2. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作</td> <td>10. 計画書に基づく制作研究</td> </tr> <tr> <td>3. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作</td> <td>11. 計画書に基づく制作研究</td> </tr> <tr> <td>4. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作</td> <td>12. 計画書に基づく制作研究</td> </tr> <tr> <td>5. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作</td> <td>13. 計画書に基づく制作研究</td> </tr> <tr> <td>6. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作</td> <td>14. プレゼンテーション</td> </tr> <tr> <td>7. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作</td> <td>15. 研究報告書の提出</td> </tr> <tr> <td>8. 中間報告／前期専攻展合評</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 作品と研究報告書をもとに、担当教員が総合的に判断します。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【参考書等】 研究テーマと研究の進行状況により適宜紹介します。 ※備考 学生の進行に合わせて、適宜ゼミを行います。ゼミの日程は新学期の初頭に発表します。 担当教員は、学生が立案する研究計画書の作成にあたり、その完成以前に助言を行います。完成した研究計画に沿って自主的に遂行される制作に関し、適宜、指導します。制作に関する指導は、担当教員が中心となって行われますが、必要に応じて他教員による指導も行われます。担当教員は、学生が十分な研究をしているか、定期的な確認を行います。 また下記課題を平行して行います。 ・人体デッサン（毎週水曜日）</p>						1. 研究計画書の作成、提出	9. 計画書に基づく制作研究	2. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作	10. 計画書に基づく制作研究	3. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作	11. 計画書に基づく制作研究	4. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作	12. 計画書に基づく制作研究	5. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作	13. 計画書に基づく制作研究	6. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作	14. プレゼンテーション	7. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作	15. 研究報告書の提出	8. 中間報告／前期専攻展合評	
1. 研究計画書の作成、提出	9. 計画書に基づく制作研究																				
2. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作	10. 計画書に基づく制作研究																				
3. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作	11. 計画書に基づく制作研究																				
4. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作	12. 計画書に基づく制作研究																				
5. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作	13. 計画書に基づく制作研究																				
6. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作	14. プレゼンテーション																				
7. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作	15. 研究報告書の提出																				
8. 中間報告／前期専攻展合評																					

教科 No.	3F02	授業科目	ビジュアル・デザイン研究 2	単位数	6単位																
担当教員	辰巳明久・滝口洋子・舟越一郎			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次																	
<p>【授業目標】 1年次前期に行った研究の成果を基に設定したテーマに対し、深い考察と高度な作品制作を目指すことを目標とします。</p> <p>【授業概要】 学生各自が設定した研究テーマに関し、必要な指導を行います。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究計画書の作成、提出</td> <td>9. 計画書に基づく制作研究</td> </tr> <tr> <td>2. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作</td> <td>10. 計画書に基づく制作研究</td> </tr> <tr> <td>3. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作</td> <td>11. 計画書に基づく制作研究</td> </tr> <tr> <td>4. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作</td> <td>12. 計画書に基づく制作研究</td> </tr> <tr> <td>5. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作</td> <td>13. 計画書に基づく制作研究</td> </tr> <tr> <td>6. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作</td> <td>14. プレゼンテーション</td> </tr> <tr> <td>7. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作</td> <td>15. 研究報告書の提出</td> </tr> <tr> <td>8. 中間報告／後期専攻展合評</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 作品と研究報告書をもとに、担当教員が総合的に判断します。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【参考書等】 研究テーマと研究の進行状況により適宜紹介します。 ※備考 学生の進行に合わせて、適宜ゼミを行います。ゼミの日程は新学期の初頭に発表します。 担当教員は、学生が立案する研究計画書の作成にあたり、その完成以前に助言を行います。完成した研究計画に沿って自主的に遂行される制作に関し、適宜、指導します。制作に関する指導は、担当教員が中心となって行われますが、必要に応じて他教員による指導も行われます。担当教員は、学生が十分な研究をしているか、定期的な確認を行います。 また下記課題を平行して行います。 ・人体デッサン（毎週水曜日）・学内で行うビジュアル・デザイン専攻展</p>						1. 研究計画書の作成、提出	9. 計画書に基づく制作研究	2. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作	10. 計画書に基づく制作研究	3. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作	11. 計画書に基づく制作研究	4. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作	12. 計画書に基づく制作研究	5. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作	13. 計画書に基づく制作研究	6. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作	14. プレゼンテーション	7. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作	15. 研究報告書の提出	8. 中間報告／後期専攻展合評	
1. 研究計画書の作成、提出	9. 計画書に基づく制作研究																				
2. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作	10. 計画書に基づく制作研究																				
3. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作	11. 計画書に基づく制作研究																				
4. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作	12. 計画書に基づく制作研究																				
5. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作	13. 計画書に基づく制作研究																				
6. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作	14. プレゼンテーション																				
7. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作	15. 研究報告書の提出																				
8. 中間報告／後期専攻展合評																					

教科 No.	3F03	授業科目	ビジュアル・デザイン研究 3	単位数	6単位																
担当教員	辰巳明久・滝口洋子・舟越一郎			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 1年次に行った研究の成果を基に設定した研究テーマに対し、深い考察と高度な作品制作を目指すことを目標とします。</p> <p>【授業概要】 学生各自が設定した研究テーマに関し、必要な指導を行います。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究計画書の作成、提出</td> <td>9. 計画書に基づく制作研究</td> </tr> <tr> <td>2. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作</td> <td>10. 計画書に基づく制作研究</td> </tr> <tr> <td>3. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作</td> <td>11. 計画書に基づく制作研究</td> </tr> <tr> <td>4. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作</td> <td>12. 計画書に基づく制作研究</td> </tr> <tr> <td>5. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作</td> <td>13. 計画書に基づく制作研究</td> </tr> <tr> <td>6. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作</td> <td>14. プレゼンテーション</td> </tr> <tr> <td>7. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作</td> <td>15. 研究報告書の提出</td> </tr> <tr> <td>8. 中間報告／前期専攻展合評</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 作品と研究報告書をもとに、担当教員が総合的に判断します。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【参考書等】 研究テーマと研究の進行状況により適宜紹介します。 ※備考 学生の進行に合わせて、適宜ゼミを行います。ゼミの日程は新学期の初頭に発表します。 担当教員は、学生が立案する研究計画書の作成にあたり、その完成以前に助言を行います。完成した研究計画に沿って自主的に遂行される制作に関し、適宜、指導します。制作に関する指導は、担当教員が中心となって行われますが、必要に応じ他教員による指導も行われます。担当教員は、学生が十分な研究をしているか、定期的な確認を行います。 また下記課題を平行して行います。 ・人体デッサン（毎週水曜日）</p>						1. 研究計画書の作成、提出	9. 計画書に基づく制作研究	2. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作	10. 計画書に基づく制作研究	3. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作	11. 計画書に基づく制作研究	4. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作	12. 計画書に基づく制作研究	5. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作	13. 計画書に基づく制作研究	6. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作	14. プレゼンテーション	7. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作	15. 研究報告書の提出	8. 中間報告／前期専攻展合評	
1. 研究計画書の作成、提出	9. 計画書に基づく制作研究																				
2. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作	10. 計画書に基づく制作研究																				
3. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作	11. 計画書に基づく制作研究																				
4. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作	12. 計画書に基づく制作研究																				
5. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作	13. 計画書に基づく制作研究																				
6. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作	14. プレゼンテーション																				
7. 計画書に基づく制作研究／前期専攻展計画制作	15. 研究報告書の提出																				
8. 中間報告／前期専攻展合評																					

教科 No.	3F04	授業科目	ビジュアル・デザイン研究 4	単位数	6単位																
担当教員	辰巳明久・滝口洋子・舟越一郎			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 2年次前期までに行った研究の成果を基に設定したテーマに対し、深い考察と高度な作品制作を目指すことを目標とします。</p> <p>【授業概要】 学生各自が設定した研究テーマに関し、必要な指導を行います。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究計画書の作成、提出</td> <td>9. 計画書に基づく制作研究</td> </tr> <tr> <td>2. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作</td> <td>10. 計画書に基づく制作研究</td> </tr> <tr> <td>3. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作</td> <td>11. 計画書に基づく制作研究</td> </tr> <tr> <td>4. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作</td> <td>12. 計画書に基づく制作研究</td> </tr> <tr> <td>5. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作</td> <td>13. 計画書に基づく制作研究</td> </tr> <tr> <td>6. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作</td> <td>14. プレゼンテーション</td> </tr> <tr> <td>7. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作</td> <td>15. 研究報告書の提出</td> </tr> <tr> <td>8. 中間報告／後期専攻展合評</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 作品と研究報告書をもとに、担当教員が総合的に判断します。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【参考書等】 研究テーマと研究の進行状況により適宜紹介します。 ※備考 学生の進行に合わせて、適宜ゼミを行います。ゼミの日程は新学期の初頭に発表します。 担当教員は、学生が立案する研究計画書の作成にあたり、その完成以前に助言を行います。完成した研究計画に沿って自主的に遂行される制作に関し、適宜、指導します。制作に関する指導は、担当教員が中心となって行われますが、必要に応じ他教員による指導も行われます。担当教員は、学生が十分な研究をしているか、定期的な確認を行います。 また下記課題を平行して行います。 ・人体デッサン（毎週水曜日）・学内で行うビジュアル・デザイン専攻展</p>						1. 研究計画書の作成、提出	9. 計画書に基づく制作研究	2. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作	10. 計画書に基づく制作研究	3. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作	11. 計画書に基づく制作研究	4. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作	12. 計画書に基づく制作研究	5. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作	13. 計画書に基づく制作研究	6. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作	14. プレゼンテーション	7. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作	15. 研究報告書の提出	8. 中間報告／後期専攻展合評	
1. 研究計画書の作成、提出	9. 計画書に基づく制作研究																				
2. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作	10. 計画書に基づく制作研究																				
3. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作	11. 計画書に基づく制作研究																				
4. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作	12. 計画書に基づく制作研究																				
5. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作	13. 計画書に基づく制作研究																				
6. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作	14. プレゼンテーション																				
7. 計画書に基づく制作研究／後期専攻展計画制作	15. 研究報告書の提出																				
8. 中間報告／後期専攻展合評																					

教科 No.	3F05	授業科目	特殊演習 1 (ビジュアル・デザイン)	単位数	1単位																
担当教員	辰巳明久・滝口洋子・舟越一郎			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次																	
<p>【授業目標】 ビジュアル・デザイン研究 1 で設定した研究テーマに関連する思弁的研究を行い、自分の制作研究の背景、意義、目的などに関し、深く思考する力を養うことを目標とします。</p> <p>【授業概要】 学生各自が設定した演習テーマに関し、必要な指導を行います。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究計画書の作成、提出</td> <td>9. 制作、論文作成</td> </tr> <tr> <td>2. 資料収集、フィールドワーク等</td> <td>10. 中間報告 2</td> </tr> <tr> <td>3. 資料収集、フィールドワーク等</td> <td>11. 制作、論文作成</td> </tr> <tr> <td>4. 制作、論文作成</td> <td>12. 制作、論文作成</td> </tr> <tr> <td>5. 制作、論文作成</td> <td>13. 制作、論文作成</td> </tr> <tr> <td>6. 中間報告 1</td> <td>14. プレゼンテーション</td> </tr> <tr> <td>7. 制作、論文作成</td> <td>15. 研究報告書の提出</td> </tr> <tr> <td>8. 制作、論文作成</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 論文と研究報告書をもとに、総合的に判断します。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【参考書等】 演習テーマと研究の進行状況により適宜紹介します。 ※備考 担当教員は、学生が立案する研究計画書の作成にあたり、その完成以前に助言を行います。完成した研究計画に沿って自主的に遂行される研究論文の作成に関し、定期的に指導します。論文制作の指導は、担当教員が中心となって行われますが、必要に応じ他教員による指導も行われます。</p> <p>学生は、前期終了前に、教員、全修士生に対し、研究論文に関するプレゼンテーションを行います。</p>						1. 研究計画書の作成、提出	9. 制作、論文作成	2. 資料収集、フィールドワーク等	10. 中間報告 2	3. 資料収集、フィールドワーク等	11. 制作、論文作成	4. 制作、論文作成	12. 制作、論文作成	5. 制作、論文作成	13. 制作、論文作成	6. 中間報告 1	14. プレゼンテーション	7. 制作、論文作成	15. 研究報告書の提出	8. 制作、論文作成	
1. 研究計画書の作成、提出	9. 制作、論文作成																				
2. 資料収集、フィールドワーク等	10. 中間報告 2																				
3. 資料収集、フィールドワーク等	11. 制作、論文作成																				
4. 制作、論文作成	12. 制作、論文作成																				
5. 制作、論文作成	13. 制作、論文作成																				
6. 中間報告 1	14. プレゼンテーション																				
7. 制作、論文作成	15. 研究報告書の提出																				
8. 制作、論文作成																					

教科 No.	3F06	授業科目	特殊演習 2 (ビジュアル・デザイン)	単位数	1単位																
担当教員	辰巳明久・滝口洋子・舟越一郎			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次																	
<p>【授業目標】 特殊演習 1 で設定した演習テーマを継続し、より高度な研究を行うことを目標とします。</p> <p>【授業概要】 学生各自が設定した演習テーマに関し、必要な指導を行います。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究計画書の作成、提出</td> <td>9. 制作、論文作成</td> </tr> <tr> <td>2. 資料収集、フィールドワーク等</td> <td>10. 中間報告 2</td> </tr> <tr> <td>3. 資料収集、フィールドワーク等</td> <td>11. 制作、論文作成</td> </tr> <tr> <td>4. 制作、論文作成</td> <td>12. 制作、論文作成</td> </tr> <tr> <td>5. 制作、論文作成</td> <td>13. 制作、論文作成</td> </tr> <tr> <td>6. 中間報告 1</td> <td>14. プレゼンテーション</td> </tr> <tr> <td>7. 制作、論文作成</td> <td>15. 研究報告書の提出</td> </tr> <tr> <td>8. 制作、論文作成</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 論文と研究報告書をもとに、総合的に判断します。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【参考書等】 演習テーマと研究の進行状況により適宜紹介します。 ※備考 担当教員は、学生が立案する研究計画書の作成にあたり、その完成以前に助言を行います。完成した研究計画に沿って自主的に遂行される研究論文の作成に関し、定期的に指導します。論文制作の指導は、担当教員が中心となって行われますが、必要に応じ他教員による指導も行われます。</p> <p>学生は、後期終了前に、教員、全修士生に対し、研究論文に関するプレゼンテーションを行います。</p>						1. 研究計画書の作成、提出	9. 制作、論文作成	2. 資料収集、フィールドワーク等	10. 中間報告 2	3. 資料収集、フィールドワーク等	11. 制作、論文作成	4. 制作、論文作成	12. 制作、論文作成	5. 制作、論文作成	13. 制作、論文作成	6. 中間報告 1	14. プレゼンテーション	7. 制作、論文作成	15. 研究報告書の提出	8. 制作、論文作成	
1. 研究計画書の作成、提出	9. 制作、論文作成																				
2. 資料収集、フィールドワーク等	10. 中間報告 2																				
3. 資料収集、フィールドワーク等	11. 制作、論文作成																				
4. 制作、論文作成	12. 制作、論文作成																				
5. 制作、論文作成	13. 制作、論文作成																				
6. 中間報告 1	14. プレゼンテーション																				
7. 制作、論文作成	15. 研究報告書の提出																				
8. 制作、論文作成																					

教科 No.	3F07	授業科目	特殊演習 3 (ビジュアル・デザイン)	単位数	1単位																
担当教員	辰巳明久・滝口洋子・舟越一郎			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 ビジュアル・デザイン研究 3 で設定した研究テーマに関連する思弁的研究を行い、自分の制作研究の背景、意義、目的などに関し、深く思考する力を養うことを目標とします。</p> <p>【授業概要】 学生各自が設定した演習テーマに関し、必要な指導を行います。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究計画書の作成、提出</td> <td>9. 制作、論文作成</td> </tr> <tr> <td>2. 資料収集、フィールドワーク等</td> <td>10. 中間報告 2</td> </tr> <tr> <td>3. 資料収集、フィールドワーク等</td> <td>11. 制作、論文作成</td> </tr> <tr> <td>4. 制作、論文作成</td> <td>12. 制作、論文作成</td> </tr> <tr> <td>5. 制作、論文作成</td> <td>13. 制作、論文作成</td> </tr> <tr> <td>6. 中間報告 1</td> <td>14. プレゼンテーション</td> </tr> <tr> <td>7. 制作、論文作成</td> <td>15. 研究報告書の提出</td> </tr> <tr> <td>8. 制作、論文作成</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 論文と研究報告書をもとに、総合的に判断します。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【参考書等】 演習テーマと研究の進行状況により適宜紹介します。 ※備考 担当教員は、学生が立案する研究計画書の作成にあたり、その完成以前に助言を行います。完成した研究計画に沿って自主的に遂行される研究論文の作成に関し、定期的に指導します。論文制作の指導は、担当教員が中心となって行われますが、必要に応じ他教員による指導も行われます。</p> <p>学生は、前期終了前に、教員、全修士生に対し、研究論文に関するプレゼンテーションを行います。</p>						1. 研究計画書の作成、提出	9. 制作、論文作成	2. 資料収集、フィールドワーク等	10. 中間報告 2	3. 資料収集、フィールドワーク等	11. 制作、論文作成	4. 制作、論文作成	12. 制作、論文作成	5. 制作、論文作成	13. 制作、論文作成	6. 中間報告 1	14. プレゼンテーション	7. 制作、論文作成	15. 研究報告書の提出	8. 制作、論文作成	
1. 研究計画書の作成、提出	9. 制作、論文作成																				
2. 資料収集、フィールドワーク等	10. 中間報告 2																				
3. 資料収集、フィールドワーク等	11. 制作、論文作成																				
4. 制作、論文作成	12. 制作、論文作成																				
5. 制作、論文作成	13. 制作、論文作成																				
6. 中間報告 1	14. プレゼンテーション																				
7. 制作、論文作成	15. 研究報告書の提出																				
8. 制作、論文作成																					

教科 No.	3F08	授業科目	特殊演習 4 (ビジュアル・デザイン)	単位数	1単位																
担当教員	辰巳明久・滝口洋子・舟越一郎			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 殊演習 3 で設定した演習テーマを継続し、より高度な研究を行うことを目標とします。</p> <p>【授業概要】 学生各自が設定した演習テーマに関し、必要な指導を行います。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究計画書の作成、提出</td> <td>9. 制作、論文作成</td> </tr> <tr> <td>2. 資料収集、フィールドワーク等</td> <td>10. 中間報告 2</td> </tr> <tr> <td>3. 資料収集、フィールドワーク等</td> <td>11. 制作、論文作成</td> </tr> <tr> <td>4. 制作、論文作成</td> <td>12. 制作、論文作成</td> </tr> <tr> <td>5. 制作、論文作成</td> <td>13. 制作、論文作成</td> </tr> <tr> <td>6. 中間報告 1</td> <td>14. プレゼンテーション</td> </tr> <tr> <td>7. 制作、論文作成</td> <td>15. 研究報告書の提出</td> </tr> <tr> <td>8. 制作、論文作成</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 論文と研究報告書をもとに、総合的に判断します。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【参考書等】 演習テーマと研究の進行状況により適宜紹介します。 ※備考 担当教員は、学生が立案する研究計画書の作成にあたり、その完成以前に助言を行います。完成した研究計画に沿って自主的に遂行される研究論文の作成に関し、定期的に指導します。論文制作の指導は、担当教員が中心となって行われますが、必要に応じ他教員による指導も行われます。</p> <p>学生は、修了判定時に 2 年間の研究成果を論文として完成させ提出します。</p>						1. 研究計画書の作成、提出	9. 制作、論文作成	2. 資料収集、フィールドワーク等	10. 中間報告 2	3. 資料収集、フィールドワーク等	11. 制作、論文作成	4. 制作、論文作成	12. 制作、論文作成	5. 制作、論文作成	13. 制作、論文作成	6. 中間報告 1	14. プレゼンテーション	7. 制作、論文作成	15. 研究報告書の提出	8. 制作、論文作成	
1. 研究計画書の作成、提出	9. 制作、論文作成																				
2. 資料収集、フィールドワーク等	10. 中間報告 2																				
3. 資料収集、フィールドワーク等	11. 制作、論文作成																				
4. 制作、論文作成	12. 制作、論文作成																				
5. 制作、論文作成	13. 制作、論文作成																				
6. 中間報告 1	14. プレゼンテーション																				
7. 制作、論文作成	15. 研究報告書の提出																				
8. 制作、論文作成																					

教科 No.	3G01	授業科目	環境デザイン研究 1	単位数	6単位																
担当教員	池上俊郎 堀口豊太 藤本英子			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次																	
<p>【授業目標】 演習と理論探求を通じて環境デザインの実践研究を深める。</p> <p>【授業概要】 様々なスケールと機能を持つ、空間・装置の演習研究を行う。C A D設計、木工金工による多様なプレゼンテーション研究を行う。</p> <p>【授業概要】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 環境デザイン研究の概要説明</td> <td>9. 構造的空間の設計演習</td> </tr> <tr> <td>2. 生活空間の理論研究</td> <td>10. 自由課題の理論研究</td> </tr> <tr> <td>3. 生活空間の設計演習</td> <td>11. 自由課題の理論研究</td> </tr> <tr> <td>4. 社会空間の理論研究</td> <td>12. 自由課題の理論研究</td> </tr> <tr> <td>5. 生活空間の設計演習</td> <td>13. 自由課題の設計演習</td> </tr> <tr> <td>6. 居住装置の理論研究</td> <td>14. 自由課題の設計演習</td> </tr> <tr> <td>7. 居住装置の設計演習</td> <td>15. 自由課題の設計演習</td> </tr> <tr> <td>8. 構造的空間の理論研究</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 出席、演習課題の合評、理論研究のレポート提出、設計図書（平面図、立面図、断面図、3D図面）、模型等。機能、構成、技術的背景、表現が対象。</p> <p>【履修上の注意】 課題は自由に選択し、最低2つ演習を行う。理論研究は最低1課題とする。多様な情報収集に努める。</p> <p>【教科書】 設計資料集成 日本建築学会</p> <p>【参考書等】 建築関係専門書一般・インテリアデザイン関係専門書</p>						1. 環境デザイン研究の概要説明	9. 構造的空間の設計演習	2. 生活空間の理論研究	10. 自由課題の理論研究	3. 生活空間の設計演習	11. 自由課題の理論研究	4. 社会空間の理論研究	12. 自由課題の理論研究	5. 生活空間の設計演習	13. 自由課題の設計演習	6. 居住装置の理論研究	14. 自由課題の設計演習	7. 居住装置の設計演習	15. 自由課題の設計演習	8. 構造的空間の理論研究	
1. 環境デザイン研究の概要説明	9. 構造的空間の設計演習																				
2. 生活空間の理論研究	10. 自由課題の理論研究																				
3. 生活空間の設計演習	11. 自由課題の理論研究																				
4. 社会空間の理論研究	12. 自由課題の理論研究																				
5. 生活空間の設計演習	13. 自由課題の設計演習																				
6. 居住装置の理論研究	14. 自由課題の設計演習																				
7. 居住装置の設計演習	15. 自由課題の設計演習																				
8. 構造的空間の理論研究																					

教科 No.	3G02	授業科目	環境デザイン研究 2	単位数	6単位																
担当教員	池上俊郎 堀口豊太 藤本英子			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次																	
<p>【授業目標】 演習と理論探求を通じて環境デザインの実践研究を深める。</p> <p>【授業概要】 様々なスケールと機能を持つ、空間・装置の演習研究を行う。C A D設計、木工金工による多様なプレゼンテーション研究を行う。</p> <p>【授業概要】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 環境デザイン研究の概要説明</td> <td>9. 構造的空間の設計演習</td> </tr> <tr> <td>2. 生活空間の理論研究</td> <td>10. 自由課題の理論研究</td> </tr> <tr> <td>3. 生活空間の設計演習</td> <td>11. 自由課題の理論研究</td> </tr> <tr> <td>4. 社会空間の理論研究</td> <td>12. 自由課題の理論研究</td> </tr> <tr> <td>5. 生活空間の設計演習</td> <td>13. 自由課題の設計演習</td> </tr> <tr> <td>6. 居住装置の理論研究</td> <td>14. 自由課題の設計演習</td> </tr> <tr> <td>7. 居住装置の設計演習</td> <td>15. 自由課題の設計演習</td> </tr> <tr> <td>8. 構造的空間の理論研究</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 出席、演習課題の合評、理論研究のレポート提出、設計図書（平面図、立面図、断面図、3D図面）、模型等。機能、構成、技術的背景、表現が対象。</p> <p>【履修上の注意】 課題は自由に選択し、最低2つ演習を行う。理論研究は最低1課題とする。多様な情報収集に努める。</p> <p>【教科書】 設計資料集成 日本建築学会</p> <p>【参考書等】 建築関係専門書一般・インテリアデザイン関係専門書</p>						1. 環境デザイン研究の概要説明	9. 構造的空間の設計演習	2. 生活空間の理論研究	10. 自由課題の理論研究	3. 生活空間の設計演習	11. 自由課題の理論研究	4. 社会空間の理論研究	12. 自由課題の理論研究	5. 生活空間の設計演習	13. 自由課題の設計演習	6. 居住装置の理論研究	14. 自由課題の設計演習	7. 居住装置の設計演習	15. 自由課題の設計演習	8. 構造的空間の理論研究	
1. 環境デザイン研究の概要説明	9. 構造的空間の設計演習																				
2. 生活空間の理論研究	10. 自由課題の理論研究																				
3. 生活空間の設計演習	11. 自由課題の理論研究																				
4. 社会空間の理論研究	12. 自由課題の理論研究																				
5. 生活空間の設計演習	13. 自由課題の設計演習																				
6. 居住装置の理論研究	14. 自由課題の設計演習																				
7. 居住装置の設計演習	15. 自由課題の設計演習																				
8. 構造的空間の理論研究																					

教科 No.	3G03	授業科目	環境デザイン研究 3	単位数	6単位																
担当教員	池上俊郎 堀口豊太 藤本英子			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 演習と理論探求を通じて環境デザインの実践研究を深める。修了制作研究課題を試行する。</p> <p>【授業概要】 様々なスケールと機能を持つ、空間・装置の演習研究を行う。C A D設計、木工金工による多様なプレゼンテーション研究を行う。</p> <p>【授業概要】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 環境デザイン研究の概要説明</td> <td>9. 構造的空間の設計演習</td> </tr> <tr> <td>2. 生活空間の理論研究</td> <td>10. 自由課題の理論研究</td> </tr> <tr> <td>3. 生活空間の設計演習</td> <td>11. 自由課題の理論研究</td> </tr> <tr> <td>4. 社会空間の理論研究</td> <td>12. 自由課題の理論研究</td> </tr> <tr> <td>5. 生活空間の設計演習</td> <td>13. 自由課題の設計演習</td> </tr> <tr> <td>6. 居住装置の理論研究</td> <td>14. 自由課題の設計演習</td> </tr> <tr> <td>7. 居住装置の設計演習</td> <td>15. 自由課題の設計演習</td> </tr> <tr> <td>8. 構造的空間の理論研究</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 出席、演習課題の合評、理論研究のレポート提出、設計図書（平面図、立面図、断面図、3D図面）、模型等。機能、構成、技術的背景、表現が対象。</p> <p>【履修上の注意】 課題は自由に選択し、最低2つ演習を行う。理論研究は最低1課題とする。多様な情報収集に努める。</p> <p>【教科書】 設計資料集成 日本建築学会</p> <p>【参考書等】 建築関係専門書一般・インテリアデザイン関係専門書</p>						1. 環境デザイン研究の概要説明	9. 構造的空間の設計演習	2. 生活空間の理論研究	10. 自由課題の理論研究	3. 生活空間の設計演習	11. 自由課題の理論研究	4. 社会空間の理論研究	12. 自由課題の理論研究	5. 生活空間の設計演習	13. 自由課題の設計演習	6. 居住装置の理論研究	14. 自由課題の設計演習	7. 居住装置の設計演習	15. 自由課題の設計演習	8. 構造的空間の理論研究	
1. 環境デザイン研究の概要説明	9. 構造的空間の設計演習																				
2. 生活空間の理論研究	10. 自由課題の理論研究																				
3. 生活空間の設計演習	11. 自由課題の理論研究																				
4. 社会空間の理論研究	12. 自由課題の理論研究																				
5. 生活空間の設計演習	13. 自由課題の設計演習																				
6. 居住装置の理論研究	14. 自由課題の設計演習																				
7. 居住装置の設計演習	15. 自由課題の設計演習																				
8. 構造的空間の理論研究																					

教科 No.	3G04	授業科目	環境デザイン研究 4	単位数	6単位																
担当教員	池上俊郎 堀口豊太 藤本英子			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 演習と理論探求を通じて環境デザインの実践研究を深める。修了制作研究課題を試行する。</p> <p>【授業概要】 様々なスケールと機能を持つ、空間・装置の演習研究を行う。C A D設計、木工金工による多様なプレゼンテーション研究を行う。</p> <p>【授業概要】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 環境デザイン研究の概要説明</td> <td>9. 構造的空間の設計演習</td> </tr> <tr> <td>2. 生活空間の理論研究</td> <td>10. 自由課題の理論研究</td> </tr> <tr> <td>3. 生活空間の設計演習</td> <td>11. 自由課題の理論研究</td> </tr> <tr> <td>4. 社会空間の理論研究</td> <td>12. 自由課題の理論研究</td> </tr> <tr> <td>5. 生活空間の設計演習</td> <td>13. 自由課題の設計演習</td> </tr> <tr> <td>6. 居住装置の理論研究</td> <td>14. 自由課題の設計演習</td> </tr> <tr> <td>7. 居住装置の設計演習</td> <td>15. 自由課題の設計演習</td> </tr> <tr> <td>8. 構造的空間の理論研究</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 出席、演習課題の合評、理論研究のレポート提出、設計図書（平面図、立面図、断面図、3D図面）、模型等。機能、構成、技術的背景、表現が対象。</p> <p>【履修上の注意】 課題は自由に選択し、最低2つ演習を行う。理論研究は最低1課題とする。多様な情報収集に努める。</p> <p>【教科書】 設計資料集成 日本建築学会</p> <p>【参考書等】 建築関係専門書一般・インテリアデザイン関係専門書</p>						1. 環境デザイン研究の概要説明	9. 構造的空間の設計演習	2. 生活空間の理論研究	10. 自由課題の理論研究	3. 生活空間の設計演習	11. 自由課題の理論研究	4. 社会空間の理論研究	12. 自由課題の理論研究	5. 生活空間の設計演習	13. 自由課題の設計演習	6. 居住装置の理論研究	14. 自由課題の設計演習	7. 居住装置の設計演習	15. 自由課題の設計演習	8. 構造的空間の理論研究	
1. 環境デザイン研究の概要説明	9. 構造的空間の設計演習																				
2. 生活空間の理論研究	10. 自由課題の理論研究																				
3. 生活空間の設計演習	11. 自由課題の理論研究																				
4. 社会空間の理論研究	12. 自由課題の理論研究																				
5. 生活空間の設計演習	13. 自由課題の設計演習																				
6. 居住装置の理論研究	14. 自由課題の設計演習																				
7. 居住装置の設計演習	15. 自由課題の設計演習																				
8. 構造的空間の理論研究																					

教科 No.	3G05	授業科目	特殊演習 1 (環境デザイン)	単位数	1単位																
担当教員	池上俊郎 堀口豊太 藤本英子			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次																	
<p>【授業目標】 環境デザインを取り巻く世界は、現在急速に変化している。こうした時代における環境デザインの役割を認識する。今後の自身の環境デザインの設計活動に活かす。</p> <p>【授業概要】 環境デザインと関連する領域で各自興味を抱く内容を取り上げテーマを設定し演習を行う。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 資料収集 1</td> <td>9. 演習レポートの提出・研究発表 3</td> </tr> <tr> <td>2. 研究視察報告 1</td> <td>10. 資料収集 4</td> </tr> <tr> <td>3. 演習レポートの提出・研究発表 1</td> <td>11. 研究視察報告 4</td> </tr> <tr> <td>4. 資料収集 2</td> <td>12. 演習レポートの提出・研究発表 4</td> </tr> <tr> <td>5. 研究視察報告 2</td> <td>13. 資料収集 5</td> </tr> <tr> <td>6. 演習レポートの提出・研究発表 2</td> <td>14. 研究視察報告 5</td> </tr> <tr> <td>7. 資料収集 3</td> <td>15. 演習レポートの提出・研究発表 5</td> </tr> <tr> <td>8. 研究視察報告 3</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 出席, 演習レポート提出</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【参考書等】 建築関係専門書一般・インテリアデザイン関係専門書</p>						1. 資料収集 1	9. 演習レポートの提出・研究発表 3	2. 研究視察報告 1	10. 資料収集 4	3. 演習レポートの提出・研究発表 1	11. 研究視察報告 4	4. 資料収集 2	12. 演習レポートの提出・研究発表 4	5. 研究視察報告 2	13. 資料収集 5	6. 演習レポートの提出・研究発表 2	14. 研究視察報告 5	7. 資料収集 3	15. 演習レポートの提出・研究発表 5	8. 研究視察報告 3	
1. 資料収集 1	9. 演習レポートの提出・研究発表 3																				
2. 研究視察報告 1	10. 資料収集 4																				
3. 演習レポートの提出・研究発表 1	11. 研究視察報告 4																				
4. 資料収集 2	12. 演習レポートの提出・研究発表 4																				
5. 研究視察報告 2	13. 資料収集 5																				
6. 演習レポートの提出・研究発表 2	14. 研究視察報告 5																				
7. 資料収集 3	15. 演習レポートの提出・研究発表 5																				
8. 研究視察報告 3																					

教科 No.	3G06	授業科目	特殊演習 2 (環境デザイン)	単位数	1単位																
担当教員	池上俊郎 堀口豊太 藤本英子			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次																	
<p>【授業目標】 環境デザインを取り巻く世界は、現在急速に変化している。こうした時代における環境デザインの役割を認識する。今後の自身の環境デザインの設計活動に活かす。</p> <p>【授業概要】 環境デザインと関連する領域で各自興味を抱く内容を取り上げテーマを設定し演習を行う。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 資料収集 1</td> <td>9. 演習レポートの提出・研究発表 3</td> </tr> <tr> <td>2. 研究視察報告 1</td> <td>10. 資料収集 4</td> </tr> <tr> <td>3. 演習レポートの提出・研究発表 1</td> <td>11. 研究視察報告 4</td> </tr> <tr> <td>4. 資料収集 2</td> <td>12. 演習レポートの提出・研究発表 4</td> </tr> <tr> <td>5. 研究視察報告 2</td> <td>13. 資料収集 5</td> </tr> <tr> <td>6. 演習レポートの提出・研究発表 2</td> <td>14. 研究視察報告 5</td> </tr> <tr> <td>7. 資料収集 3</td> <td>15. 演習レポートの提出・研究発表 5</td> </tr> <tr> <td>8. 研究視察報告 3</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 出席, 演習レポート提出</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【参考書等】 建築関係専門書一般・インテリアデザイン関係専門書</p>						1. 資料収集 1	9. 演習レポートの提出・研究発表 3	2. 研究視察報告 1	10. 資料収集 4	3. 演習レポートの提出・研究発表 1	11. 研究視察報告 4	4. 資料収集 2	12. 演習レポートの提出・研究発表 4	5. 研究視察報告 2	13. 資料収集 5	6. 演習レポートの提出・研究発表 2	14. 研究視察報告 5	7. 資料収集 3	15. 演習レポートの提出・研究発表 5	8. 研究視察報告 3	
1. 資料収集 1	9. 演習レポートの提出・研究発表 3																				
2. 研究視察報告 1	10. 資料収集 4																				
3. 演習レポートの提出・研究発表 1	11. 研究視察報告 4																				
4. 資料収集 2	12. 演習レポートの提出・研究発表 4																				
5. 研究視察報告 2	13. 資料収集 5																				
6. 演習レポートの提出・研究発表 2	14. 研究視察報告 5																				
7. 資料収集 3	15. 演習レポートの提出・研究発表 5																				
8. 研究視察報告 3																					

教科 No.	3G07	授業科目	特殊演習 3 (環境デザイン)	単位数	1単位																
担当教員	池上俊郎 堀口豊太 藤本英子			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 環境デザインを取り巻く世界は、現在急速に変化している。こうした時代における環境デザインの役割を認識する。今後の自身の環境デザインの設計活動に活かす。</p> <p>【授業概要】 環境デザインと関連する領域で各自興味を抱く内容を取り上げテーマを設定し演習を行う。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 資料収集 1</td> <td>9. 演習レポートの提出・研究発表 3</td> </tr> <tr> <td>2. 研究視察報告 1</td> <td>10. 資料収集 4</td> </tr> <tr> <td>3. 演習レポートの提出・研究発表 1</td> <td>11. 研究視察報告 4</td> </tr> <tr> <td>4. 資料収集 2</td> <td>12. 演習レポートの提出・研究発表 4</td> </tr> <tr> <td>5. 研究視察報告 2</td> <td>13. 資料収集 5</td> </tr> <tr> <td>6. 演習レポートの提出・研究発表 2</td> <td>14. 研究視察報告 5</td> </tr> <tr> <td>7. 資料収集 3</td> <td>15. 演習レポートの提出・研究発表 5</td> </tr> <tr> <td>8. 研究視察報告 3</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 出席, 演習レポート提出</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【参考書等】 建築関係専門書一般・インテリアデザイン関係専門書</p>						1. 資料収集 1	9. 演習レポートの提出・研究発表 3	2. 研究視察報告 1	10. 資料収集 4	3. 演習レポートの提出・研究発表 1	11. 研究視察報告 4	4. 資料収集 2	12. 演習レポートの提出・研究発表 4	5. 研究視察報告 2	13. 資料収集 5	6. 演習レポートの提出・研究発表 2	14. 研究視察報告 5	7. 資料収集 3	15. 演習レポートの提出・研究発表 5	8. 研究視察報告 3	
1. 資料収集 1	9. 演習レポートの提出・研究発表 3																				
2. 研究視察報告 1	10. 資料収集 4																				
3. 演習レポートの提出・研究発表 1	11. 研究視察報告 4																				
4. 資料収集 2	12. 演習レポートの提出・研究発表 4																				
5. 研究視察報告 2	13. 資料収集 5																				
6. 演習レポートの提出・研究発表 2	14. 研究視察報告 5																				
7. 資料収集 3	15. 演習レポートの提出・研究発表 5																				
8. 研究視察報告 3																					

教科 No.	3G08	授業科目	特殊演習 4 (環境デザイン)	単位数	1単位																
担当教員	池上俊郎 堀口豊太 藤本英子			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 環境デザインを取り巻く世界は、現在急速に変化している。こうした時代における環境デザインの役割を認識する。修了課題と関連付け展開する。</p> <p>【授業概要】 環境デザインと関連する領域で各自興味を抱く内容を取り上げテーマを設定し演習を行う。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 資料収集 1</td> <td>9. 演習レポートの提出・研究発表 3</td> </tr> <tr> <td>2. 研究視察報告 1</td> <td>10. 資料収集 4</td> </tr> <tr> <td>3. 演習レポートの提出・研究発表 1</td> <td>11. 研究視察報告 4</td> </tr> <tr> <td>4. 資料収集 2</td> <td>12. 演習レポートの提出・研究発表 4</td> </tr> <tr> <td>5. 研究視察報告 2</td> <td>13. 資料収集 5</td> </tr> <tr> <td>6. 演習レポートの提出・研究発表 2</td> <td>14. 研究視察報告 5</td> </tr> <tr> <td>7. 資料収集 3</td> <td>15. 演習レポートの提出・研究発表 5</td> </tr> <tr> <td>8. 研究視察報告 3</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 出席, 演習レポート提出</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【参考書等】 建築関係専門書一般・インテリアデザイン関係専門書</p>						1. 資料収集 1	9. 演習レポートの提出・研究発表 3	2. 研究視察報告 1	10. 資料収集 4	3. 演習レポートの提出・研究発表 1	11. 研究視察報告 4	4. 資料収集 2	12. 演習レポートの提出・研究発表 4	5. 研究視察報告 2	13. 資料収集 5	6. 演習レポートの提出・研究発表 2	14. 研究視察報告 5	7. 資料収集 3	15. 演習レポートの提出・研究発表 5	8. 研究視察報告 3	
1. 資料収集 1	9. 演習レポートの提出・研究発表 3																				
2. 研究視察報告 1	10. 資料収集 4																				
3. 演習レポートの提出・研究発表 1	11. 研究視察報告 4																				
4. 資料収集 2	12. 演習レポートの提出・研究発表 4																				
5. 研究視察報告 2	13. 資料収集 5																				
6. 演習レポートの提出・研究発表 2	14. 研究視察報告 5																				
7. 資料収集 3	15. 演習レポートの提出・研究発表 5																				
8. 研究視察報告 3																					

教科 No.	3H01	授業科目	プロダクト・デザイン研究1	単位数	6単位
担当教員	小山格平 塚田章 高井節子			開講学期	前期
履修条件			履修学年・専攻等	1年次	
<p>【授業目標】 プロダクトデザインは「モノ」に機能的価値だけでなく生活に快適性や美しさを与えなければならない。授業では、自己のテーマ設定により、人とモノの関係を基本軸に社会的問題をも視野に入れ製品デザインの研究と制作を行う。</p> <p>【授業概要】 学生各自の研究テーマ設定への助言、設定されたテーマに基づいた研究及び制作の指導。</p> <p>【授業内容】 1. 授業計画は、担当教員と相談の上、学生各自のテーマ設定により研究計画をたて、その計画に基づき研究・制作を進め、常に研究状況を担当教員に報告し最終週に研究成果を論文・制作等に完結させる。</p> <p>【評価方法】 研究のプロセス及び成果としての論文・制作等を総合的に判断する。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【参考書等】 指導教員が研究過程の中で適宜指示・紹介する。</p>					

教科 No.	3H02	授業科目	プロダクト・デザイン研究2	単位数	6単位
担当教員	小山格平 塚田章 高井節子			開講学期	後期
履修条件			履修学年・専攻等	1年次	
<p>【授業目標】 この授業では、前期に引き続き、自己のテーマにおいて、「人」と「モノ」の関係を基本軸に、様々な社会的問題をも視野に入れながら製品のデザインについて、さらなる研究と制作を行う。</p> <p>【授業概要】 学生各自の研究テーマ設定への助言、設定されたテーマに基づいた研究及び制作の指導。</p> <p>【授業内容】 1. 授業計画は、担当教員と相談の上、学生各自のテーマ設定により研究計画をたて、その計画に基づき研究・制作を進め、常に研究状況を担当教員に報告し最終週に研究成果を論文・制作等に完結させる。</p> <p>【評価方法】 研究のプロセス及び成果としての論文・制作等を総合的に判断する。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【参考書等】 指導教員が研究過程の中で適宜指示・紹介する。</p>					

教科 No.	3H03	授業科目	プロダクト・デザイン研究 3	単位数	6単位
担当教員	小山格平 塚田 章 高井節子			開講学期	前期
履修条件			履修学年・専攻等	2年次	
<p>【授業目標】 日々刻々と変化し続けている情報社会に於いて、増々「人」と「モノ」の適切な関係が求められている。この授業では、プロダクトデザイン研究1／2で得られた研究成果に基づき、より深化した研究と制作を行う。</p> <p>【授業概要】 プロダクトデザイン研究1／2での研究テーマの再確認、設定されたテーマに基づいたより深化した研究及び制作の指導。</p> <p>【授業内容】 1. 担当教員と相談の上、学生各自のテーマ設定により研究計画をたて、その計画に基づき研究・制作を進め、常に研究状況を担当教員に報告し最終週に研究成果を論文・制作等に完結させる。</p> <p>【評価方法】 研究のプロセス及び成果としての論文・制作等を総合的に判断する。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【参考書等】 指導教員が研究過程の中で適宜指示・紹介する。</p>					

教科 No.	3H04	授業科目	プロダクト・デザイン研究 4	単位数	6単位
担当教員	小山格平 塚田 章 高井節子			開講学期	後期
履修条件			履修学年・専攻等	2年次	
<p>【授業目標】 日々刻々と変化し続けている情報社会に於いて、増々「人」と「モノ」の適切な関係が求められている。この授業では、プロダクトデザイン研究3で得られた研究成果に基づき、より深化した研究と制作を行う。</p> <p>【授業概要】 プロダクトデザイン研究3での研究テーマの再確認、設定されたテーマに基づいたより深化した研究及び制作の指導。</p> <p>【授業内容】 1. 担当教員と相談の上、学生各自のテーマ設定により研究計画をたて、その計画に基づき研究・制作を進め、常に研究状況を担当教員に報告し最終週に研究成果を論文・制作等に完結させる。</p> <p>【評価方法】 研究のプロセス及び成果としての論文・制作等を総合的に判断する。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【参考書等】 指導教員が研究過程の中で適宜指示・紹介する。</p>					

教科 No.	3H05	授業科目	特殊演習 1 (プロダクト・デザイン)	単位数	1単位
担当教員	小山格平 塚田章 高井節子			開講学期	前期
履修条件			履修学年・専攻等	1年次	
<p>【授業目標】 プロダクトデザイン研究1で設定したテーマに関連する事項(芸術・文化・伝統等), 直面する今日的課題(資源・環境・高齢化等), プレゼンテーション技法やコンピュータスキル等々からテーマを設定しデザインの理論的知識の探求や技術的スキルの向上を行う。</p> <p>【授業概要】 指導教員との話し合いによりプロダクトデザイン研究1で設定されたテーマに関連する演習テーマを策定させ, その演習テーマの円滑な進行の指導を行う。</p> <p>【授業内容】 1. 演習テーマの策定及び研究の進行は, 学生の研究計画によって行う。 2. 常に指導教員へ演習の経過状況報告をする。 3. 最終週には, 報告書(レポート等)を提出する。</p> <p>【評価方法】 研究状況を確認し, 提出された報告書等を中心に総合的に評価する。</p> <p>【履修上の注意】 常に担当教員に研究状況を報告し助言・指導を仰ぐこと。</p> <p>【参考書等】 指導教員が研究過程の中で適宜指示・紹介する。</p>					

教科 No.	3H06	授業科目	特殊演習 2 (プロダクト・デザイン)	単位数	1単位
担当教員	小山格平 塚田章 高井節子			開講学期	後期
履修条件			履修学年・専攻等	1年次	
<p>【授業目標】 プロダクトデザイン研究2で設定したテーマに関連する事項(芸術・文化・伝統等), 直面する今日的課題(資源・環境・高齢化等), プレゼンテーション技法やコンピュータスキル等々からテーマを設定しデザインの理論的知識の探求や技術的スキルの向上を行う。</p> <p>【授業概要】 指導教員との話し合いによりプロダクトデザイン研究2で設定されたテーマに関連する演習テーマを策定させ, その演習テーマの円滑な進行の指導を行う。</p> <p>【授業内容】 1. 演習テーマの策定及び研究の進行は, 学生の研究計画によって行う。 2. 常に指導教員へ演習の経過状況報告をする。 3. 最終週には, 報告書(レポート等)を提出する。</p> <p>【評価方法】 研究状況を確認し, 提出された報告書等を中心に総合的に評価する。</p> <p>【履修上の注意】 常に担当教員に研究状況を報告し助言・指導を仰ぐこと。</p> <p>【参考書等】 指導教員が研究過程の中で適宜指示・紹介する。</p>					

教科 No.	3H07	授業科目	特殊演習 3 (プロダクト・デザイン)	単位数	1単位
担当教員	小山格平 塚田 章 高井節子			開講学期	前期
履修条件			履修学年・専攻等	2年次	
<p>【授業目標】 プロダクトデザイン研究3で設定したテーマに関連する事項（芸術・文化・伝統等）、直面する今日的課題（資源・環境・高齢化等）、プレゼンテーション技法やコンピュータスキル等からテーマを設定しデザインの理論的知識の探求や技術的スキルの向上を行う。</p> <p>【授業概要】 指導教員との話し合いによりプロダクトデザイン研究3で設定されたテーマに関連する演習テーマを策定させ、その演習テーマの円滑な進行の指導を行う。</p> <p>【授業内容】 1. 演習テーマの策定及び研究の進行は、学生の研究計画によって行う。 2. 常に指導教員へ演習の経過状況報告をする。 3. 最終週には、報告書（レポート等）を提出する。</p> <p>【評価方法】 研究状況を確認し、提出された報告書等を中心に総合的に評価する。</p> <p>【履修上の注意】 常に担当教員に研究状況を報告し助言・指導を仰ぐこと。</p> <p>【参考書等】 指導教員が研究過程の中で適宜指示・紹介する。</p>					

教科 No.	3H08	授業科目	特殊演習 4 (プロダクト・デザイン)	単位数	1単位
担当教員	小山格平 塚田 章 高井節子			開講学期	後期
履修条件			履修学年・専攻等	2年次	
<p>【授業目標】 プロダクトデザイン研究4で設定したテーマに関連する事項（芸術・文化・伝統等）、直面する今日的課題（資源・環境・高齢化等）、プレゼンテーション技法やコンピュータスキル等からテーマを設定しデザインの理論的知識の探求や技術的スキルの向上を行う。</p> <p>【授業概要】 指導教員との話し合いによりプロダクトデザイン研究4で設定されたテーマに関連する演習テーマを策定させ、その演習テーマの円滑な進行の指導を行う。</p> <p>【授業内容】 1. 演習テーマの策定及び研究の進行は、学生の研究計画によって行う。 2. 常に指導教員へ演習の経過状況報告をする。 3. 最終週には、報告書（レポート等）を提出する。</p> <p>【評価方法】 日常の研究状況を確認し、提出された報告書等を中心に総合的に評価する。</p> <p>【履修上の注意】 常に担当教員に研究状況を報告し助言・指導を仰ぐこと。</p> <p>【参考書等】 指導教員が研究過程の中で適宜指示・紹介する。</p>					

教科 No.	3I01	授業科目	陶磁器研究 1	単位数	6単位																
担当教員	叶 道夫 秋山 陽 長谷川直人 重松あゆみ 森野彰人			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	陶磁器 1年次																	
<p>【授業目標】 作家としての自立に向けて各自の課題を自主的に策定し、制作と思考との関係付けを明確にしなが、陶磁による表現の本質的な意味を問い、制作・研究をおこなう。</p> <p>【授業概要】 創作の基本となる作陶観と思想の確立を促すため、研究の過程で明らかになってくる問題点を中心に、随時個別に討論と指導をおこなう。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究計画書の作成</td> <td>9. 制作</td> </tr> <tr> <td>2. 研究計画書の提出</td> <td>10. "</td> </tr> <tr> <td>3. 技法研究, 素材実験</td> <td>11. "</td> </tr> <tr> <td>4. "</td> <td>12. "</td> </tr> <tr> <td>5. "</td> <td>13. "</td> </tr> <tr> <td>6. 試作</td> <td>14. 作品提出, 合評, 研究報告書の作成</td> </tr> <tr> <td>7. "</td> <td>15. 研究報告書の提出</td> </tr> <tr> <td>8. 中間報告</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 提出作品及び平素の研究姿勢により総合的に評価する。</p> <p>【参考書等】 学生の研究内容に応じて適宜指定する。</p> <p>※備考 後期開始前に登り窯による焼成実習に参加することが望ましい。</p> <p>後期期間中に近現代陶磁史に関する集中講義を行う。</p>						1. 研究計画書の作成	9. 制作	2. 研究計画書の提出	10. "	3. 技法研究, 素材実験	11. "	4. "	12. "	5. "	13. "	6. 試作	14. 作品提出, 合評, 研究報告書の作成	7. "	15. 研究報告書の提出	8. 中間報告	
1. 研究計画書の作成	9. 制作																				
2. 研究計画書の提出	10. "																				
3. 技法研究, 素材実験	11. "																				
4. "	12. "																				
5. "	13. "																				
6. 試作	14. 作品提出, 合評, 研究報告書の作成																				
7. "	15. 研究報告書の提出																				
8. 中間報告																					

教科 No.	3I02	授業科目	陶磁器研究 2	単位数	6単位																
担当教員	叶 道夫 秋山 陽 長谷川直人 重松あゆみ 森野彰人			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	陶磁器 1年次																	
<p>【授業目標】 作家としての自立に向けて各自の課題を自主的に策定し、制作と思考との関係付けを明確にしなが、陶磁による表現の本質的な意味を問い、制作・研究をおこなう。</p> <p>【授業概要】 創作の基本となる作陶観と思想の確立を促すため、研究の過程で明らかになってくる問題点を中心に、随時個別に討論と指導をおこなう。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究計画書の作成</td> <td>9. 制作</td> </tr> <tr> <td>2. 研究計画書の提出</td> <td>10. "</td> </tr> <tr> <td>3. 技法研究, 素材実験</td> <td>11. "</td> </tr> <tr> <td>4. "</td> <td>12. "</td> </tr> <tr> <td>5. "</td> <td>13. "</td> </tr> <tr> <td>6. 試作</td> <td>14. 作品提出, 合評, 研究報告書の作成</td> </tr> <tr> <td>7. "</td> <td>15. 研究報告書の提出</td> </tr> <tr> <td>8. 中間報告</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 提出作品及び平素の研究姿勢により総合的に評価する。</p> <p>【参考書等】 学生の研究内容に応じて適宜指定する。</p> <p>※備考 後期開始前に登り窯による焼成実習に参加することが望ましい。</p> <p>後期期間中に近現代陶磁史に関する集中講義を行う。</p>						1. 研究計画書の作成	9. 制作	2. 研究計画書の提出	10. "	3. 技法研究, 素材実験	11. "	4. "	12. "	5. "	13. "	6. 試作	14. 作品提出, 合評, 研究報告書の作成	7. "	15. 研究報告書の提出	8. 中間報告	
1. 研究計画書の作成	9. 制作																				
2. 研究計画書の提出	10. "																				
3. 技法研究, 素材実験	11. "																				
4. "	12. "																				
5. "	13. "																				
6. 試作	14. 作品提出, 合評, 研究報告書の作成																				
7. "	15. 研究報告書の提出																				
8. 中間報告																					

教科 No.	3I03	授業科目	陶磁器研究 3	単位数	6単位																
担当教員	叶 道夫 秋山 陽 長谷川直人 重松あゆみ 森野彰人			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	陶磁器 2年次																	
<p>【授業目標】 作家としての自立に向けて各自の課題を自主的に策定し、制作と思考との関係付けを明確にししながら、陶磁による表現の本質的な意味を問い、制作・研究をおこなう。</p> <p>【授業概要】 技術や知識の幅を広め確かなものにしていくのはもちろんのこと、創作活動の基礎となる作陶観と思想の確立をめざすため、随時個別に討論と指導をおこなう。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究計画書の作成</td> <td>9. 制作</td> </tr> <tr> <td>2. 研究計画書の提出</td> <td>10. "</td> </tr> <tr> <td>3. 技法研究, 素材実験</td> <td>11. "</td> </tr> <tr> <td>4. "</td> <td>12. "</td> </tr> <tr> <td>5. "</td> <td>13. "</td> </tr> <tr> <td>6. 試作</td> <td>14. 作品提出, 合評, 研究報告書の作成</td> </tr> <tr> <td>7. "</td> <td>15. 研究報告書の提出</td> </tr> <tr> <td>8. 中間報告</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 提出作品及び平素の研究姿勢により総合的に評価する。</p> <p>【参考書等】 学生の研究内容に応じて適宜指定する。</p> <p>※備考 後期開始前に登り窯による焼成実習に参加することが望ましい。</p> <p>後期期間中に近現代陶磁史に関する集中講義を行う。</p>						1. 研究計画書の作成	9. 制作	2. 研究計画書の提出	10. "	3. 技法研究, 素材実験	11. "	4. "	12. "	5. "	13. "	6. 試作	14. 作品提出, 合評, 研究報告書の作成	7. "	15. 研究報告書の提出	8. 中間報告	
1. 研究計画書の作成	9. 制作																				
2. 研究計画書の提出	10. "																				
3. 技法研究, 素材実験	11. "																				
4. "	12. "																				
5. "	13. "																				
6. 試作	14. 作品提出, 合評, 研究報告書の作成																				
7. "	15. 研究報告書の提出																				
8. 中間報告																					

教科 No.	3I04	授業科目	陶磁器研究 4	単位数	6単位																
担当教員	叶 道夫 秋山 陽 長谷川直人 重松あゆみ 森野彰人			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	陶磁器 2年次																	
<p>【授業目標】 作家としての自立に向けて各自の課題を自主的に策定し、制作と思考との関係付けを明確にししながら、陶磁による表現の本質的な意味を問い、制作・研究をおこなう。</p> <p>【授業概要】 技術や知識の幅を広め確かなものにしていくのはもちろんのこと、創作活動の基礎となる作陶観と思想の確立をめざすため、随時個別に討論と指導をおこなう。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究計画書の作成</td> <td>9. 制作</td> </tr> <tr> <td>2. 研究計画書の提出</td> <td>10. "</td> </tr> <tr> <td>3. 技法研究, 素材実験</td> <td>11. "</td> </tr> <tr> <td>4. "</td> <td>12. "</td> </tr> <tr> <td>5. "</td> <td>13. "</td> </tr> <tr> <td>6. 試作</td> <td>14. 作品提出, 合評, 研究報告書の作成</td> </tr> <tr> <td>7. "</td> <td>15. 研究報告書の提出</td> </tr> <tr> <td>8. 中間報告</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 提出作品及び平素の研究姿勢により総合的に評価する。</p> <p>【参考書等】 学生の研究内容に応じて適宜指定する。</p> <p>※備考 後期開始前に登り窯による焼成実習に参加することが望ましい。</p> <p>後期期間中に近現代陶磁史に関する集中講義を行う。</p>						1. 研究計画書の作成	9. 制作	2. 研究計画書の提出	10. "	3. 技法研究, 素材実験	11. "	4. "	12. "	5. "	13. "	6. 試作	14. 作品提出, 合評, 研究報告書の作成	7. "	15. 研究報告書の提出	8. 中間報告	
1. 研究計画書の作成	9. 制作																				
2. 研究計画書の提出	10. "																				
3. 技法研究, 素材実験	11. "																				
4. "	12. "																				
5. "	13. "																				
6. 試作	14. 作品提出, 合評, 研究報告書の作成																				
7. "	15. 研究報告書の提出																				
8. 中間報告																					

教科 No.	3I05	授業科目	特殊演習 1 (陶磁器)	単位数	1単位																
担当教員	叶 道夫 秋山 陽 長谷川直人 重松あゆみ 森野彰人			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	陶磁器 1年次																	
<p>【授業目標】 専門分野内外の幅広いジャンルに目を向けることによって、制作内容に拡がりとお興行きを持つことを目標とする。</p> <p>【授業概要】 学生の自発的な計画により、見学、観察、収集、討論等自由な形による研究をおこない、個々の制作研究が意欲的に進められるよう指導をおこなう。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. テーマ設定、演習方法、提出形態について検討</td> <td>9. 学生各自の計画に即したゼミ・演習を実施</td> </tr> <tr> <td>2. 研究計画書の提出</td> <td>10. "</td> </tr> <tr> <td>3. 学生各自の計画に即したゼミ・演習を実施</td> <td>11. "</td> </tr> <tr> <td>4. "</td> <td>12. "</td> </tr> <tr> <td>5. "</td> <td>13. "</td> </tr> <tr> <td>6. "</td> <td>14. 報告に向けてのまとめ</td> </tr> <tr> <td>7. "</td> <td>15. 報告書 (レポート等) の提出</td> </tr> <tr> <td>8. 中間報告</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 提出レポート及び授業中の質疑応答・討論の内容その他を総合して担当教員が評価する。</p> <p>【参考書等】 学生の研究内容に応じて適宜指定する。</p>						1. テーマ設定、演習方法、提出形態について検討	9. 学生各自の計画に即したゼミ・演習を実施	2. 研究計画書の提出	10. "	3. 学生各自の計画に即したゼミ・演習を実施	11. "	4. "	12. "	5. "	13. "	6. "	14. 報告に向けてのまとめ	7. "	15. 報告書 (レポート等) の提出	8. 中間報告	
1. テーマ設定、演習方法、提出形態について検討	9. 学生各自の計画に即したゼミ・演習を実施																				
2. 研究計画書の提出	10. "																				
3. 学生各自の計画に即したゼミ・演習を実施	11. "																				
4. "	12. "																				
5. "	13. "																				
6. "	14. 報告に向けてのまとめ																				
7. "	15. 報告書 (レポート等) の提出																				
8. 中間報告																					

教科 No.	3I06	授業科目	特殊演習 2 (陶磁器)	単位数	1単位																
担当教員	叶 道夫 秋山 陽 長谷川直人 重松あゆみ 森野彰人			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	陶磁器 1年次																	
<p>【授業目標】 専門分野内外の幅広いジャンルに目を向けることによって、制作内容に拡がりとお興行きを持つことを目標とする。</p> <p>【授業概要】 学生の自発的な計画により、見学、観察、収集、討論等自由な形による研究をおこない、個々の制作研究が意欲的に進められるよう指導をおこなう。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. テーマ設定、演習方法、提出形態について検討</td> <td>9. 学生各自の計画に即したゼミ・演習を実施</td> </tr> <tr> <td>2. 研究計画書の提出</td> <td>10. "</td> </tr> <tr> <td>3. 学生各自の計画に即したゼミ・演習を実施</td> <td>11. "</td> </tr> <tr> <td>4. "</td> <td>12. "</td> </tr> <tr> <td>5. "</td> <td>13. "</td> </tr> <tr> <td>6. "</td> <td>14. 報告に向けてのまとめ</td> </tr> <tr> <td>7. "</td> <td>15. 報告書 (レポート等) の提出</td> </tr> <tr> <td>8. 中間報告</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 提出レポート及び授業中の質疑応答・討論の内容その他を総合して担当教員が評価する。</p> <p>【参考書等】 学生の研究内容に応じて適宜指定する。</p>						1. テーマ設定、演習方法、提出形態について検討	9. 学生各自の計画に即したゼミ・演習を実施	2. 研究計画書の提出	10. "	3. 学生各自の計画に即したゼミ・演習を実施	11. "	4. "	12. "	5. "	13. "	6. "	14. 報告に向けてのまとめ	7. "	15. 報告書 (レポート等) の提出	8. 中間報告	
1. テーマ設定、演習方法、提出形態について検討	9. 学生各自の計画に即したゼミ・演習を実施																				
2. 研究計画書の提出	10. "																				
3. 学生各自の計画に即したゼミ・演習を実施	11. "																				
4. "	12. "																				
5. "	13. "																				
6. "	14. 報告に向けてのまとめ																				
7. "	15. 報告書 (レポート等) の提出																				
8. 中間報告																					

教科 No.	3I07	授業科目	特殊演習 3 (陶磁器)	単位数	1単位																
担当教員	叶道夫・秋山陽・長谷川直人・重松あゆみ・森野彰人			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	陶磁器 2年次																	
<p>【授業目標】 工芸専攻の学生による専攻細目を越えた議論や交流を通して作品制作における課題や共通の問題を見だし、各自の創作における思考を深めることを目標とする。</p> <p>【授業概要】 工芸専攻合同で演習を行う。演習の方法や内容を話し合うところから始め、学生の自主性を重視してディスカッションを中心とした演習を行い、最後に全員を対象とした発表を行う。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 合同ガイダンス</td> <td>9. 発表準備</td> </tr> <tr> <td>2. 演習内容についてのディスカッション</td> <td>10. 順次発表と意見交換</td> </tr> <tr> <td>3. 研究計画書の作成及び提出</td> <td>11. 順次発表と意見交換</td> </tr> <tr> <td>4. 演習資料の収集及び作成</td> <td>12. 順次発表と意見交換</td> </tr> <tr> <td>5. 演習資料の収集及び作成</td> <td>13. 順次発表と意見交換</td> </tr> <tr> <td>6. 演習資料の収集及び作成</td> <td>14. まとめ・レポートの提出</td> </tr> <tr> <td>7. 発表準備</td> <td>15. 研究報告書の作成及び提出</td> </tr> <tr> <td>8. 発表準備</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 ディスカッション、発表、レポート、実験作品などにより担当教員が総合的に評価する。</p> <p>【履修上の注意】 特に各自のテーマに変更する場合は、担当教員に相談すること。</p> <p>【参考書等】 学生の研究内容に応じて適宜指定する。</p>						1. 合同ガイダンス	9. 発表準備	2. 演習内容についてのディスカッション	10. 順次発表と意見交換	3. 研究計画書の作成及び提出	11. 順次発表と意見交換	4. 演習資料の収集及び作成	12. 順次発表と意見交換	5. 演習資料の収集及び作成	13. 順次発表と意見交換	6. 演習資料の収集及び作成	14. まとめ・レポートの提出	7. 発表準備	15. 研究報告書の作成及び提出	8. 発表準備	
1. 合同ガイダンス	9. 発表準備																				
2. 演習内容についてのディスカッション	10. 順次発表と意見交換																				
3. 研究計画書の作成及び提出	11. 順次発表と意見交換																				
4. 演習資料の収集及び作成	12. 順次発表と意見交換																				
5. 演習資料の収集及び作成	13. 順次発表と意見交換																				
6. 演習資料の収集及び作成	14. まとめ・レポートの提出																				
7. 発表準備	15. 研究報告書の作成及び提出																				
8. 発表準備																					

教科 No.	3I08	授業科目	特殊演習 4 (陶磁器)	単位数	1単位																
担当教員	叶道夫・秋山陽・長谷川直人・重松あゆみ・森野彰人			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	陶磁器 2年次																	
<p>【授業目標】 専門分野内外の幅広いジャンルに目を向けることによって、制作内容に広がりとお興行きを持つことを目標とする。</p> <p>【授業概要】 学生の自発的な計画により、見学、観察、収集、討論等自由な形による研究をおこない、個々の制作研究が意欲的に進められるよう指導をおこなう。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. テーマ設定、演習方法、提出形態について検討</td> <td>9. 学生各自の計画に即したゼミ・演習を実施</td> </tr> <tr> <td>2. 研究計画書の提出</td> <td>10. "</td> </tr> <tr> <td>3. 学生各自の計画に即したゼミ・演習を実施</td> <td>11. "</td> </tr> <tr> <td>4. "</td> <td>12. "</td> </tr> <tr> <td>5. "</td> <td>13. "</td> </tr> <tr> <td>6. "</td> <td>14. 報告に向けてのまとめ</td> </tr> <tr> <td>7. "</td> <td>15. 報告書(レポート等)の提出</td> </tr> <tr> <td>8. 中間報告</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 提出レポート及び授業中の質疑応答・討論の内容その他を総合して担当教員が評価する。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【参考書等】 学生の研究内容に応じて適宜指定する。</p>						1. テーマ設定、演習方法、提出形態について検討	9. 学生各自の計画に即したゼミ・演習を実施	2. 研究計画書の提出	10. "	3. 学生各自の計画に即したゼミ・演習を実施	11. "	4. "	12. "	5. "	13. "	6. "	14. 報告に向けてのまとめ	7. "	15. 報告書(レポート等)の提出	8. 中間報告	
1. テーマ設定、演習方法、提出形態について検討	9. 学生各自の計画に即したゼミ・演習を実施																				
2. 研究計画書の提出	10. "																				
3. 学生各自の計画に即したゼミ・演習を実施	11. "																				
4. "	12. "																				
5. "	13. "																				
6. "	14. 報告に向けてのまとめ																				
7. "	15. 報告書(レポート等)の提出																				
8. 中間報告																					

教科 No.	3J01	授業科目	漆工研究 1	単位数	6単位																
担当教員	山中晴夫・栗本夏樹・安井友幸・笹井史恵			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次																	
<p>【授業目標】 計画書を基に教員の指導を仰ぎながら、制作意図、技法の展開等を行い、完成度の高い木・漆工芸の作品を創ると共に、自己の造形理論を構築することを目標とする。</p> <p>【授業概要】 計画書を基に、制作意図、技法の展開等に助言を行い、完成度の高い木・漆工芸作品を創ると共に、自己の造形理論を構築するように指導する。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究計画書の作成準備</td> <td>9. 制作途中での再検討</td> </tr> <tr> <td>2. 担当教員と研究計画書の内容について討議</td> <td>10. 担当教員の助言や指導の基に制作</td> </tr> <tr> <td>3. 研究計画書の作成及び提出</td> <td>11. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>4. 見学等により、資料収集</td> <td>12. 作品制作、発表の準備</td> </tr> <tr> <td>5. 作品のプランニングを基に担当教員とディスカッション</td> <td>13. 前期展や展覧会への作品発表</td> </tr> <tr> <td>6. 素材研究やマケットの作成</td> <td>14. 合評</td> </tr> <tr> <td>7. 素地作成</td> <td>15. 研究報告書の作成及び提出</td> </tr> <tr> <td>8. 素地作成</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 合評を行い、完成度とそのコンセプトを検討し、評価する。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【参考書等】 『漆工の技法』、『漆芸の伝統技法』理工学社、『日本の漆工（材料と用具）』、『うるし工具事典』、『漆芸品の鑑賞基礎知識』至文堂、『漆—その科学と技術—』理工出版社、『木工大図鑑』講談社</p>						1. 研究計画書の作成準備	9. 制作途中での再検討	2. 担当教員と研究計画書の内容について討議	10. 担当教員の助言や指導の基に制作	3. 研究計画書の作成及び提出	11. 作品制作	4. 見学等により、資料収集	12. 作品制作、発表の準備	5. 作品のプランニングを基に担当教員とディスカッション	13. 前期展や展覧会への作品発表	6. 素材研究やマケットの作成	14. 合評	7. 素地作成	15. 研究報告書の作成及び提出	8. 素地作成	
1. 研究計画書の作成準備	9. 制作途中での再検討																				
2. 担当教員と研究計画書の内容について討議	10. 担当教員の助言や指導の基に制作																				
3. 研究計画書の作成及び提出	11. 作品制作																				
4. 見学等により、資料収集	12. 作品制作、発表の準備																				
5. 作品のプランニングを基に担当教員とディスカッション	13. 前期展や展覧会への作品発表																				
6. 素材研究やマケットの作成	14. 合評																				
7. 素地作成	15. 研究報告書の作成及び提出																				
8. 素地作成																					

教科 No.	3J02	授業科目	漆工研究 2	単位数	6単位																
担当教員	山中晴夫・栗本夏樹・安井友幸・笹井史恵			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次																	
<p>【授業目標】 計画書を基に教員の指導を仰ぎながら、制作意図、技法の展開等を行い、作品展に向け完成度の高い木・漆工芸作品を創ると共に、自己の造形理論を構築することを目標とする。</p> <p>【授業概要】 計画書を基に、制作意図、技法の展開等に助言を行い、完成度の高い木・漆工芸作品を創ると共に、自己の造形理論を構築するように指導する。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究計画書の作成準備</td> <td>9. 制作途中での再検討</td> </tr> <tr> <td>2. 担当教員と研究計画書の内容について討議</td> <td>10. 担当教員の助言や指導の基に制作</td> </tr> <tr> <td>3. 研究計画書の作成及び提出</td> <td>11. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>4. 見学等により、資料収集</td> <td>12. 作品制作、展覧会の準備</td> </tr> <tr> <td>5. 作品のプランニングを基に担当教員とディスカッション</td> <td>13. 作品展への出品</td> </tr> <tr> <td>6. 素材研究やマケットの作成</td> <td>14. 合評</td> </tr> <tr> <td>7. 素地作成</td> <td>15. 研究報告書の作成及び提出</td> </tr> <tr> <td>8. 素地作成</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 合評を行い、完成度とそのコンセプトを検討し、評価する。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【参考書等】 『漆工の技法』、『漆芸の伝統技法』理工学社、『日本の漆工（材料と用具）』、『うるし工具事典』、『漆芸品の鑑賞基礎知識』至文堂、『漆—その科学と技術—』理工出版社、『木工大図鑑』講談社</p>						1. 研究計画書の作成準備	9. 制作途中での再検討	2. 担当教員と研究計画書の内容について討議	10. 担当教員の助言や指導の基に制作	3. 研究計画書の作成及び提出	11. 作品制作	4. 見学等により、資料収集	12. 作品制作、展覧会の準備	5. 作品のプランニングを基に担当教員とディスカッション	13. 作品展への出品	6. 素材研究やマケットの作成	14. 合評	7. 素地作成	15. 研究報告書の作成及び提出	8. 素地作成	
1. 研究計画書の作成準備	9. 制作途中での再検討																				
2. 担当教員と研究計画書の内容について討議	10. 担当教員の助言や指導の基に制作																				
3. 研究計画書の作成及び提出	11. 作品制作																				
4. 見学等により、資料収集	12. 作品制作、展覧会の準備																				
5. 作品のプランニングを基に担当教員とディスカッション	13. 作品展への出品																				
6. 素材研究やマケットの作成	14. 合評																				
7. 素地作成	15. 研究報告書の作成及び提出																				
8. 素地作成																					

教科 No.	3J03	授業科目	漆工研究 3	単位数	6単位																
担当教員	山中晴夫・栗本夏樹・安井友幸・笹井史恵			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 計画書を基に教員の指導を仰ぎながら、制作意図、技法の展開等を行い、完成度の高い木・漆工芸の作品を創ると共に、自己の造形理論を構築することを目標とする。</p> <p>【授業概要】 計画書を基に、制作意図、技法の展開等に助言を行い、完成度の高い木・漆工芸作品を創ると共に、自己の造形理論を構築するように指導する。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究計画書の作成準備</td> <td>9. 制作途中での再検討</td> </tr> <tr> <td>2. 担当教員と研究計画書の内容について討議</td> <td>10. 担当教員の助言や指導の基に制作</td> </tr> <tr> <td>3. 研究計画書の作成及び提出</td> <td>11. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>4. 見学等により、資料収集</td> <td>12. 作品制作、展覧会の準備</td> </tr> <tr> <td>5. 作品のプランニングを基に担当教員とディスカッション</td> <td>13. 前期展や展覧会への出品</td> </tr> <tr> <td>6. 素材研究やマケットの作成</td> <td>14. 合評</td> </tr> <tr> <td>7. 素地作成</td> <td>15. 研究報告書の作成及び提出</td> </tr> <tr> <td>8. 素地作成</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 合評を行い、完成度とそのコンセプトを検討し、評価する。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【参考書等】 『漆工の技法』、『漆芸の伝統技法』理工学社、『日本の漆工（材料と用具）』、『うるし工具事典』、『漆芸品の鑑賞基礎知識』至文堂、『漆—その科学と技術—』理工出版社、『木工大図鑑』講談社</p>						1. 研究計画書の作成準備	9. 制作途中での再検討	2. 担当教員と研究計画書の内容について討議	10. 担当教員の助言や指導の基に制作	3. 研究計画書の作成及び提出	11. 作品制作	4. 見学等により、資料収集	12. 作品制作、展覧会の準備	5. 作品のプランニングを基に担当教員とディスカッション	13. 前期展や展覧会への出品	6. 素材研究やマケットの作成	14. 合評	7. 素地作成	15. 研究報告書の作成及び提出	8. 素地作成	
1. 研究計画書の作成準備	9. 制作途中での再検討																				
2. 担当教員と研究計画書の内容について討議	10. 担当教員の助言や指導の基に制作																				
3. 研究計画書の作成及び提出	11. 作品制作																				
4. 見学等により、資料収集	12. 作品制作、展覧会の準備																				
5. 作品のプランニングを基に担当教員とディスカッション	13. 前期展や展覧会への出品																				
6. 素材研究やマケットの作成	14. 合評																				
7. 素地作成	15. 研究報告書の作成及び提出																				
8. 素地作成																					

教科 No.	3J04	授業科目	漆工研究 4	単位数	6単位																
担当教員	山中晴夫・栗本夏樹・安井友幸・笹井史恵			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 作家として自立に向かって最終学年の修士作品となる計画書を提出する。また、これまでの反省点を明確にし、高度な技法と造形理論の確立を目指し、木・漆工表現の本質的意味を考え創造することを目標とする。</p> <p>【授業概要】 作家として自立に向かって最終学年の修士作品となる計画書を提出させる。これまでの反省点を明確にさせ、高度な技法と造形理論の確立を促し、木・漆工表現の本質的意味を考え創造させることを目標に指導する。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究計画書の作成準備</td> <td>9. 制作途中での再検討</td> </tr> <tr> <td>2. 担当教員と研究計画書の内容について討議</td> <td>10. 担当教員の助言や指導の基に制作</td> </tr> <tr> <td>3. 研究計画書の作成及び提出</td> <td>11. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>4. 見学等により、資料収集</td> <td>12. 作品制作、展覧会の準備</td> </tr> <tr> <td>5. 作品のプランニングを基に担当教員とディスカッション</td> <td>13. 作品展への出品</td> </tr> <tr> <td>6. 素材研究やマケットの作成</td> <td>14. 合評</td> </tr> <tr> <td>7. 素地作成</td> <td>15. 研究報告書の作成及び提出</td> </tr> <tr> <td>8. 素地作成</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 合評を行い、完成度とそのコンセプトを検討し、評価する。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【参考書等】 1 回生時と同じ。他に必要な場合は適宜指示する。</p>						1. 研究計画書の作成準備	9. 制作途中での再検討	2. 担当教員と研究計画書の内容について討議	10. 担当教員の助言や指導の基に制作	3. 研究計画書の作成及び提出	11. 作品制作	4. 見学等により、資料収集	12. 作品制作、展覧会の準備	5. 作品のプランニングを基に担当教員とディスカッション	13. 作品展への出品	6. 素材研究やマケットの作成	14. 合評	7. 素地作成	15. 研究報告書の作成及び提出	8. 素地作成	
1. 研究計画書の作成準備	9. 制作途中での再検討																				
2. 担当教員と研究計画書の内容について討議	10. 担当教員の助言や指導の基に制作																				
3. 研究計画書の作成及び提出	11. 作品制作																				
4. 見学等により、資料収集	12. 作品制作、展覧会の準備																				
5. 作品のプランニングを基に担当教員とディスカッション	13. 作品展への出品																				
6. 素材研究やマケットの作成	14. 合評																				
7. 素地作成	15. 研究報告書の作成及び提出																				
8. 素地作成																					

教科 No.	3J05	授業科目	特殊演習 1 (漆工)	単位数	1単位																
担当教員	山中晴夫・栗本夏樹・安井友幸・笹井史恵			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次																	
<p>【授業目標】 専門分野内外の事に目を向けることで制作内容に広がりや自由な発想を持つ事を目標とする。</p> <p>【授業概要】 自由な発想による制作に広がりを与える理論、資料等の収集及び技法の研究と実験を行い、作品又はレポートの形にまとめる。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 担当教員と共にテーマの設定、演習方法、提出形態について検討</td> <td>9. 各自のテーマによる、制作や研究</td> </tr> <tr> <td>2. 研究計画書の作成及び提出</td> <td>10. 各自のテーマによる、制作や研究</td> </tr> <tr> <td>3. 資料収集・見学等の実施</td> <td>11. 各自のテーマによる、制作や研究</td> </tr> <tr> <td>4. 実験等必要に応じて実施</td> <td>12. 各自のテーマによる、制作や研究</td> </tr> <tr> <td>5. 各自のテーマによる、制作や研究</td> <td>13. 作品又はレポートの提出準備</td> </tr> <tr> <td>6. 各自のテーマによる、制作や研究</td> <td>14. 研究報告書の作成及び提出</td> </tr> <tr> <td>7. 各自のテーマによる、制作や研究</td> <td>15. 作品又はレポート提出 (前期終了時に提出する事)</td> </tr> <tr> <td>8. 中間チェック</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 提出された研究レポートや実験作品等を見て担当教員が総合的に評価する。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【参考書等】 必要な場合は適宜指示する。</p>						1. 担当教員と共にテーマの設定、演習方法、提出形態について検討	9. 各自のテーマによる、制作や研究	2. 研究計画書の作成及び提出	10. 各自のテーマによる、制作や研究	3. 資料収集・見学等の実施	11. 各自のテーマによる、制作や研究	4. 実験等必要に応じて実施	12. 各自のテーマによる、制作や研究	5. 各自のテーマによる、制作や研究	13. 作品又はレポートの提出準備	6. 各自のテーマによる、制作や研究	14. 研究報告書の作成及び提出	7. 各自のテーマによる、制作や研究	15. 作品又はレポート提出 (前期終了時に提出する事)	8. 中間チェック	
1. 担当教員と共にテーマの設定、演習方法、提出形態について検討	9. 各自のテーマによる、制作や研究																				
2. 研究計画書の作成及び提出	10. 各自のテーマによる、制作や研究																				
3. 資料収集・見学等の実施	11. 各自のテーマによる、制作や研究																				
4. 実験等必要に応じて実施	12. 各自のテーマによる、制作や研究																				
5. 各自のテーマによる、制作や研究	13. 作品又はレポートの提出準備																				
6. 各自のテーマによる、制作や研究	14. 研究報告書の作成及び提出																				
7. 各自のテーマによる、制作や研究	15. 作品又はレポート提出 (前期終了時に提出する事)																				
8. 中間チェック																					

教科 No.	3J06	授業科目	特殊演習 2 (漆工)	単位数	1単位																
担当教員	山中晴夫・栗本夏樹・安井友幸・笹井史恵			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次																	
<p>【授業目標】 専門分野内外の事に目を向けることで制作内容に広がりや自由な発想を持つ事を目標とする。</p> <p>【授業概要】 自由な発想による制作に広がりを与える理論、資料等の収集及び技法の研究と実験を行い、作品又はレポートの形にまとめる。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 担当教員と共にテーマの設定、演習方法、提出形態について検討</td> <td>9. 各自のテーマによる、制作や研究</td> </tr> <tr> <td>2. 研究計画書の作成及び提出</td> <td>10. 各自のテーマによる、制作や研究</td> </tr> <tr> <td>3. 資料収集・見学等の実施</td> <td>11. 各自のテーマによる、制作や研究</td> </tr> <tr> <td>4. 実験等必要に応じて実施</td> <td>12. 各自のテーマによる、制作や研究</td> </tr> <tr> <td>5. 各自のテーマによる、制作や研究</td> <td>13. 作品又はレポートの提出準備</td> </tr> <tr> <td>6. 各自のテーマによる、制作や研究</td> <td>14. 研究報告書の作成及び提出</td> </tr> <tr> <td>7. 各自のテーマによる、制作や研究</td> <td>15. 作品又はレポート提出 (前期終了時に提出する事)</td> </tr> <tr> <td>8. 中間チェック</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 提出された研究レポートや実験作品等を見て担当教員が総合的に評価する。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【参考書等】 必要な場合は適宜指示する。</p>						1. 担当教員と共にテーマの設定、演習方法、提出形態について検討	9. 各自のテーマによる、制作や研究	2. 研究計画書の作成及び提出	10. 各自のテーマによる、制作や研究	3. 資料収集・見学等の実施	11. 各自のテーマによる、制作や研究	4. 実験等必要に応じて実施	12. 各自のテーマによる、制作や研究	5. 各自のテーマによる、制作や研究	13. 作品又はレポートの提出準備	6. 各自のテーマによる、制作や研究	14. 研究報告書の作成及び提出	7. 各自のテーマによる、制作や研究	15. 作品又はレポート提出 (前期終了時に提出する事)	8. 中間チェック	
1. 担当教員と共にテーマの設定、演習方法、提出形態について検討	9. 各自のテーマによる、制作や研究																				
2. 研究計画書の作成及び提出	10. 各自のテーマによる、制作や研究																				
3. 資料収集・見学等の実施	11. 各自のテーマによる、制作や研究																				
4. 実験等必要に応じて実施	12. 各自のテーマによる、制作や研究																				
5. 各自のテーマによる、制作や研究	13. 作品又はレポートの提出準備																				
6. 各自のテーマによる、制作や研究	14. 研究報告書の作成及び提出																				
7. 各自のテーマによる、制作や研究	15. 作品又はレポート提出 (前期終了時に提出する事)																				
8. 中間チェック																					

教科 No.	3J07	授業科目	特殊演習 3 (漆工)	単位数	1単位																
担当教員	山中晴夫・栗本夏樹・安井友幸・笹井史恵			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 工芸専攻の学生による専攻細目を超えた議論や交流を通して、作品制作における課題や共通の問題を見出し、各自の創作における思考を深めることを目標とする。</p> <p>【授業概要】 工芸専攻合同で演習をおこなう。演習の方法や内容を話し合うところから始め、学生の自主性を重視してディスカッションを中心とした演習を行い、最後に全員を対象とした発表を行う。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 合同ガイダンス</td> <td>9. 発表準備</td> </tr> <tr> <td>2. 演習内容についてのディスカッション</td> <td>10. 順次発表と意見交換</td> </tr> <tr> <td>3. 研究計画書の作成及び提出</td> <td>11. 順次発表と意見交換</td> </tr> <tr> <td>4. 演習資料の収集及び作成</td> <td>12. 順次発表と意見交換</td> </tr> <tr> <td>5. 演習資料の収集及び作成</td> <td>13. 順次発表と意見交換</td> </tr> <tr> <td>6. 演習資料の収集及び作成</td> <td>14. まとめ・レポート提出</td> </tr> <tr> <td>7. 発表準備</td> <td>15. 研究報告書の作成及び提出</td> </tr> <tr> <td>8. 発表準備</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 ディスカッション、発表、レポート、実験作品等により、担当教員が総合的に評価する。</p> <p>【履修上の注意】 特に各自のテーマに変更する場合には、担当教員に相談すること</p> <p>【参考書等】 学生の研究内容に応じて適宜指定する。</p>						1. 合同ガイダンス	9. 発表準備	2. 演習内容についてのディスカッション	10. 順次発表と意見交換	3. 研究計画書の作成及び提出	11. 順次発表と意見交換	4. 演習資料の収集及び作成	12. 順次発表と意見交換	5. 演習資料の収集及び作成	13. 順次発表と意見交換	6. 演習資料の収集及び作成	14. まとめ・レポート提出	7. 発表準備	15. 研究報告書の作成及び提出	8. 発表準備	
1. 合同ガイダンス	9. 発表準備																				
2. 演習内容についてのディスカッション	10. 順次発表と意見交換																				
3. 研究計画書の作成及び提出	11. 順次発表と意見交換																				
4. 演習資料の収集及び作成	12. 順次発表と意見交換																				
5. 演習資料の収集及び作成	13. 順次発表と意見交換																				
6. 演習資料の収集及び作成	14. まとめ・レポート提出																				
7. 発表準備	15. 研究報告書の作成及び提出																				
8. 発表準備																					

教科 No.	3J08	授業科目	特殊演習 4 (漆工)	単位数	1単位																
担当教員	山中晴夫・栗本夏樹・安井友幸・笹井史恵			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 専門分野内外の事に目を向けることで制作内容に広がりや自由な発想を持つ事を目標とする。</p> <p>【授業概要】 自由な発想による制作に広がりを与える理論、資料等の収集及び技法の研究と実験を行い、作品又はレポートの形にまとめる。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 担当教員と共にテーマの設定、演習方法、提出形態について検討</td> <td>9. 各自のテーマによる、制作や研究</td> </tr> <tr> <td>2. 研究計画書の作成及び提出</td> <td>10. 各自のテーマによる、制作や研究</td> </tr> <tr> <td>3. 資料収集・見学等の実施</td> <td>11. 各自のテーマによる、制作や研究</td> </tr> <tr> <td>4. 実験等必要に応じて実施</td> <td>12. 各自のテーマによる、制作や研究</td> </tr> <tr> <td>5. 各自のテーマによる、制作や研究</td> <td>13. 作品又はレポートの提出準備</td> </tr> <tr> <td>6. 各自のテーマによる、制作や研究</td> <td>14. 研究報告書の作成及び提出</td> </tr> <tr> <td>7. 各自のテーマによる、制作や研究</td> <td>15. 作品又はレポート提出 (前期終了時に提出する事)</td> </tr> <tr> <td>8. 中間チェック</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 提出された研究レポートや実験作品等を見て担当教員が総合的に評価する。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【参考書等】 必要な場合は適宜指示する。</p>						1. 担当教員と共にテーマの設定、演習方法、提出形態について検討	9. 各自のテーマによる、制作や研究	2. 研究計画書の作成及び提出	10. 各自のテーマによる、制作や研究	3. 資料収集・見学等の実施	11. 各自のテーマによる、制作や研究	4. 実験等必要に応じて実施	12. 各自のテーマによる、制作や研究	5. 各自のテーマによる、制作や研究	13. 作品又はレポートの提出準備	6. 各自のテーマによる、制作や研究	14. 研究報告書の作成及び提出	7. 各自のテーマによる、制作や研究	15. 作品又はレポート提出 (前期終了時に提出する事)	8. 中間チェック	
1. 担当教員と共にテーマの設定、演習方法、提出形態について検討	9. 各自のテーマによる、制作や研究																				
2. 研究計画書の作成及び提出	10. 各自のテーマによる、制作や研究																				
3. 資料収集・見学等の実施	11. 各自のテーマによる、制作や研究																				
4. 実験等必要に応じて実施	12. 各自のテーマによる、制作や研究																				
5. 各自のテーマによる、制作や研究	13. 作品又はレポートの提出準備																				
6. 各自のテーマによる、制作や研究	14. 研究報告書の作成及び提出																				
7. 各自のテーマによる、制作や研究	15. 作品又はレポート提出 (前期終了時に提出する事)																				
8. 中間チェック																					

教科 No.	3K01	授業科目	染織研究 1	単位数	6単位																
担当教員	内藤英治・ひろいのぶこ・三橋遵・藤野靖子・日下部雅生			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	1 年次																	
<p>【授業目標】 美術, 工芸の歴史と現状を含めた全体像の認識と理解を深めつつ, 染織技法による表現を試みる。作品を介して, 自己と社会の繋がりについても研究する。</p> <p>【授業概要】 作家としての自己表現のため各自が研究計画をたて, 幅広い視野を持って, 技法や表現手段を開拓する。学生, 教員相互の対話のなかで, 研究内容の検討や討論を行う。研究成果を確認するために, 学内や学外で発表の場を持つ。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業概要説明と, 各自の研究計画 (研究制作の計画) の作成。</td> <td>9. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。</td> </tr> <tr> <td>2. ディスカッションを通し, 各自の研究計画を精査し, より緻密なものに練り上げる。</td> <td>10. フィールドワーク 2 (産業分野, 研究機関等の中から時々最適な場所を見学。)</td> </tr> <tr> <td>3. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。</td> <td>11. 第 2 回制作プレゼンテーション (研究制作の進行状況を, 全担当教員の前で報告。)</td> </tr> <tr> <td>4. フィールドワーク 1 (産業分野, 研究機関等の中から時々最適な場所を見学。)</td> <td>12. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。</td> </tr> <tr> <td>5. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。</td> <td>13. 研究制作の発表。</td> </tr> <tr> <td>6. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。</td> <td>14. 発表した作品について, 大学院生全員と全担当教員を交えて合評形式で討論。</td> </tr> <tr> <td>7. 第 1 回制作プレゼンテーション (研究制作の進行状況を, 全担当教員の前で報告。)</td> <td>15. 研究報告書の作成。その結果を元に, 後期の研究制作へ取り組みをスタートさせる。</td> </tr> <tr> <td>8. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 大学院 1, 2 回生全員と全担当教員によって合評形式のディスカッションを行った後, 総合的に評価する。</p> <p>【履修上の注意】 2 週間に一度, 大学院生全員によるミーティングを行い, 出席を重視する。</p> <p>【参考書等】</p> <p>※備考 授業計画は展覧会日程, その他によって変更する場合がある。</p>						1. 授業概要説明と, 各自の研究計画 (研究制作の計画) の作成。	9. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。	2. ディスカッションを通し, 各自の研究計画を精査し, より緻密なものに練り上げる。	10. フィールドワーク 2 (産業分野, 研究機関等の中から時々最適な場所を見学。)	3. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。	11. 第 2 回制作プレゼンテーション (研究制作の進行状況を, 全担当教員の前で報告。)	4. フィールドワーク 1 (産業分野, 研究機関等の中から時々最適な場所を見学。)	12. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。	5. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。	13. 研究制作の発表。	6. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。	14. 発表した作品について, 大学院生全員と全担当教員を交えて合評形式で討論。	7. 第 1 回制作プレゼンテーション (研究制作の進行状況を, 全担当教員の前で報告。)	15. 研究報告書の作成。その結果を元に, 後期の研究制作へ取り組みをスタートさせる。	8. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。	
1. 授業概要説明と, 各自の研究計画 (研究制作の計画) の作成。	9. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。																				
2. ディスカッションを通し, 各自の研究計画を精査し, より緻密なものに練り上げる。	10. フィールドワーク 2 (産業分野, 研究機関等の中から時々最適な場所を見学。)																				
3. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。	11. 第 2 回制作プレゼンテーション (研究制作の進行状況を, 全担当教員の前で報告。)																				
4. フィールドワーク 1 (産業分野, 研究機関等の中から時々最適な場所を見学。)	12. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。																				
5. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。	13. 研究制作の発表。																				
6. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。	14. 発表した作品について, 大学院生全員と全担当教員を交えて合評形式で討論。																				
7. 第 1 回制作プレゼンテーション (研究制作の進行状況を, 全担当教員の前で報告。)	15. 研究報告書の作成。その結果を元に, 後期の研究制作へ取り組みをスタートさせる。																				
8. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。																					

教科 No.	3K02	授業科目	染織研究 2	単位数	6単位																
担当教員	内藤英治・ひろいのぶこ・三橋遵・藤野靖子・日下部雅生			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	1 年次																	
<p>【授業目標】 美術, 工芸の歴史と現状を含めた全体像の認識と理解を深めつつ, 染織技法による表現を試みる。作品を介して, 自己と社会の繋がりについても研究する。</p> <p>【授業概要】 作家としての自己表現のため各自が研究計画をたて, 幅広い視野を持って, 技法や表現手段を開拓する。学生, 教員相互の対話のなかで, 研究内容の検討や討論を行う。研究成果を確認するために, 学内や学外で発表の場を持つ。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業概要説明と, 各自の研究計画 (研究制作 1 の計画) の作成。</td> <td>9. 発表した作品について, 大学院生全員と全担当教員を交えて合評形式で討論。</td> </tr> <tr> <td>2. ディスカッションを通し, 各自の研究計画を精査し, より緻密なものに練り上げる。</td> <td>10. 研究制作 1 の結果を踏まえ, 研究制作 2 の研究計画書を作成。</td> </tr> <tr> <td>3. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。</td> <td>11. 担当教員と研究制作 2 の研究内容を検討, 制作をスタート。</td> </tr> <tr> <td>4. フィールドワーク 3 (産業分野, 研究機関等の中から時々最適な場所を見学。)</td> <td>12. 第 4 回制作プレゼンテーション (研究制作の進行状況を, 全担当教員の前で報告。)</td> </tr> <tr> <td>5. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。</td> <td>13. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。</td> </tr> <tr> <td>6. 第 3 回制作プレゼンテーション (研究制作の進行状況を, 全担当教員の前で報告。)</td> <td>14. 研究制作 2 の制作を完成, 研究報告書を作成。</td> </tr> <tr> <td>7. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。</td> <td>15. 作品展において研究成果を社会に問う。また合評形式での討論も行う。</td> </tr> <tr> <td>8. 研究制作 1 の発表。</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 大学院 1, 2 回生全員と全担当教員によって合評形式のディスカッションを行った後, 総合的に評価する。</p> <p>【履修上の注意】 2 週間に一度, 大学院生全員によるミーティングを行い, 出席を重視する。</p> <p>【参考書等】</p> <p>※備考 授業計画は展覧会日程, その他によって変更する場合がある。</p>						1. 授業概要説明と, 各自の研究計画 (研究制作 1 の計画) の作成。	9. 発表した作品について, 大学院生全員と全担当教員を交えて合評形式で討論。	2. ディスカッションを通し, 各自の研究計画を精査し, より緻密なものに練り上げる。	10. 研究制作 1 の結果を踏まえ, 研究制作 2 の研究計画書を作成。	3. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。	11. 担当教員と研究制作 2 の研究内容を検討, 制作をスタート。	4. フィールドワーク 3 (産業分野, 研究機関等の中から時々最適な場所を見学。)	12. 第 4 回制作プレゼンテーション (研究制作の進行状況を, 全担当教員の前で報告。)	5. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。	13. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。	6. 第 3 回制作プレゼンテーション (研究制作の進行状況を, 全担当教員の前で報告。)	14. 研究制作 2 の制作を完成, 研究報告書を作成。	7. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。	15. 作品展において研究成果を社会に問う。また合評形式での討論も行う。	8. 研究制作 1 の発表。	
1. 授業概要説明と, 各自の研究計画 (研究制作 1 の計画) の作成。	9. 発表した作品について, 大学院生全員と全担当教員を交えて合評形式で討論。																				
2. ディスカッションを通し, 各自の研究計画を精査し, より緻密なものに練り上げる。	10. 研究制作 1 の結果を踏まえ, 研究制作 2 の研究計画書を作成。																				
3. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。	11. 担当教員と研究制作 2 の研究内容を検討, 制作をスタート。																				
4. フィールドワーク 3 (産業分野, 研究機関等の中から時々最適な場所を見学。)	12. 第 4 回制作プレゼンテーション (研究制作の進行状況を, 全担当教員の前で報告。)																				
5. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。	13. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。																				
6. 第 3 回制作プレゼンテーション (研究制作の進行状況を, 全担当教員の前で報告。)	14. 研究制作 2 の制作を完成, 研究報告書を作成。																				
7. 担当教員とのコミュニケーションを通して, 研究制作を行う。	15. 作品展において研究成果を社会に問う。また合評形式での討論も行う。																				
8. 研究制作 1 の発表。																					

教科 No.	3K03	授業科目	染織研究 3	単位数	6単位																
担当教員	内藤英治・ひろいのぶこ・三橋遵・藤野靖子・日下部雅生			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 研究計画に基づきながら、1年次で行ってきた研究をより深く、より広く、他の分野も視野にいれながら、より充実した質の高い創作を目指す。</p> <p>【授業概要】 すでに習得した技法をさらに高め、自己表現を計るため、学内・外の発表の場をとおして研究内容の検討を行い、その進展を促す。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業概要説明と、各自の研究計画（研究制作の計画）の作成。</td> <td>9. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。</td> </tr> <tr> <td>2. ディスカッションを通し、各自の研究計画を精査し、より緻密なものに練り上げる。</td> <td>10. フィールドワーク2（産業分野、研究機関等の中から時々最適な場所を見学。）</td> </tr> <tr> <td>3. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。</td> <td>11. 第2回制作プレゼンテーション（研究制作の進行状況を、全担当教員の前で報告。）</td> </tr> <tr> <td>4. フィールドワーク1（産業分野、研究機関等の中から時々最適な場所を見学。）</td> <td>12. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。</td> </tr> <tr> <td>5. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。</td> <td>13. 研究制作の発表。</td> </tr> <tr> <td>6. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。</td> <td>14. 発表した作品について、大学院生全員と全担当教員を交えて合評形式で討論。</td> </tr> <tr> <td>7. 第1回制作プレゼンテーション（研究制作の進行状況を、全担当教員の前で報告。）</td> <td>15. 研究報告書の作成。その結果を元に、後期の研究制作へ取り組みをスタートさせる。</td> </tr> <tr> <td>8. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 大学院1, 2回生全員と全担当教員によって合評形式のディスカッションを行った後、総合的に評価する。</p> <p>【履修上の注意】 2週間に一度、大学院生全員によるミーティングを行い、出席を重視する。</p> <p>【参考書等】</p> <p>※備考 授業計画は展覧会日程、その他によって変更する場合がある。</p>						1. 授業概要説明と、各自の研究計画（研究制作の計画）の作成。	9. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。	2. ディスカッションを通し、各自の研究計画を精査し、より緻密なものに練り上げる。	10. フィールドワーク2（産業分野、研究機関等の中から時々最適な場所を見学。）	3. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。	11. 第2回制作プレゼンテーション（研究制作の進行状況を、全担当教員の前で報告。）	4. フィールドワーク1（産業分野、研究機関等の中から時々最適な場所を見学。）	12. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。	5. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。	13. 研究制作の発表。	6. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。	14. 発表した作品について、大学院生全員と全担当教員を交えて合評形式で討論。	7. 第1回制作プレゼンテーション（研究制作の進行状況を、全担当教員の前で報告。）	15. 研究報告書の作成。その結果を元に、後期の研究制作へ取り組みをスタートさせる。	8. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。	
1. 授業概要説明と、各自の研究計画（研究制作の計画）の作成。	9. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。																				
2. ディスカッションを通し、各自の研究計画を精査し、より緻密なものに練り上げる。	10. フィールドワーク2（産業分野、研究機関等の中から時々最適な場所を見学。）																				
3. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。	11. 第2回制作プレゼンテーション（研究制作の進行状況を、全担当教員の前で報告。）																				
4. フィールドワーク1（産業分野、研究機関等の中から時々最適な場所を見学。）	12. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。																				
5. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。	13. 研究制作の発表。																				
6. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。	14. 発表した作品について、大学院生全員と全担当教員を交えて合評形式で討論。																				
7. 第1回制作プレゼンテーション（研究制作の進行状況を、全担当教員の前で報告。）	15. 研究報告書の作成。その結果を元に、後期の研究制作へ取り組みをスタートさせる。																				
8. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。																					

教科 No.	3K04	授業科目	染織研究 4	単位数	6単位																
担当教員	内藤英治・ひろいのぶこ・三橋遵・藤野靖子・日下部雅生			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 美術、工芸の歴史と現状を含めた全体像の認識と理解を深めつつ、染織技法による表現を試みる。作品を介して、自己と社会の繋がりについても研究する。</p> <p>【授業概要】 作家としての自己表現のため各自が研究計画をたて、幅広い視野を持って、技法や表現手段を開拓する。学生、教員相互の対話のなかで、研究内容の検討や討論を通して指導を行う。研究成果を確認するために、学内や学外における発表の場を持つ。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業計画は展覧会日程、その他によって変更する場合がある。</td> <td>9. 発表した作品について、大学院生全員と全担当教員を交えて合評形式で討論。</td> </tr> <tr> <td>2. ディスカッションを通し、各自の研究計画を精査し、より緻密なものに練り上げる。</td> <td>10. 研究制作1の結果を踏まえ、研究制作2の研究計画書を作成。</td> </tr> <tr> <td>3. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。</td> <td>11. 担当教員と研究制作2の研究内容を検討、制作をスタート。</td> </tr> <tr> <td>4. フィールドワーク3（産業分野、研究機関等の中から時々最適な場所を見学。）</td> <td>12. 第4回制作プレゼンテーション（研究制作の進行状況を、全担当教員の前で報告。）</td> </tr> <tr> <td>5. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。</td> <td>13. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。</td> </tr> <tr> <td>6. 第3回制作プレゼンテーション（研究制作の進行状況を、全担当教員の前で報告。）</td> <td>14. 研究制作2の制作を完成、研究報告書を作成。</td> </tr> <tr> <td>7. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。</td> <td>15. 作品展において研究成果を社会に問う。また合評形式での討論も行う。</td> </tr> <tr> <td>8. 研究制作1の発表。</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 大学院1, 2回生全員と全担当教員によって合評形式のディスカッションを行った後、総合的に評価する。</p> <p>【履修上の注意】 2週間に一度、大学院生全員によるミーティングを行い、出席を重視する。</p> <p>【参考書等】</p> <p>※備考 授業計画は展覧会日程、その他によって変更する場合がある。</p>						1. 授業計画は展覧会日程、その他によって変更する場合がある。	9. 発表した作品について、大学院生全員と全担当教員を交えて合評形式で討論。	2. ディスカッションを通し、各自の研究計画を精査し、より緻密なものに練り上げる。	10. 研究制作1の結果を踏まえ、研究制作2の研究計画書を作成。	3. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。	11. 担当教員と研究制作2の研究内容を検討、制作をスタート。	4. フィールドワーク3（産業分野、研究機関等の中から時々最適な場所を見学。）	12. 第4回制作プレゼンテーション（研究制作の進行状況を、全担当教員の前で報告。）	5. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。	13. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。	6. 第3回制作プレゼンテーション（研究制作の進行状況を、全担当教員の前で報告。）	14. 研究制作2の制作を完成、研究報告書を作成。	7. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。	15. 作品展において研究成果を社会に問う。また合評形式での討論も行う。	8. 研究制作1の発表。	
1. 授業計画は展覧会日程、その他によって変更する場合がある。	9. 発表した作品について、大学院生全員と全担当教員を交えて合評形式で討論。																				
2. ディスカッションを通し、各自の研究計画を精査し、より緻密なものに練り上げる。	10. 研究制作1の結果を踏まえ、研究制作2の研究計画書を作成。																				
3. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。	11. 担当教員と研究制作2の研究内容を検討、制作をスタート。																				
4. フィールドワーク3（産業分野、研究機関等の中から時々最適な場所を見学。）	12. 第4回制作プレゼンテーション（研究制作の進行状況を、全担当教員の前で報告。）																				
5. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。	13. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。																				
6. 第3回制作プレゼンテーション（研究制作の進行状況を、全担当教員の前で報告。）	14. 研究制作2の制作を完成、研究報告書を作成。																				
7. 担当教員とのコミュニケーションを通して、研究制作を行う。	15. 作品展において研究成果を社会に問う。また合評形式での討論も行う。																				
8. 研究制作1の発表。																					

教科 No.	3K05	授業科目	特殊演習 1 (染織)	単位数	1単位		
担当教員	内藤英治・ひろいのぶこ・三橋遵・藤野靖子・日下部雅生			開講学期	前期		
履修条件			履修学年・専攻等	1年次			
<p>【授業目標】 染織研究を行うにあたり、表現を深め広げる為に各自が専門分野内外のテーマを取り上げ、研究する。</p> <p>【授業概要】 取り上げたテーマについて担当教員と協議しながら、研究、調査、資料収集、実験、分類などを行い、レポート等の形にまとめる。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業概要説明と、各自の特殊演習テーマを決定し、研究計画を作成する。 2. 担当教員との討議を通し、各自の研究テーマを精査し、より緻密なものに練り上げる。 3. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 4. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 5. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 6. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 7. 研究内容の中間報告。担当教員との討議を通して研究の進展を図る。 8. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 </td> <td style="vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 9. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 10. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 11. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 12. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 13. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 14. 研究の報告、担当教員との討議を通して研究成果を総括する。 15. 研究レポートの作成、提出 </td> </tr> </table> <p>【評価方法】 提出されたレポートなどを、担当教員が総合的に評価する。</p> <p>【履修上の注意】 授業内容は展覧会日程、その他によって変更する場合がある。</p> <p>【参考書等】 必要な場合は適宜指示する。 ※備考 授業計画は展覧会日程、その他によって変更する場合がある。</p>						<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業概要説明と、各自の特殊演習テーマを決定し、研究計画を作成する。 2. 担当教員との討議を通し、各自の研究テーマを精査し、より緻密なものに練り上げる。 3. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 4. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 5. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 6. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 7. 研究内容の中間報告。担当教員との討議を通して研究の進展を図る。 8. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> 9. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 10. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 11. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 12. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 13. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 14. 研究の報告、担当教員との討議を通して研究成果を総括する。 15. 研究レポートの作成、提出
<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業概要説明と、各自の特殊演習テーマを決定し、研究計画を作成する。 2. 担当教員との討議を通し、各自の研究テーマを精査し、より緻密なものに練り上げる。 3. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 4. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 5. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 6. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 7. 研究内容の中間報告。担当教員との討議を通して研究の進展を図る。 8. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> 9. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 10. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 11. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 12. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 13. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 14. 研究の報告、担当教員との討議を通して研究成果を総括する。 15. 研究レポートの作成、提出 						

教科 No.	3K06	授業科目	特殊演習 2 (染織)	単位数	1単位		
担当教員	内藤英治・ひろいのぶこ・三橋遵・藤野靖子・日下部雅生			開講学期	後期		
履修条件			履修学年・専攻等	1年次			
<p>【授業目標】 染織研究を行うにあたり、表現を深め広げる為に各自が専門分野内外のテーマを取り上げ、研究する。</p> <p>【授業概要】 取り上げたテーマについて担当教員と協議しながら、研究、調査、資料収集、実験、分類などを行い、レポート等の形にまとめる。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各自の特殊演習テーマを決定し、研究計画を作成する。 2. 担当教員との討議を通し、各自の研究テーマを精査し、より緻密なものに練り上げる。 3. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 4. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 5. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 6. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 7. 研究内容の中間報告。担当教員との討議を通して研究の進化・深化を図る。 8. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 </td> <td style="vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 9. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 10. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 11. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 12. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 13. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 14. 研究の報告、担当教員との討議を通して研究成果を総括する。 15. 研究レポートの作成、提出 </td> </tr> </table> <p>【評価方法】 提出されたレポートなどを、担当教員が総合的に評価する。</p> <p>【履修上の注意】 授業内容は展覧会日程、その他によって変更する場合がある。</p> <p>【参考書等】 必要な場合は適宜指示する。 ※備考 授業計画は展覧会日程、その他によって変更する場合がある。</p>						<ol style="list-style-type: none"> 1. 各自の特殊演習テーマを決定し、研究計画を作成する。 2. 担当教員との討議を通し、各自の研究テーマを精査し、より緻密なものに練り上げる。 3. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 4. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 5. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 6. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 7. 研究内容の中間報告。担当教員との討議を通して研究の進化・深化を図る。 8. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> 9. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 10. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 11. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 12. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 13. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 14. 研究の報告、担当教員との討議を通して研究成果を総括する。 15. 研究レポートの作成、提出
<ol style="list-style-type: none"> 1. 各自の特殊演習テーマを決定し、研究計画を作成する。 2. 担当教員との討議を通し、各自の研究テーマを精査し、より緻密なものに練り上げる。 3. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 4. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 5. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 6. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 7. 研究内容の中間報告。担当教員との討議を通して研究の進化・深化を図る。 8. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> 9. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 10. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 11. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 12. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 13. 担当教員と協議しながら、テーマについて研究、調査、資料収集、実験、分類を行う。 14. 研究の報告、担当教員との討議を通して研究成果を総括する。 15. 研究レポートの作成、提出 						

教科 No.	3K07	授業科目	特殊演習 3 (染織)	単位数	1単位																
担当教員	内藤英治・ひろいのぶこ・三橋遵・藤野靖子・日下部雅生			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 工芸専攻の学生による専攻細目を超えた議論や交流を通して作品制作における課題や共通の問題を見だし、各自の創作における思考を深めることを目標とする。</p> <p>【授業概要】 工芸専攻合同で演習をおこなう。演習の方法や内容を話し合うところから始め、学生の自主性を重視してディスカッションを中心とした演習をおこない、最後に全員を対象とした発表をおこなう。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 合同ガイダンス</td> <td>9. 発表準備</td> </tr> <tr> <td>2. 演習内容についてのディスカッション</td> <td>10. 順次発表と意見交換</td> </tr> <tr> <td>3. 研究計画書の作成及び提出</td> <td>11. 順次発表と意見交換</td> </tr> <tr> <td>4. 演習資料の収集及び作成</td> <td>12. 順次発表と意見交換</td> </tr> <tr> <td>5. 演習資料の収集及び作成</td> <td>13. 順次発表と意見交換</td> </tr> <tr> <td>6. 演習資料の収集及び作成</td> <td>14. まとめ、レポートの作成、提出</td> </tr> <tr> <td>7. 発表準備</td> <td>15. 研究報告書の作成及び提出</td> </tr> <tr> <td>8. 発表準備</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 ディスカッション、発表、実験作品、提出されたレポートなどにより、担当教員が総合的に評価する。</p> <p>【履修上の注意】 特に、各自の別テーマに変更する必要がある場合は担当教員に相談すること。</p> <p>【参考書等】 学生の研究内容に応じて適宜指定・紹介する。</p>						1. 合同ガイダンス	9. 発表準備	2. 演習内容についてのディスカッション	10. 順次発表と意見交換	3. 研究計画書の作成及び提出	11. 順次発表と意見交換	4. 演習資料の収集及び作成	12. 順次発表と意見交換	5. 演習資料の収集及び作成	13. 順次発表と意見交換	6. 演習資料の収集及び作成	14. まとめ、レポートの作成、提出	7. 発表準備	15. 研究報告書の作成及び提出	8. 発表準備	
1. 合同ガイダンス	9. 発表準備																				
2. 演習内容についてのディスカッション	10. 順次発表と意見交換																				
3. 研究計画書の作成及び提出	11. 順次発表と意見交換																				
4. 演習資料の収集及び作成	12. 順次発表と意見交換																				
5. 演習資料の収集及び作成	13. 順次発表と意見交換																				
6. 演習資料の収集及び作成	14. まとめ、レポートの作成、提出																				
7. 発表準備	15. 研究報告書の作成及び提出																				
8. 発表準備																					

教科 No.	3K08	授業科目	特殊演習 4 (染織)	単位数	1単位																
担当教員	内藤英治 ひろいのぶこ 三橋 遵 藤野靖子 日下部雅生			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 染織研究を行うにあたり、表現を深め広げる為に、各自が専門分野内外のテーマを取り上げ、研究する。1回生で選んだテーマ以外の研究を行う。</p> <p>【授業概要】 取り上げたテーマについて、担当教員と種々の協議をしながら、調査、資料収集、実験、分類などを行い、レポート等の形にまとめる。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業概要の説明、テーマ設定、演習計画の作成</td> <td>9. テーマについての研究、調査、資料収集、実験、分類</td> </tr> <tr> <td>2. 担当教員との討議を通して各自が研究テーマを精査、より緻密なものに練り上げる</td> <td>10. テーマについての研究、調査、資料収集、実験、分類</td> </tr> <tr> <td>3. テーマについての研究、調査、資料収集、実験、分類</td> <td>11. 第6回リレー講義(担当教員が、それぞれの講義を行う)</td> </tr> <tr> <td>4. 第4回リレー講義(担当教員が、それぞれの講義を行う)</td> <td>12. テーマについての研究、調査、資料収集、実験、分類</td> </tr> <tr> <td>5. テーマについての研究、調査、資料収集、実験、分類</td> <td>13. テーマについての研究、調査、資料収集、実験、分類</td> </tr> <tr> <td>6. テーマについての研究、調査、資料収集、実験、分類</td> <td>14. 研究の報告、担当教員と研究成果を総括</td> </tr> <tr> <td>7. 研究内容の中間報告、担当教員との討議を通して、研究の進化・深化を図る</td> <td>15. 研究レポートの作成、提出</td> </tr> <tr> <td>8. 第5回リレー講義(担当教員が、それぞれの講義を行う)</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 提出されたレポートなどにより、担当教員が総合的に評価する。</p> <p>【履修上の注意】 授業内容は展覧会日程、その他によって変更する場合がある。</p> <p>【参考書等】 学生の研究内容に応じて適宜指定・紹介する。</p> <p>※備考 セメスターを通して担当の教員との協議を重ね、演習を進める。</p>						1. 授業概要の説明、テーマ設定、演習計画の作成	9. テーマについての研究、調査、資料収集、実験、分類	2. 担当教員との討議を通して各自が研究テーマを精査、より緻密なものに練り上げる	10. テーマについての研究、調査、資料収集、実験、分類	3. テーマについての研究、調査、資料収集、実験、分類	11. 第6回リレー講義(担当教員が、それぞれの講義を行う)	4. 第4回リレー講義(担当教員が、それぞれの講義を行う)	12. テーマについての研究、調査、資料収集、実験、分類	5. テーマについての研究、調査、資料収集、実験、分類	13. テーマについての研究、調査、資料収集、実験、分類	6. テーマについての研究、調査、資料収集、実験、分類	14. 研究の報告、担当教員と研究成果を総括	7. 研究内容の中間報告、担当教員との討議を通して、研究の進化・深化を図る	15. 研究レポートの作成、提出	8. 第5回リレー講義(担当教員が、それぞれの講義を行う)	
1. 授業概要の説明、テーマ設定、演習計画の作成	9. テーマについての研究、調査、資料収集、実験、分類																				
2. 担当教員との討議を通して各自が研究テーマを精査、より緻密なものに練り上げる	10. テーマについての研究、調査、資料収集、実験、分類																				
3. テーマについての研究、調査、資料収集、実験、分類	11. 第6回リレー講義(担当教員が、それぞれの講義を行う)																				
4. 第4回リレー講義(担当教員が、それぞれの講義を行う)	12. テーマについての研究、調査、資料収集、実験、分類																				
5. テーマについての研究、調査、資料収集、実験、分類	13. テーマについての研究、調査、資料収集、実験、分類																				
6. テーマについての研究、調査、資料収集、実験、分類	14. 研究の報告、担当教員と研究成果を総括																				
7. 研究内容の中間報告、担当教員との討議を通して、研究の進化・深化を図る	15. 研究レポートの作成、提出																				
8. 第5回リレー講義(担当教員が、それぞれの講義を行う)																					

教科 No.	3L01	授業科目	合同演習 1 (芸術学)	単位数	2単位
担当教員	指導教員全員			開講学期	前期
履修条件			履修学年・専攻等	1年次	
<p>【授業目標】 研究成果の発表報告と討論を通じて、研究内容の点検をおこない、次の研究ステップに進めるようにする。</p> <p>【授業概要】 教員、院生が全員参加するなか、研究成果を発表し、それについて全員で質疑応答をおこなう。</p> <p>【授業内容】 この演習では、毎週ではないが、発表日を設定し、集中的に発表会を行う。各自1時間程度の発表時間とし、発表後全員による質疑応答の時間を設ける。 この演習は1回生が対象であり、各院生は、 第一段階として、学部卒業論文等それまでの研究内容との関連の上で、以後の研究方針やテーマ、方法などと関係させつつ、最初の研究成果を発表する。 第二段階として、関連領域に幅広く視野を広げつつ、設定した方針、テーマに沿った研究成果の発表を行う。 こうした発表を繰り返して研究成果を積み重ねるとともに、各自のテーマの修正や捉え直しの機会とする。 発表に際して、発表ごとのサブ・テーマ、内容について各指導担当教員と十分話し合い、必要に応じて発表前に講評を受ける。</p> <p>【評価方法】 出席率、発表内容の到達度、質疑に対する応答、他の発表者に対する質疑の内容や積極度を総合的に評価する。</p> <p>【履修上の注意】 修士論文の構成を十分考慮した段階的な研究成果の発表となるように、各自独自の研究の積み重ねに努力すること。</p> <p>【参考書等】 必要に応じて指示する。</p>					

教科 No.	3L02	授業科目	合同演習 2 (芸術学)	単位数	2単位
担当教員	指導教員全員			開講学期	後期
履修条件			履修学年・専攻等	1年次	
<p>【授業目標】 研究成果の発表報告と討論を通じて、研究内容の点検をおこない、次の研究ステップに進めるようにする。</p> <p>【授業概要】 教員、院生が全員参加するなか、研究成果を発表し、それについて全員で質疑応答をおこなう。</p> <p>【授業内容】 この演習では、毎週ではないが、発表日を設定し、集中的に発表会を行う。各自1時間程度の発表時間とし、発表後全員による質疑応答の時間を設ける。 この演習は1回生が対象であり、各院生は、 第一段階として、学部卒業論文等それまでの研究内容との関連の上で、以後の研究方針やテーマ、方法などと関係させつつ、最初の研究成果を発表する。 第二段階として、関連領域に幅広く視野を広げつつ、設定した方針、テーマに沿った研究成果の発表を行う。 こうした発表を繰り返して研究成果を積み重ねるとともに、各自のテーマの修正や捉え直しの機会とする。 発表に際して、発表ごとのサブ・テーマ、内容について各指導担当教員と十分話し合い、必要に応じて発表前に講評を受ける。</p> <p>【評価方法】 出席率、発表内容の到達度、質疑に対する応答、他の発表者に対する質疑の内容や積極度を総合的に評価する。</p> <p>【履修上の注意】 修士論文の構成を十分考慮した段階的な研究成果の発表となるように、各自独自の研究の積み重ねに努力すること。</p> <p>【参考書等】 必要に応じて指示する。</p>					

教科 No.	3L03	授業科目	合同演習 3 (芸術学)	単位数	2単位
担当教員	指導教員全員			開講学期	前期
履修条件			履修学年・専攻等	2年次	
<p>【授業目標】 研究成果の発表報告と討論を通じて、研究内容の点検をおこない、次の研究ステップに進めるようにする。</p> <p>【授業概要】 教員、院生が全員参加するなか、研究成果を発表し、それについて全員で質疑応答をおこなう。</p> <p>【授業内容】 この演習では、毎週ではないが、発表日を設定し、集中的に発表会を行う。各自1時間程度の発表時間とし、発表後全員による質疑応答の時間を設ける。 この演習は2回生が対象であり、各院生は、 第一段階として、修士論文の全体構成をかためつつ、中心となる研究内容を積み重ねてその概要を発表する。 第二段階として、修士論文を作成しつつ、まとめとなる、あるいは補足的な発表を行う。 こうした発表を繰り返して、論点を明確化し、不十分な部分を補完しつつ、修士論文を完成させていく機会とする。 発表に際して、発表ごとのサブ・テーマ、内容について各指導担当教員と十分話し合い、必要に応じて発表前に講評を受ける。</p> <p>【評価方法】 出席率、発表内容の到達度、質疑に対する応答、他の発表者に対する質疑の内容や積極度を総合的に評価する。</p> <p>【履修上の注意】 修士論文の構成を十分考慮した段階的な研究成果の発表となるように、各自独自の研究の積み重ねに努力すること。</p> <p>【参考書等】 必要に応じて指示する。</p>					

教科 No.	3L04	授業科目	合同演習 4 (芸術学)	単位数	2単位
担当教員	指導教員全員			開講学期	後期
履修条件			履修学年・専攻等	2年次	
<p>【授業目標】 研究成果の発表報告と討論を通じて、研究内容の点検をおこない、次の研究ステップに進めるようにする。</p> <p>【授業概要】 教員、院生が全員参加するなか、研究成果を発表し、それについて全員で質疑応答をおこなう。</p> <p>【授業内容】 この演習では、毎週ではないが、発表日を設定し、集中的に発表会を行う。各自1時間程度の発表時間とし、発表後全員による質疑応答の時間を設ける。 この演習は2回生が対象であり、各院生は、 第一段階として、修士論文の全体構成をかためつつ、中心となる研究内容を積み重ねてその概要を発表する。 第二段階として、修士論文を作成しつつ、まとめとなる、あるいは補足的な発表を行う。 こうした発表を繰り返して、論点を明確化し、不十分な部分を補完しつつ、修士論文を完成させていく機会とする。 発表に際して、発表ごとのサブ・テーマ、内容について各指導担当教員と十分話し合い、必要に応じて発表前に講評を受ける。</p> <p>【評価方法】 出席率、発表内容の到達度、質疑に対する応答、他の発表者に対する質疑の内容や積極度を総合的に評価する。</p> <p>【履修上の注意】 修士論文の構成を十分考慮した段階的な研究成果の発表となるように、各自独自の研究の積み重ねに努力すること。</p> <p>【参考書等】 必要に応じて指示する。</p>					

教科 No.	3L05	授業科目	特殊演習 1 (芸術学)	単位数	2単位
担当教員	指導教員全員			開講学期	前期
履修条件			履修学年・専攻等	1年次	
<p>【授業目標】 修士論文を念頭に置きつつ、研究方針、テーマ、方法論について実践的に検討し、確立していくことを目的とする。1回生なので、特に幅広い分野に視野を広げることを心がける。</p> <p>【授業概要】 研究の各段階において、担当教員に成果を報告し、対話を重ねる。演習計画は各指導担当教員と相談の上で、内容や方法を検討し、実践していくことになる。授業内容はその際の基本的枠組みである。</p> <p>【授業内容】 1. 各指導担当教員と研究方針について十分な話し合いを行う。 2. その方針に沿って、1学期中に成果が期待できるテーマを設定する。 3. テーマに応じた研究方法を工夫する。たとえばフィールド調査、原書や文献資料の講読、討論など。 4. 部分的にまとまった段階において、何回か指導担当教員に対して発表するか、レポートを提出し、講評を受ける。</p> <p>【評価方法】 期末レポートあるいは演習中の発表、レポート、質疑応答、討論などの内容、到達度を総合的に評価する。</p> <p>【履修上の注意】 この演習は研究のための時間であるとともに、修士論文指導上のチェックの機会でもある。そのため日頃の研究の積み重ねが必要条件となる。</p> <p>【教科書】 必要があれば各指導担当教員が教示する。</p>					

教科 No.	3L06	授業科目	特殊演習 2 (芸術学)	単位数	2単位
担当教員	指導教員全員			開講学期	後期
履修条件			履修学年・専攻等	1年次	
<p>【授業目標】 修士論文を念頭に置きつつ、研究方針、テーマ、方法論について実践的に検討し、確立していくことを目的とする。1回生なので、特に幅広い分野に視野を広げることを心がける。</p> <p>【授業概要】 研究の各段階において、担当教員に成果を報告し、対話を重ねる。演習計画は各指導担当教員と相談の上で、内容や方法を検討し、実践していくことになる。授業内容はその際の基本的枠組みである。</p> <p>【授業内容】 1. 各指導担当教員と研究方針について十分な話し合いを行う。 2. その方針に沿って、1学期中に成果が期待できるテーマを設定する。 3. テーマに応じた研究方法を工夫する。たとえばフィールド調査、原書や文献資料の講読、討論など。 4. 部分的にまとまった段階において、何回か指導担当教員に対して発表するか、レポートを提出し、講評を受ける。</p> <p>【評価方法】 期末レポートあるいは演習中の発表、レポート、質疑応答、討論などの内容、到達度を総合的に評価する。</p> <p>【履修上の注意】 この演習は研究のための時間であるとともに、修士論文指導上のチェックの機会でもある。そのため日頃の研究の積み重ねが必要条件となる。</p> <p>【教科書】 必要があれば各指導担当教員が教示する。</p>					

教科 No.	3L07	授業科目	特殊演習 3 (芸術学)	単位数	2単位
担当教員	指導教員全員			開講学期	前期
履修条件			履修学年・専攻等	2年次	
<p>【授業目標】 修士論文に向けての過程的研究のための演習である。2回生なので、修士論文の本格的な構成に向けて、必要な研究を積み重ねること、および問題点について各指導担当教員と対話、討論をし、研究の不十分なところを突き止め、補完し、修士論文を完成させていくための機会になることを目的とする。</p> <p>【授業概要】 研究の各段階において、担当教員に成果を報告し、対話を重ねる。演習計画は各指導担当教員と相談の上で、内容や方法を検討し、実践していくことになる。授業内容はその際の基本的枠組みである。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各指導担当教員と研究方針について十分な話し合いを行う。 2. その方針に沿って、1学期中に成果が期待できるテーマを設定する。 3. テーマに応じた研究方法を工夫する。たとえばフィールド調査、原書や文献資料の講読、討論など。 4. 部分的にまとまった段階において、何回か指導担当教員に対して発表するか、レポートを提出し、講評を受ける。 <p>【評価方法】 期末レポートあるいは演習中の発表、レポート、質疑応答、討論などの内容、到達度を総合的に評価する。</p> <p>【履修上の注意】 この演習は研究のための時間であるとともに、修士論文指導上のチェックの機会でもある。そのため日頃の研究の積み重ねが必要条件となる。</p> <p>【教科書】 必要があれば各指導担当教員が教示する。</p>					

教科 No.	3L08	授業科目	特殊演習 4 (芸術学)	単位数	2単位
担当教員	指導教員全員			開講学期	後期
履修条件			履修学年・専攻等	2年次	
<p>【授業目標】 修士論文に向けての過程的研究のための演習である。2回生なので、修士論文の本格的な構成に向けて、必要な研究を積み重ねること、および問題点について各指導担当教員と対話、討論をし、研究の不十分なところを突き止め、補完し、修士論文を完成させていくための機会になることを目的とする。</p> <p>【授業概要】 研究の各段階において、担当教員に成果を報告し、対話を重ねる。演習計画は各指導担当教員と相談の上で、内容や方法を検討し、実践していくことになる。授業内容はその際の基本的枠組みである。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各指導担当教員と研究方針について十分な話し合いを行う。 2. その方針に沿って、1学期中に成果が期待できるテーマを設定する。 3. テーマに応じた研究方法を工夫する。たとえばフィールド調査、原書や文献資料の講読、討論など。 4. 部分的にまとまった段階において、何回か指導担当教員に対して発表するか、レポートを提出し、講評を受ける。 <p>【評価方法】 期末レポートあるいは演習中の発表、レポート、質疑応答、討論などの内容、到達度を総合的に評価する。</p> <p>【履修上の注意】 この演習は研究のための時間であるとともに、修士論文指導上のチェックの機会でもある。そのため日頃の研究の積み重ねが必要条件となる。</p> <p>【教科書】 必要があれば各指導担当教員が教示する。</p>					

教科 No.	3N01	授業科目	保存修復研究 1	単位数	4単位																
担当教員	宮本道夫・高林弘実			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次																	
【授業目標】 文献や資料の検索方法を学び、先行研究を押さえて論点を出し、自分の主題を提起できるようにする。																					
【授業概要】 自分の指向する主題発見の為のカリキュラムを組む。さらに他組織との交流、体験実習を通じて、多様な研究スタイルを知り、専門実習を広く深める。																					
【授業内容】																					
<table border="0"> <tr> <td>1. 主題発見の為の問題提示をする</td> <td>9. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> </tr> <tr> <td>2. 前期研究計画書作成と提出</td> <td>10. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> </tr> <tr> <td>3. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> <td>11. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> </tr> <tr> <td>4. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> <td>12. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> </tr> <tr> <td>5. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> <td>13. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> </tr> <tr> <td>6. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> <td>14. 前期の制作等についての報告と批評</td> </tr> <tr> <td>7. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> <td>15. 研究報告書提出</td> </tr> <tr> <td>8. 前期の制作等についての中間報告と批評</td> <td></td> </tr> </table>						1. 主題発見の為の問題提示をする	9. 研究計画書に基づいた模写制作指導	2. 前期研究計画書作成と提出	10. 研究計画書に基づいた模写制作指導	3. 研究計画書に基づいた模写制作指導	11. 研究計画書に基づいた模写制作指導	4. 研究計画書に基づいた模写制作指導	12. 研究計画書に基づいた模写制作指導	5. 研究計画書に基づいた模写制作指導	13. 研究計画書に基づいた模写制作指導	6. 研究計画書に基づいた模写制作指導	14. 前期の制作等についての報告と批評	7. 研究計画書に基づいた模写制作指導	15. 研究報告書提出	8. 前期の制作等についての中間報告と批評	
1. 主題発見の為の問題提示をする	9. 研究計画書に基づいた模写制作指導																				
2. 前期研究計画書作成と提出	10. 研究計画書に基づいた模写制作指導																				
3. 研究計画書に基づいた模写制作指導	11. 研究計画書に基づいた模写制作指導																				
4. 研究計画書に基づいた模写制作指導	12. 研究計画書に基づいた模写制作指導																				
5. 研究計画書に基づいた模写制作指導	13. 研究計画書に基づいた模写制作指導																				
6. 研究計画書に基づいた模写制作指導	14. 前期の制作等についての報告と批評																				
7. 研究計画書に基づいた模写制作指導	15. 研究報告書提出																				
8. 前期の制作等についての中間報告と批評																					
【評価方法】 専門演習（模写制作、保存修復実習）の評価に重点を置く。習熟度とそのプロセスを含む。レポート提出。																					
【履修上の注意】 模写技法の問題点とその解決法等、各プロセスの詳細な記録を作成すること。																					

教科 No.	3N02	授業科目	保存修復研究 2	単位数	4単位																
担当教員	宮本道夫・高林弘実			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次																	
【授業目標】 文献や資料の検索方法を学び、先行研究を押さえて論点を出し、自分の主題を提起できるようにする。																					
【授業概要】 自分の指向する主題発見の為のカリキュラムを組む。さらに他組織との交流、体験実習を通じて、多様な研究スタイルを知り、専門実習を広く深める。																					
【授業内容】																					
<table border="0"> <tr> <td>1. 主題発見の為の問題提示をする</td> <td>9. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> </tr> <tr> <td>2. 後期研究計画書作成と提出</td> <td>10. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> </tr> <tr> <td>3. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> <td>11. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> </tr> <tr> <td>4. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> <td>12. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> </tr> <tr> <td>5. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> <td>13. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> </tr> <tr> <td>6. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> <td>14. 後期の制作等についての報告と批評</td> </tr> <tr> <td>7. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> <td>15. 研究報告書提出</td> </tr> <tr> <td>8. 後期の制作等についての中間報告と批評</td> <td></td> </tr> </table>						1. 主題発見の為の問題提示をする	9. 研究計画書に基づいた模写制作指導	2. 後期研究計画書作成と提出	10. 研究計画書に基づいた模写制作指導	3. 研究計画書に基づいた模写制作指導	11. 研究計画書に基づいた模写制作指導	4. 研究計画書に基づいた模写制作指導	12. 研究計画書に基づいた模写制作指導	5. 研究計画書に基づいた模写制作指導	13. 研究計画書に基づいた模写制作指導	6. 研究計画書に基づいた模写制作指導	14. 後期の制作等についての報告と批評	7. 研究計画書に基づいた模写制作指導	15. 研究報告書提出	8. 後期の制作等についての中間報告と批評	
1. 主題発見の為の問題提示をする	9. 研究計画書に基づいた模写制作指導																				
2. 後期研究計画書作成と提出	10. 研究計画書に基づいた模写制作指導																				
3. 研究計画書に基づいた模写制作指導	11. 研究計画書に基づいた模写制作指導																				
4. 研究計画書に基づいた模写制作指導	12. 研究計画書に基づいた模写制作指導																				
5. 研究計画書に基づいた模写制作指導	13. 研究計画書に基づいた模写制作指導																				
6. 研究計画書に基づいた模写制作指導	14. 後期の制作等についての報告と批評																				
7. 研究計画書に基づいた模写制作指導	15. 研究報告書提出																				
8. 後期の制作等についての中間報告と批評																					
【評価方法】 専門演習（模写制作、保存修復実習）の評価に重点を置く。習熟度とそのプロセスを含む。レポート提出。																					
【履修上の注意】 模写技法の問題点とその解決法等、各プロセスの詳細な記録を作成すること。																					

教科 No.	3N03	授業科目	保存修復研究 3	単位数	4単位																
担当教員	宮本道夫・高林弘実			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 一つの主題を丹念に追求する自主学習能力を形成することを目標とする。</p> <p>【授業概要】 習得した知識の確認と応用力をたかめ、専門演習を深める。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 主題発見の為の問題提示をする</td> <td>9. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> </tr> <tr> <td>2. 前期研究計画書作成と提出</td> <td>10. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> </tr> <tr> <td>3. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> <td>11. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> </tr> <tr> <td>4. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> <td>12. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> </tr> <tr> <td>5. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> <td>13. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> </tr> <tr> <td>6. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> <td>14. 前期の制作等についての報告と批評</td> </tr> <tr> <td>7. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> <td>15. 研究報告書提出</td> </tr> <tr> <td>8. 前期の制作等についての中間報告と批評</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 専門演習（模写制作、保存修復実習）の評価に重点を置く。習熟度とそのプロセスを含む。レポート提出。</p> <p>【履修上の注意】 模写技法の問題点とその解決法等、各プロセスの詳細な記録を作成すること。</p>						1. 主題発見の為の問題提示をする	9. 研究計画書に基づいた模写制作指導	2. 前期研究計画書作成と提出	10. 研究計画書に基づいた模写制作指導	3. 研究計画書に基づいた模写制作指導	11. 研究計画書に基づいた模写制作指導	4. 研究計画書に基づいた模写制作指導	12. 研究計画書に基づいた模写制作指導	5. 研究計画書に基づいた模写制作指導	13. 研究計画書に基づいた模写制作指導	6. 研究計画書に基づいた模写制作指導	14. 前期の制作等についての報告と批評	7. 研究計画書に基づいた模写制作指導	15. 研究報告書提出	8. 前期の制作等についての中間報告と批評	
1. 主題発見の為の問題提示をする	9. 研究計画書に基づいた模写制作指導																				
2. 前期研究計画書作成と提出	10. 研究計画書に基づいた模写制作指導																				
3. 研究計画書に基づいた模写制作指導	11. 研究計画書に基づいた模写制作指導																				
4. 研究計画書に基づいた模写制作指導	12. 研究計画書に基づいた模写制作指導																				
5. 研究計画書に基づいた模写制作指導	13. 研究計画書に基づいた模写制作指導																				
6. 研究計画書に基づいた模写制作指導	14. 前期の制作等についての報告と批評																				
7. 研究計画書に基づいた模写制作指導	15. 研究報告書提出																				
8. 前期の制作等についての中間報告と批評																					

教科 No.	3N04	授業科目	保存修復研究 4	単位数	4単位																
担当教員	宮本道夫・高林弘実			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 一つの主題を丹念に追求する自主学習能力を形成することを目標とする。</p> <p>【授業概要】 習得した知識の確認と応用力をたかめ、専門演習を深める。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 主題発見の為の問題提示をする</td> <td>9. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> </tr> <tr> <td>2. 後期研究計画書作成と提出</td> <td>10. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> </tr> <tr> <td>3. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> <td>11. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> </tr> <tr> <td>4. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> <td>12. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> </tr> <tr> <td>5. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> <td>13. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> </tr> <tr> <td>6. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> <td>14. 後期の制作等についての報告と批評</td> </tr> <tr> <td>7. 研究計画書に基づいた模写制作指導</td> <td>15. 研究報告書提出</td> </tr> <tr> <td>8. 後期の制作等についての中間報告と批評</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 専門演習（模写制作、保存修復実習）の評価に重点を置く。習熟度とそのプロセスを含む。レポート提出。</p> <p>【履修上の注意】 模写技法の問題点とその解決法等、各プロセスの詳細な記録を作成すること。</p>						1. 主題発見の為の問題提示をする	9. 研究計画書に基づいた模写制作指導	2. 後期研究計画書作成と提出	10. 研究計画書に基づいた模写制作指導	3. 研究計画書に基づいた模写制作指導	11. 研究計画書に基づいた模写制作指導	4. 研究計画書に基づいた模写制作指導	12. 研究計画書に基づいた模写制作指導	5. 研究計画書に基づいた模写制作指導	13. 研究計画書に基づいた模写制作指導	6. 研究計画書に基づいた模写制作指導	14. 後期の制作等についての報告と批評	7. 研究計画書に基づいた模写制作指導	15. 研究報告書提出	8. 後期の制作等についての中間報告と批評	
1. 主題発見の為の問題提示をする	9. 研究計画書に基づいた模写制作指導																				
2. 後期研究計画書作成と提出	10. 研究計画書に基づいた模写制作指導																				
3. 研究計画書に基づいた模写制作指導	11. 研究計画書に基づいた模写制作指導																				
4. 研究計画書に基づいた模写制作指導	12. 研究計画書に基づいた模写制作指導																				
5. 研究計画書に基づいた模写制作指導	13. 研究計画書に基づいた模写制作指導																				
6. 研究計画書に基づいた模写制作指導	14. 後期の制作等についての報告と批評																				
7. 研究計画書に基づいた模写制作指導	15. 研究報告書提出																				
8. 後期の制作等についての中間報告と批評																					

教科 No.	3N05	授業科目	特殊演習 1 (保存修復)	単位数	1単位																
担当教員	宮本道夫・高林弘実			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次																	
<p>【授業目標】 自己の研究テーマにおける問題点の洗い出しと解決の考察を行う。</p> <p>【授業概要】 計画により提示された問題点を検討し、解決に至るプロセスとその記録を行い、記録することの重要性を認識する。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 問題提示について検討</td> <td>9. 研究方法について検討</td> </tr> <tr> <td>2. 問題提示について検討</td> <td>10. 研究方法について検討</td> </tr> <tr> <td>3. データ収集</td> <td>11. 文献や資料の検索の方法を学ぶ</td> </tr> <tr> <td>4. データ収集</td> <td>12. 文献や資料の検索の方法を学ぶ</td> </tr> <tr> <td>5. データ収集</td> <td>13. 材料研究</td> </tr> <tr> <td>6. データ収集</td> <td>14. 前期の報告と批評</td> </tr> <tr> <td>7. 研究方法について検討</td> <td>15. 報告書提出</td> </tr> <tr> <td>8. 研究方法について検討</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 レポート及び講義中の質疑応答、討論を総合して評価する。</p> <p>【履修上の注意】 調査旅行をすることがある。</p>						1. 問題提示について検討	9. 研究方法について検討	2. 問題提示について検討	10. 研究方法について検討	3. データ収集	11. 文献や資料の検索の方法を学ぶ	4. データ収集	12. 文献や資料の検索の方法を学ぶ	5. データ収集	13. 材料研究	6. データ収集	14. 前期の報告と批評	7. 研究方法について検討	15. 報告書提出	8. 研究方法について検討	
1. 問題提示について検討	9. 研究方法について検討																				
2. 問題提示について検討	10. 研究方法について検討																				
3. データ収集	11. 文献や資料の検索の方法を学ぶ																				
4. データ収集	12. 文献や資料の検索の方法を学ぶ																				
5. データ収集	13. 材料研究																				
6. データ収集	14. 前期の報告と批評																				
7. 研究方法について検討	15. 報告書提出																				
8. 研究方法について検討																					

教科 No.	3N06	授業科目	特殊演習 2 (保存修復)	単位数	1単位																
担当教員	宮本道夫・高林弘実			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次																	
<p>【授業目標】 自己の研究テーマにおける問題点の洗い出しと解決の考察を行う。</p> <p>【授業概要】 計画により提示された問題点を検討し、解決に至るプロセスとその記録を行い、記録することの重要性を認識する。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 問題提示について検討</td> <td>9. 研究方法について検討</td> </tr> <tr> <td>2. 問題提示について検討</td> <td>10. 研究方法について検討</td> </tr> <tr> <td>3. データ収集</td> <td>11. 文献や資料の検索の方法を学ぶ</td> </tr> <tr> <td>4. データ収集</td> <td>12. 文献や資料の検索の方法を学ぶ</td> </tr> <tr> <td>5. データ収集</td> <td>13. 材料研究</td> </tr> <tr> <td>6. データ収集</td> <td>14. 後期の報告と批評</td> </tr> <tr> <td>7. 研究方法について検討</td> <td>15. 報告書提出</td> </tr> <tr> <td>8. 研究方法について検討</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 レポート及び講義中の質疑応答、討論を総合して評価する。</p> <p>【履修上の注意】 調査旅行をすることがある。</p>						1. 問題提示について検討	9. 研究方法について検討	2. 問題提示について検討	10. 研究方法について検討	3. データ収集	11. 文献や資料の検索の方法を学ぶ	4. データ収集	12. 文献や資料の検索の方法を学ぶ	5. データ収集	13. 材料研究	6. データ収集	14. 後期の報告と批評	7. 研究方法について検討	15. 報告書提出	8. 研究方法について検討	
1. 問題提示について検討	9. 研究方法について検討																				
2. 問題提示について検討	10. 研究方法について検討																				
3. データ収集	11. 文献や資料の検索の方法を学ぶ																				
4. データ収集	12. 文献や資料の検索の方法を学ぶ																				
5. データ収集	13. 材料研究																				
6. データ収集	14. 後期の報告と批評																				
7. 研究方法について検討	15. 報告書提出																				
8. 研究方法について検討																					

教科 No.	3N07	授業科目	特殊演習 3 (保存修復)	単位数	1単位																
担当教員	宮本道夫・高林弘実			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 自己の研究テーマにおける問題点の洗い出しと解決の考察を行う。</p> <p>【授業概要】 計画により提示された問題点を検討し、解決に至るプロセスとその記録を行い、記録することの重要性を認識する。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 問題提示について検討</td> <td>9. 画論講読</td> </tr> <tr> <td>2. 問題提示について検討</td> <td>10. 画論講読</td> </tr> <tr> <td>3. データ収集</td> <td>11. 文献や資料の検索の方法を学ぶ</td> </tr> <tr> <td>4. データ収集</td> <td>12. 文献や資料の検索の方法を学ぶ</td> </tr> <tr> <td>5. データ収集</td> <td>13. 材料研究</td> </tr> <tr> <td>6. データ収集</td> <td>14. 前期の報告と批評</td> </tr> <tr> <td>7. 研究方法について検討</td> <td>15. 報告書提出</td> </tr> <tr> <td>8. 研究方法について検討</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 レポート及び講義中の質疑応答、討論を総合して評価する。</p> <p>【履修上の注意】 調査旅行をすることがある。</p>						1. 問題提示について検討	9. 画論講読	2. 問題提示について検討	10. 画論講読	3. データ収集	11. 文献や資料の検索の方法を学ぶ	4. データ収集	12. 文献や資料の検索の方法を学ぶ	5. データ収集	13. 材料研究	6. データ収集	14. 前期の報告と批評	7. 研究方法について検討	15. 報告書提出	8. 研究方法について検討	
1. 問題提示について検討	9. 画論講読																				
2. 問題提示について検討	10. 画論講読																				
3. データ収集	11. 文献や資料の検索の方法を学ぶ																				
4. データ収集	12. 文献や資料の検索の方法を学ぶ																				
5. データ収集	13. 材料研究																				
6. データ収集	14. 前期の報告と批評																				
7. 研究方法について検討	15. 報告書提出																				
8. 研究方法について検討																					

教科 No.	3N08	授業科目	特殊演習 4 (保存修復)	単位数	1単位																
担当教員	宮本道夫・高林弘実			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 自己の研究テーマにおける問題点の洗い出しと解決の考察を行う。</p> <p>【授業概要】 計画により提示された問題点を検討し、解決に至るプロセスとその記録を行い、記録することの重要性を認識する。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 問題提示について検討</td> <td>9. 画論講読</td> </tr> <tr> <td>2. 問題提示について検討</td> <td>10. 画論講読</td> </tr> <tr> <td>3. データ収集</td> <td>11. 文献や資料の検索の方法を学ぶ</td> </tr> <tr> <td>4. データ収集</td> <td>12. 文献や資料の検索の方法を学ぶ</td> </tr> <tr> <td>5. データ収集</td> <td>13. 材料研究</td> </tr> <tr> <td>6. データ収集</td> <td>14. 後期の報告と批評</td> </tr> <tr> <td>7. 研究方法について検討</td> <td>15. 報告書提出</td> </tr> <tr> <td>8. 研究方法について検討</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 レポート及び講義中の質疑応答、討論を総合して評価する。</p> <p>【履修上の注意】 調査旅行をすることがある。</p>						1. 問題提示について検討	9. 画論講読	2. 問題提示について検討	10. 画論講読	3. データ収集	11. 文献や資料の検索の方法を学ぶ	4. データ収集	12. 文献や資料の検索の方法を学ぶ	5. データ収集	13. 材料研究	6. データ収集	14. 後期の報告と批評	7. 研究方法について検討	15. 報告書提出	8. 研究方法について検討	
1. 問題提示について検討	9. 画論講読																				
2. 問題提示について検討	10. 画論講読																				
3. データ収集	11. 文献や資料の検索の方法を学ぶ																				
4. データ収集	12. 文献や資料の検索の方法を学ぶ																				
5. データ収集	13. 材料研究																				
6. データ収集	14. 後期の報告と批評																				
7. 研究方法について検討	15. 報告書提出																				
8. 研究方法について検討																					

教科 No.	3N09	授業科目	日本画技法研究	単位数	2単位
担当教員	西田真人			開講学期	前期
履修条件			履修学年・専攻等	1年次	
<p>【授業目標】 日本画の技法を体験し理解を深める。</p> <p>【授業概要】 日本画の技法は歴史に裏打ちされてきた。制作を通し、材質の新しい発見を試みる。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 主題発見の為の問題提示をする 2. 素材・技法の研究 3. 専門演習（日本画制作についての計画） 4. 専門演習（日本画制作） 5. 前期の制作等についての報告と批評 <p>【評価方法】 演習における作品の評価及び講義中の質疑応答、討論を総合して評価する。</p>					

教科 No.	3N10	授業科目	西洋画技法研究	単位数	2単位																
担当教員	赤松 玉女			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次																	
<p>【授業目標】 西洋画の表現の特質についての理解を深めつつその技法を実践的に研究する。とくにフレスコ画の技法と表現のかかわりを実習する。</p> <p>【授業概要】 フレスコの歴史、技法、材料についての講義。パネルを用いたフレスコ技法の実習を行う。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. フレスコ技法の説明</td> <td>9. 制作</td> </tr> <tr> <td>2. 材料の説明, 準備</td> <td>10. 作品の完成, 評価, まとめ</td> </tr> <tr> <td>3. 制作</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. 制作</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 制作</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 制作</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7. 制作</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 制作</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 制作内容と出席状況を総合的に評価する。</p>						1. フレスコ技法の説明	9. 制作	2. 材料の説明, 準備	10. 作品の完成, 評価, まとめ	3. 制作		4. 制作		5. 制作		6. 制作		7. 制作		8. 制作	
1. フレスコ技法の説明	9. 制作																				
2. 材料の説明, 準備	10. 作品の完成, 評価, まとめ																				
3. 制作																					
4. 制作																					
5. 制作																					
6. 制作																					
7. 制作																					
8. 制作																					

教科 No.	3N11	授業科目	工芸技法研究 1	単位数	2単位
担当教員	栗本 夏樹			開講学期	後期
履修条件			履修学年・専攻等	1 年次以上	
<p>【授業目標】 学習者は、漆芸の基本的な技法を学ぶことで漆の素材としての特性を理解し、保存・修復の方法を探究する。また、技法研究や素材研究の成果をレポートのかたちにまとめることで保存・修復に欠かせない報告書作成能力を身につける。</p> <p>【授業概要】 漆芸作品の技法は歴史的に多様をきわめている。その表現の特性を理解しつつ、基礎的な実践を通して、漆芸技法を指導する。また、技法研究や素材研究の成果をレポートを提出する。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 漆芸の代表的な技法を、ビデオ映像を鑑賞しながら学習する。 2. 漆芸の道具や素材に関する演習を行なう。 3. それまでに学んだ漆芸の素材や技法で作品制作を行なう。 4. 技法研究や素材研究の成果をレポートのかたちにまとめる。 <p>【評価方法】 提出されたレポートと作品の両方で評価を行なう。授業の出席日数や授業に対する取り組み姿勢も評価の対象とする。</p> <p>【履修上の注意】 漆に触れることでかぶれることがあるので、その事は覚悟の上で履修すること。</p>					

教科 No.	3N12	授業科目	工芸技法研究 2	単位数	2単位																
担当教員	ひろい のぶこ			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	1 年次以上																	
<p>【授業目標】 染織の技法は、染色法・糸作り・織りなどきわめて多岐にわたっている。こうした素材と技法を理解するために、基本的な技法を実践的に学び、保存・修復の方法を考える糧にする。</p> <p>【授業概要】 天然染料の糸・織物について、その工程を概観し、特性を知る。繊維から糸そして織物となる過程を体験する。西陣の伝統的織技を見学する。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業ガイダンス。学生個々人と知識と興味のあるところを聞き取る。</td> <td>9. 製織準備。</td> </tr> <tr> <td>2. 各種の天然繊維についての解説。</td> <td>10. 見学。</td> </tr> <tr> <td>3. 羊毛・綿の紡ぎの実習。</td> <td>11. 製織実習。</td> </tr> <tr> <td>4. 麻積みの実習。</td> <td>12. ファイル作成。</td> </tr> <tr> <td>5. 織り組織についての演習。</td> <td>13. 合評。</td> </tr> <tr> <td>6. 天然染料の解説。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7. 天然染料の演習。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 織り工程の解説。</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 課題への取り組みや、技法や素材への理解度など、総合的にみて評価する。</p> <p>【履修上の注意】 授業計画は、展覧会日程、非常勤講師日程その他によって、変更する場合がある。</p> <p>【参考書等】 必要に応じて、指示する。</p>						1. 授業ガイダンス。学生個々人と知識と興味のあるところを聞き取る。	9. 製織準備。	2. 各種の天然繊維についての解説。	10. 見学。	3. 羊毛・綿の紡ぎの実習。	11. 製織実習。	4. 麻積みの実習。	12. ファイル作成。	5. 織り組織についての演習。	13. 合評。	6. 天然染料の解説。		7. 天然染料の演習。		8. 織り工程の解説。	
1. 授業ガイダンス。学生個々人と知識と興味のあるところを聞き取る。	9. 製織準備。																				
2. 各種の天然繊維についての解説。	10. 見学。																				
3. 羊毛・綿の紡ぎの実習。	11. 製織実習。																				
4. 麻積みの実習。	12. ファイル作成。																				
5. 織り組織についての演習。	13. 合評。																				
6. 天然染料の解説。																					
7. 天然染料の演習。																					
8. 織り工程の解説。																					

教科 No.	3N13	授業科目	修復実習	単位数	集中60時間2単位																
担当教員	○鈴木裕			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次																	
<p>【授業目標】 絵画作品を掛軸装に仕立てる。実習を重ね技術を学ぶことで、日本の絵画がどのように表装され、結果として保存されてきたかを学ぶ。本紙が表装されることで表装形態も含めて文化として育まれてきた歴史・経緯について理解を深める。</p> <p>【授業概要】 掛軸装にふさわしい絵画作品を準備し、肌裏うち・増裏うち・付廻し・総裏打ちを行ない、掛軸装に仕立てる。博物館・美術館の展覧会・常設展で表装された絵画を見学する。伝統的な作業を行なう工房見学。掛軸・巻物・屏風の取り扱い方の実習。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 実習①技術の基本となる紙継ぎ・裏打ち</td> <td>9. 実習⑨補修彩色</td> </tr> <tr> <td>2. 実習②仮張りの作成（1骨縛り・2胴張り）、ヘラ作成</td> <td>10. 実習⑩総裏打ち</td> </tr> <tr> <td>3. 実習③仮張り作成（3胴貼り・4裏掛け・5裏縛り）</td> <td>11. 博物館・美術館の展覧会・常設展で表装された絵画を見学する。</td> </tr> <tr> <td>4. 実習④本紙肌裏打ち・裂地調整・仮張り作成（6縛り2層）</td> <td>12. 伝統的な作業を行なう工房見学。</td> </tr> <tr> <td>5. 実習⑤裂肌裏打ち・仮張り（7渋引き）</td> <td>13. 掛軸・巻物・屏風の取り扱い方の実習。</td> </tr> <tr> <td>6. 実習⑥増裏打ち</td> <td>14. 実習⑪仕上げ1</td> </tr> <tr> <td>7. 実習⑦増裏打ち</td> <td>15. 実習⑫仕上げ2</td> </tr> <tr> <td>8. 実習⑧付け廻し</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 作品とレポート・小論文による。</p> <p>【履修上の注意】 実作業にあたり環境設備を整える補助作業が含まれます。</p> <p>【参考書等】 あり（未定）</p> <p>※備考 作業材料は実費負担</p>						1. 実習①技術の基本となる紙継ぎ・裏打ち	9. 実習⑨補修彩色	2. 実習②仮張りの作成（1骨縛り・2胴張り）、ヘラ作成	10. 実習⑩総裏打ち	3. 実習③仮張り作成（3胴貼り・4裏掛け・5裏縛り）	11. 博物館・美術館の展覧会・常設展で表装された絵画を見学する。	4. 実習④本紙肌裏打ち・裂地調整・仮張り作成（6縛り2層）	12. 伝統的な作業を行なう工房見学。	5. 実習⑤裂肌裏打ち・仮張り（7渋引き）	13. 掛軸・巻物・屏風の取り扱い方の実習。	6. 実習⑥増裏打ち	14. 実習⑪仕上げ1	7. 実習⑦増裏打ち	15. 実習⑫仕上げ2	8. 実習⑧付け廻し	
1. 実習①技術の基本となる紙継ぎ・裏打ち	9. 実習⑨補修彩色																				
2. 実習②仮張りの作成（1骨縛り・2胴張り）、ヘラ作成	10. 実習⑩総裏打ち																				
3. 実習③仮張り作成（3胴貼り・4裏掛け・5裏縛り）	11. 博物館・美術館の展覧会・常設展で表装された絵画を見学する。																				
4. 実習④本紙肌裏打ち・裂地調整・仮張り作成（6縛り2層）	12. 伝統的な作業を行なう工房見学。																				
5. 実習⑤裂肌裏打ち・仮張り（7渋引き）	13. 掛軸・巻物・屏風の取り扱い方の実習。																				
6. 実習⑥増裏打ち	14. 実習⑪仕上げ1																				
7. 実習⑦増裏打ち	15. 実習⑫仕上げ2																				
8. 実習⑧付け廻し																					

教科 No.	3N14	授業科目	保存修復特殊講義	単位数	集中30時間2単位
担当教員	○鈴木裕			開講学期	前期
履修条件			履修学年・専攻等	1年次	
<p>【授業目標】 料紙に表現された古画を修理し、技法・技術を学ぶことで、日本の絵画がどのように修復保存されてきたかを理解する。</p> <p>【授業概要】 掛軸装絵画作品を調査・解装からはじめ本紙修理完成までを行う。実施にあたりカルテを作成し作業を続けながら、そのなかで修理の原則と理念に対する知識を学ぶ。京都国立博物館で文化財の調査を行う。修理に携わる工房の見学・研修を行う。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 文化財概論 / 文化財の定義（講義）・修理の実際（パワーポイント）、実習①調査、剥落止め 調査 / 実際の作品を観察し調査する、実習②剥落止・クリーニング・断片整理・肌裏打ち準備 実習③断片整理、肌裏打ち 実習④補修（補紙など）作業、肌裏打ち 実習⑤補修作業（本紙折れ伏せ入れ他） 実習⑥補修作業（増し裏打ち） 実習⑦補修彩色 京都国立博物館収蔵品調査文化財修理工房見学 <p>【評価方法】 実技とレポート・小論文による。</p> <p>【履修上の注意】 実作業にあたり環境設備を整える補助作業が含まれます。</p> <p>【教科書】 国宝修理装こう師連盟第10回定期研究会報告集1部（1,000円）講師準備。</p> <p>【参考書等】 図解日本画の伝統と継承（素材、模写、修復）東京藝術大学大学院文化財保存学研究室（3,000円）講師準備</p> <p>※備考 材料費若干あり</p>					